プログラム Program

# 日程表 — 第1日目 9/12 (Fri)

会場名	建物部屋番号	9	10	11	12	13	14	1	5 1	6	17	18	19	20
А	中央校舎 0304		シンポジウ 環境刺激は 情報伝達と	応答した	植物の			Respondent Systems	ems to spations in li	the photo patio-temp ght enviro co-devo ap	oral nments:			
В	中央校舎 0309		口頭 <b>発表</b> 分類 · 系統	休・進化				受賞	講演 ・系統・	休 口頭発				
С	中央校舎 0311		口頭発表 発生·成長	休・形態形	成				発表・成長・温	休				
D	中央校舎 0405		シンポジウ 古い酒を新 ~preexist regulatory る陸上植物の	fしい革袋 ing gene				The phot	ポジウム cutting e corespons coreceptor hanism	休 dge of e mechan r and sign	isms: aling			
E	中央校舎 0410		口頭発表 細胞壁	休					発表膜/環境	休 応答				
F	中央校舎 0411		ロ頭発表 形態・検 運動	表 休 構造/細胞	骨格・			代	ベイオエネ	休 主産・メタ ルギー/約				
G	中央校舎 0412		口頭発表 成長生理/	生殖	受賞講演			生殖	発表	休				
Н	A館 A204		シンポジウ C4光合成		<b></b> 受開			生理	ポジウム 活性物質( た植物の)	の輸送制御	即を			
J	A館 A208		口頭発表代謝・物質ム・バイス					バイ		スとゲ <i>ノL</i> 類研究のオ		<b>関連</b> 日本	集会シダ学会	
К	A館 A312		シンポジウ 植物スフィ 展開〜代調 クロドメイ	ィンゴ脂質 射経路と生						3D/X—:	ジング			
L	2号館 2001					ランチョン セミナー ジナリス								
M	2号館 2002					ランチョン セミナー 島津製作所								
N	2号館 2003													
P1~P5	A館 2~4階						ポスタ							
	堂館 階							<u> </u>					ミキサー	

# 日程表 — 第2日目 9/13 (Sat)

会場名	建物部屋番号	9	10	11	12	13	1	4 1	5 1	6 1	7 1	8 1	9 20
Α	中央校舎 0304	<b>シンポシ</b> 発生ロシ シグナル	ブックをも	たらす									
В	中央校舎 0309	ロ頭発表 分類・系	受賞 講演 系統・進化	大 口頭発									
С	中央校舎 0311	□頭発表発生・応	え ・ 形態	形成									
D	中央校舎 0405	活用によ	<b>バウム</b> イオマスの る二酸化 全目指して	炭素の									
E	中央校舎 0410	環境応答		休									
F	中央校舎 0411	田頭発表細胞内小	'	林 講演 口頭	頭発表								
G	中央校舎 0412	遺伝子系	送現制御・	情報伝達									
Н	A館 A204	<b>シンポシ</b> 細胞遺伝 新たなる	宗学の伝統	٤									
J	A館 A208	口頭発表 植物微生	き 物相互作	TH.									
K	A館 A312	<ul><li>シンポシ</li><li>細胞・組</li><li>生まれる</li></ul>	<b>"ウム</b> 1織におけ 5機構とそ	る凹凸が の意義									
L	2号館 2001					ランチョン セミナー 男女共同 参画							
M	2号館 2002					ランチョン セミナー オリンパス							
N	2号館 2003								授賞式	会員の集し 学術賞 大賞 受賞講演	会員の集い		
P1~P5	A館 2~4階							ター ター発表 対番号)					
食 <sup>1</sup>	堂館 階											懇親	会

# 日程表 — 第3日目 9/14 (Sun)

会場名	建物部屋番号	9 1	0	11 1	2 1	3 1	4	15	16	17	18	19	20
А	中央校舎 0304	<ul><li>口頭発表</li><li>代謝・物メタボロバイオエ</li></ul>	質生産・ 一ム・										
В	中央校舎 0309	口頭発 光合成											
С	中央校舎 0311	□頭発表 発生・成 形態形成	長・										
D	中央校舎 0405	口頭発表 細胞増殖 分化											
E	中央校舎 0410	口頭発表 環境応答											
F	中央校舎 0411	口頭発表 細胞内小											
G	中央校舎 0412	<b>□頭発表</b> 生態·生 種生態· 保全	理生態·										
Н	A館 A204												
J	A館 A208												
К	A館 A312												
L	2号館 2001	本音で語	ンポジウ <i>園</i> ろう若手の パス 乏よ・さらに	D									
M	2号館 2002												
N	2号館 2003					高校生 表彰:							
P1~P5	A館 2~4階		٤	ポスター ゴュー ポス (偶! 高校生研 ポスター	(ター発表 数番号) 究								
0401	校舎 ~0404 ~1416						高校生 植物学 高校生 交流会	会員と との					
新百合2	!1ホール						私	開講演会 注のくらし 動物の多様が					

### 学会賞授賞式 および 受賞講演

9月13日(土) 15:00~18:00 N会場

 $15:00 \sim 15:30$ 授當式

15:30~15:50 受賞研究内容紹介

15:50~16:20 学術賞受賞講演

福田 裕穂「植物維管束形成の研究」

 $16:20 \sim 16:50$ 大賞受賞講演

岡田 清孝「今後の植物科学研究にモデル植物を用いる必要があるか?」

16:50~17:00 集合写真撮影

17:10~18:00 会員の集い

●大賞

9/13 16:20-16:50 N会場 座長: 西谷 和彦(東北大)

岡田 清孝 (自然科学研究機構 / 龍谷大学)

今後の植物科学研究にモデル植物を用いる必要があるか?

●学 術 賞

9/13 15:50-16:20 N会場 座長: 西谷 和彦(東北大)

福田 裕穂 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

植物維管束形成の研究

● 奨 励 賞 2aB-AL1 分類・系統・進化/光合成 9/13 10:15-10:45 B会場 座長:梶田 忠(千葉大)

青木 京子 (京都大・院・人環)

植食性昆虫の DNA 多型情報を利用した照葉樹林の植物地理学的研究

● 奨 励 賞 2aF-AL1 細胞内小器官

9/13 10:15-10:45 F会場 座長:中野 明彦(東京大)

植村 知博 (東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻)

植物におけるポストゴルジオルガネラの動態と生理機能の研究

● 奨 励 賞 2aF-AL2 細胞内小器官

9/13 11:00-11:30 F会場 座長:太田 啓之(東工大)

小林 康一 (東大·院·総合文化)

シロイヌナズナを用いた葉緑体発達制御機構の解明

● 若手奨励賞 1aG-AL1 成長生理/生殖

9/12 12:00-12:30 G会場 座長:東山 哲也(名古屋大)

武内 秀憲 (名大・院・理/JST・ERATO東山ライブホロニクスプロジェクト)

シロイヌナズナを用いた花粉管ガイダンスの分子機構の解明

● 若手奨励賞 1pB-AL1 分類・系統・進化 9/12 14:30-15:00 B会場 座長:遊川 知久(国立科学博物館/筑波実験植物園)

末次 健司 (京大・院・人環)

従属栄養植物が宿主や送粉者、種子散布者と織り成す多様な相互作用

● 若手奨励賞 1pB-AL2 分類・系統・進化 9/12 15:00-15:30 B会場 座長: 関本 弘之(日本女子大)

浜地 貴志 (ドナルド・ダンフォース植物科学センター)

雌雄二極化のモデル系統群・群体性ボルボックス目緑藻における性決定遺伝子領域の比較ゲノム学的研究

#### 特別賞

#### ●技術

大隅 正子 (日本女子大学名誉教授)

電子顕微鏡を用いた酵母細胞の構造と機能解析のための試料作製法及び解析法の技術開発

#### ●教育

植物科学研究教育推進ユニット、植物グローバル教育プロジェクト

代表:稲田 のりこ (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)

奈良先端科学技術大学院大学における最先端植物科学研究技術の開発と教育に関する事業

#### 2014年度JPR論文賞

[Best Paper Award]

Munenori Kitagawa and Tomomichi Fujita (2013) Quantitative imaging of directional transport through plasmodesmata in moss protonemata via single-cell photoconversion of Dendra2. J. Plant Res. 126: 577–585.

[Best Paper Award]

Tomoko Igawa, Yuki Yanagawa, Shin-ya Miyagishima and Toshiyuki Mori (2013) Analysis of gamete membrane dynamics during double fertilization of Arabidopsis. J. Plant Res. 126: 387–394.

[Most Cited Paper Award]

Yasunari Fujita, Miki Fujita, Kazuo Shinozaki and Kazuko Yamaguchi-Shinozaki (2011) ABA-mediated transcriptional regulation in response to osmotic stress in plants. J. Plant Res. 124: 509–525.

### 9/12 9:30-12:10

 $oldsymbol{\mathsf{A}}_{\, ext{会場}}$ 

# 環境刺激に応答した植物の情報伝達と成長制御

#### ●オーガナイザー

木下 俊則 (名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)

松林 嘉克 (名古屋大学大学院理学研究科)

植物は環境刺激に応答して細胞や器官レベルで的確に情報伝達を行い,成長を制御することで,変転する環境下での生存を可能にしている。しかしながら,植物の環境応答と成長制御の関連性の理解は未だ断片的である。本シンポジウムでは,植物の様々な環境応答(気孔開口,光周性応答,乾燥・高温ストレス応答等)と,植物の成長において極めて重要な細胞分裂・増殖,維管束形成やエピジェネティック制御の先端的研究成果を紹介し,環境応答と成長制御をつなぐ情報統合システムについて議論し,境界領域研究の可能性を探る.

9:30-9:55	1aSA01	環境刺激に応答した気孔開口と植物の成長制御 木下俊則 (名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)
9:55-10:20	1aSA02	<b>植物の乾燥ストレス応答と成長制御</b> <u>篠崎和子</u> (東京大学大学院農学生命科学研究科植物分子生理学研究室)
10:20-10:45	1aSA03	環境ストレスによる細胞分化制御 <u>杉本慶子</u> ,岩瀬哲,池内桃子(理化学研究所環境資源科学研究センター細胞機能研究チーム)
10:45-11:10	1aSA04	<b>維管束のシグナル伝達</b> 福田裕穂 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)
11:10-11:35	1aSA05	環境刺激による核内クロマチンのダイナミクス制御 松永幸大,杉山智哉,長谷川淳子,坂本卓也(東京理科大学理工学部応用生物科学科)
11:35-12:00	1aSA06	<b>クロマチン長期記憶</b> <u>角谷徹仁</u> (国立遺伝学研究所)
12:00-12:10		総合討論

### 9/12 9:30-12:30



# 古い酒を新しい革袋に

~preexisting gene regulatory network の転用による陸上植物のボディプラン革新

#### ●オーガナイザー

石崎 公庸 (神戸大学大学院理学研究科)

榊原 恵子 (東京大学大学院理学研究科)

陸上植物の進化において、維管束植物のボディプランの構築に緑藻やコケ植物ですでに獲得されていた遺伝子制御ネットワークの転用が重要な役割を果たしたと考えられる。本シンポジウムでは緑藻やコケ植物の比較ゲノム解析や、 陸上植物の発生や組織分化関する最新の分子遺伝学研究事例を紹介して、この仮説を検証し、陸上植物の起源と進化について考察したい。

9:30-9:35		はじめに <u>石崎公庸</u> (神戸大・院・理)
9:35-9:58	1aSD01	ゼニゴケから見えてきた栄養繁殖と腋芽発生の共通制御メカニズム 石崎公庸 (神戸大・院・理)
9:58-10:21	1aSD02	<b>陸上植物進化における NAC 転写因子ファミリー VNS の役割</b> 大谷美沙都 <sup>1,2</sup> , 徐波 <sup>1</sup> , 出村拓 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 奈良先端・バイオ, <sup>2</sup> 理研・CSRS)
10:21-10:44	1aSD03	苔類ゼニゴケの光質および日長による成長相転換制御機構 河内孝之 (京大・院・生命科学)
10:44-11:07	1aSD04	KNOX 遺伝子族の進化による陸上植物複相の複雑化 <u>榊原恵子</u> <sup>1</sup> , 古水千尋 <sup>2</sup> , John Bowman <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻, <sup>2</sup> School of Biological Sciences, Monash University)
11:07-11:30	1aSD05	<b>ゼニゴケ CLE ペプチドホルモンの機能</b> <u>平川有宇樹</u> <sup>1,2</sup> , 田畑亮 <sup>3,4</sup> , 石崎公庸 <sup>5</sup> , 河内孝之 <sup>6</sup> , John Bowman <sup>2</sup> , 澤進一郎 <sup>6</sup> (「名大・ITbM, <sup>2</sup> モナシュ大・生物, <sup>3</sup> 名大・生命, <sup>4</sup> 熊大・自然, <sup>5</sup> 神大・生物, <sup>6</sup> 京大・生命)
11:30-11:53	1aSD06	<b>車軸藻植物門クレブソルミディウムのゲノムから見た植物の陸上進出</b> <u>堀孝一</u> <sup>1</sup> ,近藤智 <sup>1</sup> ,大高きぬ香 <sup>1</sup> ,唐司典明 <sup>1</sup> ,渡邊汀 <sup>1</sup> ,黒川顕 <sup>2</sup> ,太田啓之 <sup>1,2</sup> (「東工大・バイオセンター, <sup>2</sup> 東工大・ELSI)
11:53-12:16	1aSD07	シャジクモゲノムにみる <b>陸上植物の制御因子ホモログ</b> 西山智明 <sup>1</sup> ,豊田敦 <sup>2</sup> ,鈴木穣 <sup>3</sup> ,藤山秋佐夫 <sup>2</sup> ,坂山英俊 <sup>4</sup> (「金沢大・学際セ, <sup>2</sup> 遺伝研・比較ゲノム, <sup>3</sup> 東京大・新領域, <sup>4</sup> 神戸大・院理)
12:16-12:30		総合討論

#### 

### C4 光合成研究の新展開

#### ●オーガナイザー

古本 強(龍谷大学文学部農学研究所)

榊原 均 (理化学研究所環境資源科学研究センター)

C4 光合成植物は、C3 光合成植物に比べ 2 倍程度の高い光合成活性を示す。C4 光合成の基本代謝については十分に知見の蓄積があり、C3 光合成植物にこの機能を保持させようとするプロジェクトも海外で進行している。一方、日本国内においてもエレオカリスやフラベリアなど特徴的な植物を用いて C4 光合成の成り立ちの解明に向けた独自の研究がすすめられている。また、順遺伝学的アプローチを可能にするモデル植物の研究リソース整備も進められ、さらには、基本的な代謝以外にも C4 光合成に関連するこれまで未知だった環境応答機構なども明らかにされつつあり、C4 光合成研究はいよいよ次の展開を迎えつつある。本シンポジウムでは、これらの最新の研究を紹介し、今後の研究の展開の方向性を議論することで、C3 光合成植物への C4 光合成形質の導入の可能性と問題点を浮き彫りにする。

9:30-9:40		はじめに <u>古本強</u> (龍谷大学文学部農学研究所)
9:40-10:05	1aSH01	C <sub>4</sub> 光合成研究の新たな課題:ストレス応答の細胞特異性         谷口光隆       (名古屋大学大学院生命農学研究科)
10:05-10:30	1aSH02	C4 光合成で見落とされていること-光環境変化への応答性 <u>古本強</u> <sup>1</sup> , 宗景ゆり <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 龍谷大学 文学部, <sup>2</sup> 奈良先端科学技術大学)
10:30-10:55	1aSH03	Flaveria 属植物の解析から見える C4 型進化モデル 宗景ゆり、谷口幸美(奈良先端大・バイオ)
10:55-11:20	1aSH04	「 <b>C3 植物の C4 化</b> 」 <b>Rubisco だけでも役に立つ?</b> <u>深山浩</u> (神戸大・院・農)
11:20-11:45	1aSH05	C3/C4 光合成相互転換植物 <i>Eleocharis vivipara</i> を用いた C4 光合成成立遺伝子の探索 原田大士朗 <sup>1</sup> , 坂本智昭 <sup>4</sup> , 倉田哲也 <sup>4</sup> , 大和勝幸 <sup>2</sup> , 泉井桂 <sup>3</sup> , 秋田求 <sup>2</sup> (「近大・院・生物理工, 2近大・生物理工, 3近大・生物理工・先端研, 4奈良先端大・バイオ・植物グローバル)
11:45-12:10	1aSH06	C4 モデル植物 Setaria viridis の研究ツールの整備榊原均、木羽隆敏(理化学研究所 環境資源科学研究センター 生産機能研究グループ)
12:10-12:20		<b>総合討論</b> <u>榊原均</u> (理化学研究所 環境資源科学研究センター 生産機能研究グループ)

### 9/12 9:30-12:30



# 植物スフィンゴ脂質研究の新展開

~代謝経路と生体膜マイクロドメイン~

#### ●オーガナイザー

川合 真紀 (埼玉大学大学院理工学研究科) 今井 博之 (甲南大学大学院自然科学研究科)

スフィンゴ脂質は、長鎖塩基と脂肪酸から成るセラミドを基本骨格とする生体膜構成脂質の一つである.近年、生体膜上のマイクロドメイン構造の形成やシグナル伝達における役割が明らかになりつつある.本シンポジウムでは、スフィンゴ脂質の代謝経路、環境ストレス応答、植物免疫、生体膜マイクロドメイン構築における役割に関する知見を集め、本物質の植物における生理機能について議論したい.

9:30-10:05	1aSK01	シロイヌナズナにおけるスフィンゴイド塩基リン酸の代謝経路と生理機能 柳川大樹, <u>今井博之</u> (甲南大・院・自然科学)
10:05-10:30	1aSK02	長鎖塩基のグリセロ脂質への代謝経路と代謝酵素の同定 木原章雄(北大・薬)
10:30-10:55	1aSK03	長鎖塩基不飽和化を介したスフィンゴ脂質合成制御とストレス耐性 石川寿樹、川合真紀(埼玉大・院・理工)
10:55-11:05		休憩
11:05-11:30	1aSK04	<b>液胞膜マイクロドメインとその機能</b> 吉田勝久,大西美輪, <u>三村徹郎</u> (神戸大院・理・生物)
11:30-11:55	1aSK05	温度刺激に対する細胞膜マイクロドメインの組成および機能の応答 上村松生 <sup>1,2</sup> , 高橋大輔 <sup>2</sup> , 南杏鶴 <sup>3</sup> , 河村幸男 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 岩手大・農・寒冷バイオ, <sup>2</sup> 岩手大・院・連合農学, <sup>3</sup> 名大・生物機能開発利用研究センター)
11:55-12:20	1aSK06	スフィンゴ脂質が形成する細胞膜マイクロドメインはイネ免疫機構を制御する <u>長野稔</u> <sup>1</sup> ,石川寿樹 <sup>2</sup> ,藤原正幸 <sup>1</sup> ,深尾陽一朗 <sup>1</sup> ,河野洋治 <sup>1</sup> ,川合真紀 <sup>2</sup> ,島本功 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科, <sup>2</sup> 埼玉大学大学院理工学研究科)

総合討論

12:20-12:30

# 9/12 14:30-18:00

 $oldsymbol{\mathsf{A}}_{\, egh}$ 

# Responses of the photosynthetic systems to spatio-temporal variations in light environments: scaling and eco-devo approaches

時空間的に不均一な光環境への光合成系の応答:葉緑体から森林へのスケーリングとエコデボ

助成: 日本学術振興会平成 26 年度科学研究費助成事業 (研究成果公開促進費)「国際情報発信強化 (A)」

#### ●オーガナイザー

Ichiro Terashima(Biol., Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo)/ 寺島 一郎(東京大) Hiroyuki Muraoka(River Basin Research Center, Gifu Univ.)/ 村岡 裕由(岐阜大)

野外の光環境は時間的に変動しており、植物はそれに適切に応答している。また、葉、葉群、森林内には光環境勾配がある。このシンポジウムは、時間的、空間的な光環境の不均一性に対する植物の光合成応答に焦点をしぼり、研究の最前線を確認し今後を展望する。特に、光環境に応じた可塑的な光合成系の馴化や構築・維持過程に注目する。

14:30-14:50	1pSA01	The leaf photosynthetic system: its heterogeneous nature <a href="Lichiro Terashima">Lichiro Terashima</a> (Biol., Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo)
14:50-15:10	1pSA02	Effects of fluctuating light on regulation of the photosynthetic electron transport system Masaru Kono, Ko Noguchi, Ichiro Terashima (Plant Ecology, Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)
15:10-15:30	1pSA03	Regulation of CO <sub>2</sub> assimilation under a fluctuating light environment  Wataru Yamori (Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University)
15:30-15:50	1pSA04	Photosynthetic response and leaf carbon gain under dynamic light "sunfleck" in natural habitat Hajime Tomimatsu, Yanghong Tan (Center for Environmental Biology and Ecosystem Studies, National Institute for Environmental Studies)
15:50-16:00		Break
16:00-16:25	1pSA05	Nitrogen distribution within a leaf canopy revisited <u>Kouki Hikosaka</u> <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Gra. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., <sup>2</sup> CREST, JST)
16:25-16:50	1pSA06	Spatial and temporal scaling of forest canopy photosynthesis by ecophysiological remote sensing Hibiki Noda <sup>1</sup> , Hiroyuki Muraoka <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Center for Global Environmental Research, National Institute for Environmental Studies (NIES), <sup>2</sup> River Basin Research Center, Gifu Univ.)
16:50-17:25	1pSA07	Leaf-age dependent changes in within-canopy variation in leaf functional traits: a meta-analysis <u>Ülo Niinemets</u> (Estonian University of Life Sciences)
17:25-18:00	1pSA08	3D modelling of leaf, plant and canopy photosynthesis in a heterogeneous light environment <u>Jochem Evers</u> (Wageningen University and Research Centre)

### 9/12 14:30-18:00



# The cutting edge of photoresponse mechanisms: photoreceptor and signaling mechanism

光応答機構の最前線~光受容とシグナル伝達機構~

共催: 新学術領域「植物の環境感覚」(代表: 長谷あきら)

助成:日本学術振興会平成 26 年度科学研究費助成事業 (研究成果公開促進費)「国際情報発信強化 (A)」

#### ●オーガナイザー

Sam-Geun Kong(Faculty of Sciences, Kyushu University)/ 孔 三根(九州大) Koji Okajima(Graduate School of Science, Osaka Prefecture University)/ 岡島 公司(大阪府立大)

植物は紫外から近赤外の光に対して様々な生理応答を示す。植物が独自に進化させてきた光応答機構(光受容,シグナル伝達,生理応答)の解明は植物学の分野で最も重要な研究である。近年,これらの詳細が明らかにされつつある。本シンポジウムでは,生理学,分子生物学,生化学,構造生物学,リン酸化プロテオーム等による最新の解析結果の発表,議論を行う。多角的視点から,分子から生理応答に至る新たな光シグナル伝達機構の理解を目指す。本シンポジウムは新学術領域「植物の環境感覚」(代表:長谷あきら)との共催で行う。

14:30-14:35		Introduction
14:35-15:00	1pSD01	Plant UVB-environmental sensing; UVB-induction and -response of CPD photolyase  Nan Li, Sayaka Takahashi, Mika Teranishi, Jun Hidema (Graduate School of Life Sciences, Tohoku University)
15:00-15:25	1pSD02	Negative feedback regulation of cryptochrome signaling <u>Yoshito Oka</u> (Fujian Agriculture and Forestry University)
15:25-15:50	1pSD03	Transduction mechanism of blue-light signal in phototropin <u>Koji Okajima</u> (Graduate School of Science, Osaka Prefecture University)
15:50-16:15	1pSD04	Phosphoproteomics as a tool to unravel plant signal transduction pathways  Hirofumi Nakagami (Plant Proteomics Research Unit, RIKEN CSRS)
16:15-16:30		Break
16:30-16:55	1pSD05	Regulation mechanism of CHUP1 signaling complex for chloroplast photorelocation movement Sam-Geun Kong (F. Sci., Kyushu Univ.)
16:55-17:20	1pSD06	Blue light signaling for stomatal opening  Atsushi Takemiya (F. Sci., Kyushu Univ.)
17:20-17:45	1pSD07	Light-dependent regulation of gene expression by phytochrome  Tomonao Matsushita <sup>1,2</sup> (¹Kyushu Univ., ²JST PRESTO)
17:45-18:00		General discussion

┗ 会場

### 生理活性物質の輸送制御を介した植物の生理

#### ●オーガナイザー

瀬尾 光範 (理研・CSRS) 黒森 崇 (理研・CSRS)

植物体内には多種多様な化合物が存在する。これまでに、多くの化合物の代謝に関する酵素・遺伝子の同定が様々なアプローチによりおこなわれ、いろいろな代謝経路の制御機構が明らかになりつつある。一方で「輸送」に関しては、植物体内の特定の組織や細胞における化合物の蓄積量を規定する重要な要因であるにもかかわらず、その制御機構や生理的な意味が明確でない場合が多い。本シンポジウムでは特に植物ホルモンを中心とした生理活性物質に焦点を当て、近年明らかになり始めた輸送体の存在と、それを介した植物の生理応答について議論する。

14:30-14:35 はじめに

瀬尾光範(理研・CSRS)

14:35-15:00 1pSH01 アブシジン酸の組織間輸送とトランスポーターの解析

黑森崇, 杉本絵理子, 篠崎一雄 (理研·CSRS)

15:00-15:25 1pSH02 サイトカイニンの器官間輸送メカニズムとその生理的役割

<u>木羽隆敏</u><sup>1</sup>, Donghwi Ko<sup>2</sup>, Joohyun Kang<sup>2</sup>, Jiyoung Park<sup>2</sup>, 小嶋美紀子<sup>1</sup>, 大薄麻未<sup>1</sup>, Jihye Do<sup>4</sup>,

Kyung Yun Kim², Mi Kwon⁴, Anne Endler³, Won Young Song², Enrico Martinoia³,

Youngsook Lee<sup>2</sup>, 榊原均<sup>1</sup> (<sup>1</sup>理化学研究所 環境資源科学研究センター, <sup>2</sup>POSTECH, <sup>3</sup>University

of Zurich, <sup>4</sup>Korea University)

15:25-15:50 1pSH03 ジャスモン酸/ジベレリン情報伝達における多機能性トランスポーター GTR1/NPF2.10 の

役割

斉藤洸¹, 関本(佐々木)結子², 及川貴也³, 浜本晋⁴, 石丸泰寛³, 佐藤(金森)美有¹, 増田真二²٠⁵, 神谷勇治⁶, 瀬尾光範⁶, 魚住信之⁴, 上田実³, 太田啓之² $\cdot$ 5 ( $\cdot$ 1東工大院・生命理工,  $\cdot$ 2東工大・ELSI,  $\cdot$ 3東北大院・理,  $\cdot$ 4東北大院・工,  $\cdot$ 5東工大・バイオセンター,  $\cdot$ 9理研・

CSRS)

15:50-16:00 休憩

16:00-16:25 1pSH04 受容体センサーを用いた植物ホルモン輸送体の同定

瀬尾光範 (理研・CSRS)

16:25-16:50 1pSH05 パラコート耐性研究から見出された植物ポリアミントランスポーター

藤田美紀, 篠崎一雄 (理研・CSRS)

16:50-17:15 1pSH06 精製再構成手法によるストレス耐性物質トランスポーターの探索

宮地孝明 (岡山大学自然生命科学研究支援センター ゲノム・プロテオーム解析部門)

17:15-17:30 終わりに

<u>黒森崇</u>(理研・CSRS)

# バイオリソースとゲノム情報から考える藻類研究の未来形

#### ●オーガナイザー

河地 正伸 (国立環境研究所) 川井 浩史 (神戸大学)

藻類は進化系統的な多様性を背景に多様な生物学的特性が認められており、光合成のモデル生物としての重要性に加えて、細胞やオルガネラの多様性と進化、興味深い代謝の存在、CO2 固定能とバイオマス生産などの観点から、研究リソースとしての関心が高まっている。藻類リソース整備の現状と課題、多様性と進化、ゲノムからポストゲノム研究、応用利用等に関する研究動向や最新の成果を踏まえて、基礎から応用に至る藻類研究の未来形について議論する.

14:30-14:40		はじめに
14:40-14:55	1pSJ01	<b>藻類リソース整備の現状と課題</b> <u>河地正伸</u> (国立環境研究所)
14:55-15:10	1pSJ02	大型藻類におけるゲノム解析 長里千香子 (北大・北方セ)
15:10-15:35	1pSJ03	大規模配列データで解明される新奇真核微生物系統とそのオルガネラゲノム 稲垣祐司 <sup>1,2</sup> , 西村祐貴 <sup>2,3</sup> , 神川龍馬 <sup>5,6</sup> , 谷藤吾朗 <sup>2,3</sup> , 橋本哲男 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 筑波大・計算科学研究 セ, <sup>2</sup> 筑波大・生命環境, <sup>3</sup> 筑波大・院・生命環境科学, <sup>4</sup> 筑波大・院・システム情報工学, <sup>5</sup> 京都大・院・人間環境, <sup>6</sup> 京都大・院・地球環境)
15:35-16:00	1pSJ04	シアノバクテリア研究の未来 <u>宮下英明</u> (京都大・院・地球環境)
16:00-16:25	1pSJ05	<b>藻類メタボロミクス: 植物との違い</b> <u>有田正規<sup>1,2</sup></u> , 津川裕司 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国立遺伝学研究所, <sup>2</sup> 理研CSRS)
16:25-16:50	1pSJ06	代謝系解析に基づくラン藻・微細藻からのバイオ燃料生産への挑戦 <u>蓮沼誠久</u> (神戸大学 自然科学系先端融合研究環)
16:50-17:15	1pSJ07	<b>藻類バイオ:微細藻類の先端育種とその可能性について</b> <u>河野重行<sup>1,2</sup></u> ( <sup>1</sup> 東京大・院・新領域・先端生命、 <sup>2</sup> JST・CREST)
17:15-17:25		総合討論

### 9/12 14:30-17:30



# 細胞の機能を 3D イメージングで観る

共催: 日本植物形態学会

#### ●オーガナイザー

鮫島 正純(認定 NPO 法人綜合画像研究支援) 大隅 正子(認定 NPO 法人綜合画像研究支援)

3D イメージングの発展により、細胞の微細形態のみならず、その機能を"観る" ことができるようになってきた、本シンポジウムでは、連続超薄切片法、SBF-SEM、FIB-SEM、X線マイクロ CT、および 2 光子顕微鏡を用いて得られた 3D 再構築像による研究成果を通じて、古典的な連続超薄切片法の効用を再認識するとともに、最新の 3D 技術の有効性を紹介する.

14:30-14:40		はじめに <u>鮫島正純</u> (認定NPO法人綜合画像研究支援)
14:40-15:10	1pSK01	<b>藻類バイオと電顕 3D</b> 大田修平 $^{1,2}$ 、河野重行 $^{1,2}$ ( $^{1}$ 東京大・院・新領域、 $^{2}$ JST-CREST)
15:10-15:40	1pSK02	連続ブロック表面走査型電子顕微鏡(SBF-SEM)による細胞小器官の形態観察 宮崎直幸、村田和義(生理学研究所)
15:40-16:10	1pSK03	植物細胞壁高分解糸状菌の生存戦略 小笠原渉 (長岡技術科学大学)
16:10-16:40	1pSK04	X 線マイクロ CT を用いた植物の根および種子の 3D イメージング <u>唐原一郎</u> 1, 山内大輔 <sup>2</sup> , 峰雪芳宣 $^2$ ( $^1$ 富山大・院・理工, $^2$ 兵県大・院・生命理学)
16:40-17:10	1pSK05	植物細胞分裂のダイナミクスを 2 光子顕微鏡を用いて立体的に観察する 村田隆 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 基生研・生物進化、 <sup>2</sup> 総研大・生命科学・基礎生物)
17:10-17:30		総合討論

# 9/13 9:00-12:05 A <sub>会場</sub>

# 発生ロジックをもたらすシグナル分子群

共催: 新学術領域『植物発生ロジック』

#### ●オーガナイザー

塚谷 裕一 (東京大学·院·理) 伊藤 恭子 (東京大学·院·理)

近年、続々と発生を制御するシグナル因子が見つかってきている。ここでは転写因子とは違う点から、そうしたシグナルの解明に取り組んでいる方々にご講演を頂き、植物の発生を制御する因子として私たちが見落としてきたような側面をも含め、現在の理解を再度整理することを目指している。なお講演者は、若手を中心に選定をし、今までこうしたシンポジウムでは聞いたことのない組み合わせをねらった。この分野は成長著しく、世界的にも日本がリードしている。聴衆の要望も高いと期待している。

9:00-9:05		はじめに <u>塚谷裕一</u> (東京大学・院・理)
9:05-9:35	2aSA01	受容体発現ライブラリーを応用したペプチドシグナル RGF の受容体の同定 <u>篠原秀文</u> , 松林嘉克(名古屋大・院・生命理学)
9:35-10:05	2aSA02	ステロール生合成進化がもたらした多細胞植物ボディプラン成立 <u>太田大策</u> ,中本雅俊(大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)
10:05-10:35	2aSA03	活性酸素種による新奇な植物根の細胞機能転換制御機構 <u>塚越啓央<sup>1,7</sup></u> , 馬渕果穂 <sup>1</sup> , 鈴木孝征 <sup>2,3</sup> , 野元美香 <sup>2</sup> , Wolfgang Busch <sup>5</sup> , 多田安臣 <sup>2</sup> , 東山哲也 <sup>2,3,4</sup> , Philip Benfey <sup>6</sup> (「名大院・生命農, <sup>2</sup> 名大院・理学, <sup>3</sup> JST ERATO 東山ライブホロニクス, <sup>4</sup> 名 古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, <sup>5</sup> GMI, <sup>6</sup> Duke University, <sup>7</sup> JSTさきがけ)
10:35-11:05	2aSA04	RNA 分解と翻訳抑制を介した発生制御 <u>濱田隆宏</u> (東京大・院・総合文化)
11:05-11:35	2aSA05	木部分化制御におけるサーモスペルミンの作用機構 高橋卓, 吉本香織, 佟乌日娜, 懸樋潤一, 本瀬宏康 (岡山大学大学院自然科学研究科)
11:35-12:05	2aSA06	<b>ERECTA 受容体ファミリーがコーディネートする発生・成長シグナリング</b> 木村友香 <sup>1</sup> , 為重才覚 <sup>1</sup> , 池松朱夏 <sup>1</sup> , 松原健太 <sup>1</sup> , 平川有宇樹 <sup>1</sup> , 田坂昌生 <sup>2</sup> , 鳥居啓子 <sup>1,3,4</sup> , 打田直行 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大・WPI-ITbM, <sup>2</sup> NAIST・バイオ, <sup>3</sup> Univ. Washington, <sup>4</sup> HHMI)

### 9/13 9:00-11:40



# 植物バイオマスの理解と活用による二酸化炭素の資源化を目指して

共催: JST CREST

#### ●オーガナイザー

関 原明(理化学研究所 環境資源科学研究センター/JST・CREST/Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ.) 芦苅 基行(名古屋大学・生物機能開発利用研究センター/JST・CREST)

地球上の炭素化合物は植物やラン藻が営む光合成によって作りあげられてきたものである。近年、光合成機能によって作り出されるバイオマスの活用により、二酸化炭素を資源化するための基盤技術の創出を目指す研究が注目されつつある。本シンポジウムでは、植物のバイオマス生合成機構の理解とその活用等により物質生産力強化や炭素貯留能向上を目指す先端的研究を紹介する。日本企業の環境資源化に向けた取り組みも紹介し、二酸化炭素資源化研究の可能性を探る。本シンポジウムは JST CREST との共催で開催する。

9:00-9:05		はじめに <u>関原明</u> <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> 理研・CSRS, <sup>2</sup> JST・CREST, <sup>3</sup> Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ.)
9:05-9:30	2aSD01	イネ <b>野生種を用いた遺伝学的研究</b> <u>芦苅基行</u> <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大学・生物機能開発利用研究センター, <sup>2</sup> JST・CREST)
9:30-9:55	2aSD02	<b>澱粉構造制御による新規需要米の創出</b> <u>藤田直子</u> (秋田県大・生資)
9:55-10:20	2aSD03	ラン藻の転写と代謝を理解して物質生産に役立てる 小山内崇(理研・CSRS)
10:20-10:45	2aSD04	RNA ウイルスベクターを利用した植物の機能解析と機能改変 吉川信幸(岩手大学農学部)
10:45-11:10	2aSD05	東南アジア諸国との連携によるキャッサババイオマスの量的・質的向上を目指して 内海好規 <sup>1</sup> 、櫻井哲也 <sup>1</sup> 、内海稚佳子 <sup>1,2</sup> 、武井良郎 <sup>1,3</sup> 、石谷学 <sup>4</sup> 、Ham Huy Le <sup>5</sup> 、 Dong Van Nguyen <sup>5</sup> 、Jarunya Narangajavana <sup>6</sup> 、Kanokporn Triwitayakorn <sup>6</sup> 、関原明 <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> RIKEN CSRS、 <sup>2</sup> JST・CREST、 <sup>3</sup> Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ., <sup>4</sup> CIAT、 <sup>5</sup> Institute of Agri. Genet., <sup>6</sup> Mahidol Univ.)
11:10-11:35	2aSD06	農業生産におけるアミノ酸発酵副生液の利用 三輪哲也(味の素株式会社イノベーション研究所)
11:35-11:40		<b>総合討論</b> <u>芦苅基行</u> <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大学・生物機能開発利用研究センター, <sup>2</sup> JST・CREST)

### 9/13 9:00-11:30

┗ <sub>会場</sub>

# 細胞遺伝学の伝統と新たなる地平

共催: 日本メンデル協会

#### ●オーガナイザー

松永 幸大 (東京理科大学理工学部)

河野 重行 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

分子生物学やゲノム科学の発展とともに、細胞遺伝学が再び脚光を浴びている。日本の細胞遺伝学の歴史と伝統を紹介するとともに、エピゲノムをはじめ細胞遺伝学の最先端分野で活躍する4名が最新の研究を紹介する。また、原発事故による染色体への影響調査を事例に、細胞遺伝学が社会で果たす役割を明らかにするとともに、細胞遺伝学の新たな地平とは何かを議論する。本シンポジウムは日本メンデル協会との共催で行う。

9:00-9:20	2aSH01	日本メンデル協会の歴史 長田敏行 (法政大・生命・応用植物)
9:20-9:50	2aSH02	タバコ培養細胞 BY-2 の細胞学:細胞の増殖・分化と死 <u>酒井敦</u> (奈良女子大・理・生物)
9:50-10:20	2aSH03	<b>放射線と染色体異常</b> <u>数藤由美子</u> (放医研・緊急被ばく)
10:20-10:40	2aSH04	クロマチン・イメージングによる細胞遺伝学の新展開 松永幸大,平川健,坂本卓也(東京理科大学理工学部応用生物科学科)
10:40-11:10	2aSH05	DNA メチル化とトランスポゾン動態 角谷徹仁 (国立遺伝学研究所)
11:10-11:30	2aSH06	国際細胞学雑誌キトロギアの歴史 河野重行 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・院・新領域・先端生命、 <sup>2</sup> キトロギア編集長)

### 9/13 9:00-11:45



# 細胞・組織における凹凸が生まれる機構とその意義

#### ●オーガナイザー

爲重 才覚(名古屋大学 WPI-ITbM)

中田 未友希 (立教大学理学部生命理学センター)

植物の形態は多様で複雑であるが、様々な大きさや曲率の凹凸が組合わさった構造として捉えることができる。そのため、特徴的な凹凸を生み出す過程やその意義を明らかにすることが重要であるが、その解析には高度な観察技術や幾何学の理論などに精通する必要があり、多くの場合困難を伴う。本シンポジウムでは凹凸構造の研究にチャレンジしている実験系研究者と数理系研究者による講演を行い、研究者間の交流を活発化するとともに、今後の課題を浮き彫りにする。

9:00-9:05		はじめに <u>為重才覚</u> (名古屋大学 WPI-ITbM)
9:05-9:30	2aSK01	花粉管伸長における形状の動的解析を実現するマイクロ流路内ライブイメージング 新田英之(JST/名古屋大学)
9:30-9:55	2aSK02	自由生活型アメーバの単離細胞膜が示す Rolling 構造と細胞膜 3 次元曲率に関する研究 西上幸範 <sup>1</sup> ,谷口篤史 <sup>2</sup> ,野中茂紀 <sup>2</sup> ,園部誠司 <sup>3</sup> ,市川正敏 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学大学院理学研究科, <sup>2</sup> 基礎生物学研究所, <sup>3</sup> 兵庫県立大学大学院生命理学研究科)
9:55-10:20	2aSK03	Motion of patterns on a curved surface 栄伸一郎(Dept. Math. Hokkaido Univ.)
10:20-10:45	2aSK04	イネの発生における凹凸形成の生物学的意義 <u>伊藤純一</u> (東京大学大学院農学生命科学 育種学研究室)
10:45-11:10	2aSK05	葉の成長過程における凹凸の形成とその制御 小山知嗣(公益財団法人サントリー生命科学財団・生物有機科学研究所)
11:10-11:35	2aSK06	脊椎動物四肢発生過程における組織変形動態の解析 森下喜弘(理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター)
11:35-11:45		総合討論

### 理事会主催シンポジウム 9/14 9:00-11:10

\_ 会場

### 本音で語ろう若手のキャリアパス

~研究者貧乏よ・さらば~

#### ●オーガナイザー

篠村 知子(帝京大学理工学部)

小山内 崇 (理化学研究所環境資源科学研究センター)

昨今は多くのアカデミックポジションが任期付きとなり、また、ポストが減ることも多く、若手研究者の雇用環境を取り巻く状況は厳しい。特に、植物基礎科学は応用に直結しないため、専攻をためらう学生も多い。植物科学の基礎研究を職業として続けていくことは、非常に難しいことである。今まさに我々は、今後どのようにこの分野を発展させていけるかという重要な岐路にあることを、多くの研究者が問題視している。

何が問題なのだろうか?ひたすらに刻苦勉励するだけではいけないのだろうか?反対に、成果を出した一流の研究者が、裕福な暮らしを望むのは罪悪なのだろうか?純学問的価値と産業応用は相反するものなのだろうか?アカデミックポジションと企業への就職は、対立するものなのだろうか?私たちは「企業」に対する正しい認識をもっているだろうか?よく知らないという理由だけで、より広い世界への窓を閉ざしてはいないだろうか?これらの問いは、植物学会のアイデンティティをどこに置くかという学問への根源的な問いと密接に関係している。

本シンポジウムでは、まずは互いによく知らないことへの理解を深めることから始めたいと考え、幅広い年代層の研究者の問題意識を共有することを目指す。さらに、学位取得後、様々な分野、特に企業に進んだ方々を集め、多様な進路について紹介したい。この紹介は、アカデミックポジションの受け皿を増す意図ではなく、業界・分野の枠を取り払い、研究も、技術開発も、ビジネスも、偏見を排して健全に発展させたいという希望のもとに行う。単に体験談の紹介だけでなく、植物科学出身の若手が安定した雇用を達成しつつ、その職務を全うし続けられるかについて、建設的な方法を提案していく場を作っていきたいと考えている。

9:00-9:20	3aSL01	私たちが『知の継承者・創造者』として活き活きと生きていくには <u>風間晴子</u> (女子学院・国際基督教大学)
9:20-9:25	3aSL02	アカデミックの研究者, お金のことを考える. <u>小山内崇</u> (理研・CSRS)
9:25-9:45	3aSL03	私が企業研究を選んだ 10 の理由 <u>青木里奈</u> ((株) カネカ GP事業開発部 将来技術グループ)
9:45-10:05	3aSL04	幼児向け教材編集 科学を知らない子どもと科学する仕事 佐藤桃子 ((株) ベネッセコーポレーション)
10:05-10:25	3aSL05	<b>アカデミック・リソースを活かして一緒に世界を変える大きな仕事をしませんか?</b> <u>丸幸弘</u> ((株) リバネス)
10:25-10:45	3aSL06	企業研究に活かす弁理士の資格と知識 <u>嵐田亮</u> (株式会社ユーグレナ)
10:45-11:05	3aSL07	35 歳 <b>でアカデミアから企業に移ってみました</b> <u>軸丸裕介</u> (アジレント・テクノロジー株式会社 ライフサイエンス・化学分析本部)
11:05-11:10	3aSL08	これからの私たちの試行錯誤 <u>篠村知子</u> (帝京大学理工学部バイオサイエンス学科)

# 公開講演会 9/14 14:30-18:00

新百合トウェンティワンホール

### 私達のくらしを支える植物の多様な遺伝資源

主催: 公益社団法人日本植物学会

後援: 明治大学

後援:川崎市教育委員会

後援: 多摩区·3 大学連携協議会

後援:川崎市麻生区

食糧、医薬品、日用品をはじめ、私達のくらしは植物の遺伝資源の多様性の利用により成り立っています。

ただ、それらがどのような起源を持ち、人間の手による改変(育種)を経て生産されることで私達の生活を支えているのか、彩りを与えているのかについてはよく知られていません。

本公開講演会では、各分野で先端的な研究を進めている大学・企業の専門家の方に、植物の多様な資源の重要性について分かりやすく講演していただき、次世代を担う若者、および、広く一般市民の方々に理解を深めていただくことを目的としています。

14:30-14:35	はじめに
14:35-15:05	医食同源~植物のいろいろなチカラ 村中俊哉 (大阪大学大学院工学研究科,教授)
15:05-15:35	コムギと唐辛子の多様な遺伝資源 <u>坂智広</u> (横浜市立大学木原生物学研究所, 教授)
15:35-16:05	KODA のもつ多様な生理作用と可能性 横山峰幸 (横浜市立大学木原生物学研究所, 特任教授)
16:05-16:15	休憩
16:15-16:45	ボルネオ島の多様な植物:フィールドでの探索の実際 塚谷裕一 (東京大学大学院理学研究科, 教授)
16:15-16:45 16:45-17:15	
	<u>塚谷裕一</u> (東京大学大学院理学研究科,教授) サカタのタネにおけるメロン育種

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	シンポジウム 環境刺激に応答した 植物の情報伝達と 成長制御	分類・系統・進化 座長:高山 浩司 片山 なつ 石田 健一郎 野崎 久義	発生・生長・形態形成 座長: 石田 喬志 栗原 大輔 豊倉 浩一	シンポジウム 古い酒を新しい革袋に 〜 preexisting gene regulatory networkの 転用による陸上植物の ボディブラン革新	細胞壁 座長:米田 新 中里 朱根 岩井 宏暁
9:30	9:30-9:55 1aSA01 環境刺激に応答した気孔 開口と植物の成長制御 <u>本下俊則</u> (名古屋大学トラン スフォーマティブ生命分子研 究所)	1aB01 葉緑体 DNA 全塩基配列比 較による海流散布植物ハマボウ (アオイ科) の空 間的遺伝構造の解明 高山浩司 (東大・総合研究博 物館)	トカイニンはミヤコグサ	9:30-9:35 はじめに 石崎公庫(神戸大・院・理) 9:35-9:58 1aSD01 ゼニゴケから見えてきた 栄養繁殖と腋芽発生の共 通制御メカニズム 石崎公庸(神戸大・院・理)	1aE01 道管の二次細胞壁パター ンを制御する新規ROPシ グナル因子の解析 長島度宜 <sup>1</sup> 、福田裕穂 <sup>1</sup> 、小田祥 久 <sup>2,3</sup> (「東京大・院・理、 <sup>2</sup> 国立 遺伝研・新分野、 <sup>3</sup> JST・さきが け)
9:45		1aB02 上北迫植物化石群から発 見したクスノキ科の新 属・新種の花化石 一大 型加速器 APS による SRXTM解析 一 高橋正道¹, Patrick S Herendeen², Xianghui Xiao³, Peter R Crane⁴ (¹新潟大学 理学 部自然環境科学科, ²Chicago Botanic Garden, Chicago, II., USA, ³Advanced Photon Source, Argonne, II., USA, ⁴Yale Univeristy, Connecticut, USA)	1aC02 線虫感染過程における CLAVATAシグナル伝達系 の関与 中上知 <sup>1</sup> , 江島千佳 <sup>1</sup> , Ngan Bui Thi <sup>1</sup> , 田畑亮 <sup>2</sup> , 佐藤博 <sup>1</sup> , 石田 喬志 <sup>1</sup> , 澤進一郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 熊本大・ 院・自然科学, <sup>2</sup> 基生研)		1aE02 ケミカルジェネティクス を用いた木部道管分化に おける二次細胞壁パター ン形成機構の解明 家門絵理 <sup>1</sup> , Pesquet Edouard <sup>2</sup> , 人保稔 <sup>1</sup> , 大谷美沙都 <sup>1</sup> , 加藤 晃 <sup>1</sup> , 米田新 <sup>1</sup> , 出村拓 <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> 奈良 先端科学技術大学院大学 バ イオサイエンス研究科, <sup>2</sup> Umeä Plant Science Center, Department of Plant Physiology, Umea University, <sup>3</sup> 理研環境資源科学 研究センター)
10:00	9:55-10:20 1aSA02 植物の乾燥ストレス応答 と成長制御 <u>篠崎和子</u> (東京大学大学院農 学生命科学研究科植物分子生 理学研究室)	1aB03 台湾高山に分布するマン ネングサ属の系統地理 伊東拓朗 <sup>14</sup> 、中村剛 <sup>2</sup> 、鍾國芳 <sup>3</sup> 、 國府方吾郎 <sup>1,4</sup> (「茨大・連携院・ 農、 <sup>2</sup> 中研院・多様性中心、 <sup>3</sup> 台 湾大・森林環境、 <sup>4</sup> 科博・植物)	1aC03 Heterotrimeric G proteins は CLAVATA シグナル伝達 経路と協調的に機能し茎 頂分裂組織の制御を行う 石田喬志'、田畑亮'、山田昌 史 <sup>23</sup> 、相田光宏*、光増可奈子'、 樋口雅之*、辻寛之*、鳥本功*、 澤進一郎'(「熊本大・院・自然 科学、 <sup>2</sup> 東大・院・理・生物科学、 <sup>3</sup> Duke University、 <sup>4</sup> 奈良先端大・ バイオ)	9:58-10:21 1aSD02 陸上植物進化における NAC転写因子ファミリー VNSの役割 太谷美沙都 <sup>1,2</sup> 、徐波 <sup>1</sup> 、出村拓 <sup>1,2</sup> (「奈良先端・バイオ、 <sup>2</sup> 理研・ CSRS)	1aE03 高分子リグニン酸化能を もつポプラペルオキダー ゼCWPO-Cの発現と局在 解析 <u>堤祐司</u> ,大平香織,重藤潤(九 大・院・農)
10:15	10:20-10:45 1aSA03 環境ストレスによる細胞 分化制御 <u>杉本慶子</u> , 岩瀬哲, 池内桃子 (理化学研究所環境資源科学研究センター細胞機能研究 チーム)	1aB04 琉球列島と台湾のヒメサ ギゴケ (ハエドクソウ科) にみられる核 DNA ITS 領 域の種内変異 権本巴薬 <sup>13</sup> 、横田昌嗣 <sup>2</sup> 、國府 方吾郎 <sup>13</sup> (「茨大・連携院・農、 <sup>2</sup> 琉大・理・海洋自然、 <sup>3</sup> 科博・ 植物)	おける細胞運命決定機構 の解析 <u>栗原大輔<sup>1-2</sup></u> , 牛王啓太 <sup>1</sup> , 有賀 花奈 <sup>1</sup> , 植田美那子 <sup>1,2,3</sup> , 東山哲	10:21-10:44 1aSD03 苔類ゼニゴケの光質および日長による成長相転換制御機構 河内孝之(京大・院・生命科学)	1aE04 細胞壁を変化させる低分 子化合物の探索・解析 悪原(大窪)恵美子¹, 栗原志 夫¹, 大谷美沙都², 小林恵³, 永 田典子³, 小松功典⁴, 菊地淳³⁴, 掛川弘一⁵, 出村拓¹², 松井南¹ ('理研・横浜, ²奈良先端大・ バイオサイエンス, ³日本女子 大・理学, ⁴横浜市立大・院・生 命ナノシステム, ⁵森林総研・ バイオマス化学)

F会場	G会場	Ⅱ会場	J 会場	K会場	時間
形態・構造/ 細胞骨格・運動 <sup>座長:</sup> 奥田 一雄 河野 重行 藤田 知道 小田 祥久	成長生理/生殖 <sup>座長:</sup> 佐野 俊夫 岩元 明敏 風間 裕介	シンポジウム C4光合成研究の新展開	代謝・物質生産・メタボ ローム・バイオエネルギー 座長: 墨谷 暢子 三角 修己 鈴木 英治	シンポジウム 植物スフィンゴ脂質 研究の新展開 〜代謝経路と生体膜 マイクロドメイン〜	
	1aG01 落葉性木本植物のリン酸 分配・転流機構の解析 <u>栗田悠子</u> <sup>1</sup> ,馬場啓一 <sup>2</sup> ,大西 美輪 <sup>1</sup> ,姉川彩 <sup>1</sup> ,小菅桂子 <sup>1</sup> , 七條千津子 <sup>1</sup> ,石崎公庸 <sup>1</sup> ,深 城英弘 <sup>1</sup> ,三村徹郎 <sup>1</sup> (1神戸大・ 院・理・生物, <sup>2</sup> 京都大・生存 研)	9:30-9:40 はじめに 古 <u>本強</u> (龍谷大学文学部農学 研究所)	1aJ01 UDP-Glc Pyrophosphorylase is specifically inhibited by excess PPi during storage lipid mobilization Ali Ferjani¹, Kensuke Kawade², Akira Oikawa²³, Mariko Asaoka⁴, Kazuki Takahashi¹, Masanori Ishida¹, Masayoshi Maeshima⁴, Masami Yokota Hirai², Kazuki Saito²⁵, Hirokazu Tsukaya⁶ (¹Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ., ²CSRS., Riken, ³Fac. Agri., Yamagata Univ., ⁴Grad. Sch. Bioagri. Sci., Nagoya Univ., ⁵Grad. Sch. Pharm. Sci., Chiba Univ., 6Grad. Sch. Sci., Tokyo Univ.)	9:30-10:05 1aSK01 シロイヌナズナにおける スフィンゴイド塩基リン 酸の代謝経路と生理機能 柳川大樹、 <u>今井博之</u> (甲南大・院・自然科学)	9:30
1aF02 耐塩性イネ科植物ローズ グラスにおける小毛の形態と塩水溶液排出 大井崇生, 三宅博, 谷口光隆 (名古屋大・院・生命農学)	1aG02 スクロース添加時のシロイヌナズナ成長促進における葉緑体糖脂質合成酵素の役割 村川雅人'、下嶋美恵 <sup>2</sup> 、下村雄一'、小林康一 <sup>3</sup> 、粟井光一郎 <sup>4.5</sup> 、太田啓之 <sup>2.6.7</sup> (「東工大・院・生命理工、 <sup>2</sup> 東工大・バイオセンター、 <sup>3</sup> 東大・院・総合文化、 <sup>4</sup> 静岡大・院・理、 <sup>5</sup> JST・さきがけ、 <sup>6</sup> 東工大・地球生命研、 <sup>7</sup> JST・CREST)	9:40-10:05  1aSH01  C <sub>4</sub> 光合成研究の新たな課題:ストレス応答の細胞特異性 <u>谷口光隆</u> (名古屋大学大学院生命農学研究科)	1aJ02 単細胞紅藻 Cyanidioschyzonにおけるエネルギー変換と細胞 周期進行の関係 宮城島進也 <sup>1,2,3</sup> 、藤原崇之 <sup>1</sup> 、墨 谷暢子 <sup>1,3</sup> 、恵良厚子 <sup>1,3</sup> (「遺伝研、 <sup>2</sup> 総研大、 <sup>3</sup> JST・CREST)		9:45
1aF03 褐藻の細胞壁形成における金標識抗フコイダン抗体の分布 関田諭子 <sup>1</sup> ,川井浩史 <sup>2</sup> , <u>奥田一雄</u> <sup>1</sup> (「高知大・黒潮圏, <sup>2</sup> 神戸大・内海域)		10:05-10:30 1aSH02 C4光合成で見落とされていること - 光環境変化への応答性 古本強', 宗景ゆり <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 龍谷大学文学部, <sup>2</sup> 奈良先端科学技術大学)	1aJ03 単細胞紅藻 Cyanidioschyzon merolae におけるエネルギー代謝 の日周シフト 恵良厚子 <sup>1,2</sup> 、藤原崇之 <sup>1,4</sup> 、墨谷 暢子 <sup>1,2</sup> 、中村真心 <sup>1,3</sup> 、宮城島進 也 <sup>1,2,3</sup> (「遺伝研・新分野、 <sup>2</sup> JST・ CREST、 <sup>3</sup> 総研大・生命科学・ 遺伝学)	10:05-10:30 1aSK02 長鎖塩基のグリセロ脂質 への代謝経路と代謝酵素 の同定 木原章雄(北大・薬)	10:00
1aF04 ヒラアオノリの一過的形質転系を用いて観察した 単為生殖過程のオルガネ ラと細胞の動態 <u>鈴木亮吾<sup>1</sup></u> 、清水恭夫 <sup>1</sup> 、市原健介 <sup>1</sup> 、山崎誠和 <sup>1</sup> 、桑野和可 <sup>2</sup> 、河野重行 <sup>1</sup> (「東京大・院・新領域・先端生命、 <sup>2</sup> 長崎大学・院・水産)	学的解析 岩元明敏¹, 梅村智晶¹, 大林 柷¹, 馬建鋒² (¹東京学芸大学 自然科学系, ²岡山大・資源植		1aJ04 原始紅藻 Cyanidioschyzon merolaeのバイオマス合成 に対する光波長変化の 影響 <u>齋藤貴史<sup>1</sup></u> , 三角修己 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 山 口大・院・医・応用分子, <sup>2</sup> JST CREST)		10:15

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	シンポジウム 環境刺激に応答した 植物の情報伝達と 成長制御	分類・系統・進化 座長: 高山 浩司 片山 なつ 石田 健一郎 野崎 久義	発生・生長・形態形成 座長: 石田 喬志 栗原 大輔 豊倉 浩一	シンポジウム 古い酒を新しい革袋に 〜preexisting gene regulatory networkの 転用による陸上植物の ボディブラン革新	細胞壁 座長:米田 新 中里 朱根 岩井 宏暁
10:30		1aB05 Revealing the phylogeography of the cycad genus Dioon (Zamiaceae): conservation implications José Said Gutiérrez-Ortega <sup>1</sup> , Tadashi Kajita <sup>1</sup> , Andrew Vovides <sup>2</sup> , Miguel Ángel Pérez-Farrera <sup>3</sup> , Francisco Molina-Freaner <sup>4</sup> (¹Department of Biology, Graduate School of Sciences, Chiba University, ²Instituto de Ecología, A.C., Xalapa, MEX, ³Universidad de Ciencias y Artes de Chiapas, Tuxtla Gutiérrez, MEX, ⁴Instituto de Ecología, Universidad Nacional Autónoma de México, Hermosillo, MEX)	1aC05 篩管中を長距離輸送されるmRNAに関する研究 野田口理孝 <sup>1,2</sup> , 鈴木孝征 <sup>1,2,4</sup> , 東山哲也 <sup>1,2,3</sup> (1名古屋大学大 学院理学研究科, <sup>2</sup> JST ERATO 東山ライブホロニクスプロ ジェクト, <sup>3</sup> 名古屋大学トラン スフォーマティブ生命分子研 究所, <sup>4</sup> 中部大学応用生物学部 応用生物化学科)		1aE05 Molecular cloning and sequencing of type Iα-galactosidase from cowpea 中里朱根,極熊浩一(昭和薬科大学生物系薬学教育研究室)
10:45	10:45-11:10 1aSA04 維管束のシグナル伝達 福田裕穂(東京大学大学院理 学系研究科生物科学専攻)	1aB06 Estimation of the historical levels of gene flow between <i>Pinus</i> pumila and <i>P. parviflora</i> populations <u>Vando Samuel</u> , Yasuyuki Watano (Chiba University)	1aC06 Functional analysis of Haspin kinase role in plants Elena Kozgunova <sup>1</sup> , Daisuke Kurihara <sup>1,2</sup> , Tetsuya Higashiyama <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> Graduate School of Science, Nagoya University, <sup>2</sup> JST-ERATO, <sup>3</sup> WPI-ITbM, Nagoya University)	10:44-11:07 1aSD04 KNOX遺伝子族の進化に よる陸上植物複相の複雑 化 榊原恵子 <sup>1</sup> , 古水千尋 <sup>2</sup> , John Bowman <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学大学院理 学系研究科生物科学専攻, <sup>2</sup> School of Biological Sciences, Monash University)	1aE06 イネの発達過程における ペクチンメチル化関連酵 素遺伝子PMTの機能解析 鎌田志保美 <sup>1</sup> 、長谷川和也 <sup>1</sup> ,青 原勉 <sup>1</sup> 、中村敦子 <sup>1</sup> 、砂川直輝 <sup>2</sup> 、 五十嵐圭日子 <sup>2</sup> 、佐藤忍 <sup>1</sup> 、岩井 宏暁 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 筑波大・生命環境。 <sup>2</sup> 東京大・院・農生科)
11:00		休憩	休憩	11:07-11:30	休憩
11:15	11:10-11:35 1aSA05 環境刺激による核内クロマチンのダイナミクス 制御 松永幸大, 杉山智哉, 長谷川淳子, 坂本卓也(東京理科大学理工学部応用生物科学科)	分子進化速度の上昇と進 化可能性 片山なつ <sup>12</sup> , 西山智明 <sup>3</sup> , 厚井 聴 <sup>4</sup> , 倉田哲也 <sup>5</sup> , 今市涼子 <sup>1</sup> , 加 藤雅珍 <sup>6</sup> ( <sup>1</sup> 日本ケ子大・理		1aSD05 ゼニゴケCLEペプチドホ ルモンの機能 <u>平川有字樹<sup>1,2</sup></u> 、田畑亮 <sup>3,4</sup> 、石崎 公庸 <sup>5</sup> ,河内孝之 <sup>6</sup> 、John Bowman <sup>2</sup> 、澤進一郎 <sup>6</sup> (「名大・ ITbM、 <sup>2</sup> モナシュ大・生物、 <sup>3</sup> 名 大・生命、 <sup>4</sup> 熊大・自然、 <sup>5</sup> 神大・ 生物、 <sup>6</sup> 京大・生命)	1aE07 プロトプラストからの一 次細胞壁再形成時に働く 分子機構の解析 <u>米田新</u> <sup>1</sup> , 出村拓 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 奈良先 端大・バイオ, <sup>2</sup> 理研・CSRS)
11:30	11:35-12:00 1aSA06 クロマチン長期記憶 角谷徹仁(国立遺伝学研究所)	子形成と娘細胞壁合成後 の母細胞壁のふるまい	1aC08 転写因子PUCHIを介した TOLS2ペプチドによる側 根制御 豊倉浩二、篠田明徳、郷達明、 三村徹郎、深城英弘(神戸大・ 院・理)	11:30-11:53 1aSD06 車軸藻植物門クレブソルミディウムのゲノムから見た植物の陸上進出 掘孝一',近藤智',大高きぬ香',唐司典明',渡邊汀',黒川顕²,太田啓之 <sup>12</sup> (「東工大・バイオセンター, 2東工大・ELSI)	1aE08 葉肉細胞プロトプラストの細胞壁再生系の開発とイメージング解析を利用した細胞壁構築過程の解析 九鬼寛明¹、桧垣匠²、小浜大山¹、横山隆亮¹、篠原直身¹、馳澤盛一郎²,西谷和彦¹(¹東北大学大学院生命科学研究科植物細胞壁機能分野、²東京大学大学院新領域創成科学研究科植物全能性制御システム解析学分野)

F会場	G 会場	H 会場	J 会場	K会場	時間
形態・構造/ 細胞骨格・運動 <sup>座長:</sup> 奥田 一雄 河野 重行 藤田 知道 小田 祥久	成長生理/生殖 <sup>座長:</sup> 佐野 俊夫 岩元 明敏 風間 裕介	シンポジウム C4光合成研究の新展開	代謝・物質生産・メタボ ローム・バイオエネルギー 座長: 墨谷 暢子 三角 修己 鈴木 英治	シンポジウム 植物スフィンゴ脂質 研究の新展開 〜代謝経路と生体膜 マイクロドメイン〜	
1aF05 クロレラ類の栄養飢餓条件における物質の蓄積動態を電顕3D法で立体構築する 吉原真衣 <sup>1</sup> . 大田修平 <sup>1,2</sup> , 山崎誠和 <sup>1,2</sup> , 計學乗業 <sup>3</sup> , 平田愛子 <sup>1</sup> , 河野重行 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・新領域、 <sup>2</sup> JST-CREST、 <sup>3</sup> (株)日立ハイテク)	1aG05 トウガラシの胎座重量と カプサイシノイド含有量 の週齢による変化 渡辺信平、宮腰和也、佐野俊 夫(法政大・院・生命)	10:30-10:55 1aSH03 Flaveria 属植物の解析から見えるC4型進化モデル 宗景ゆり、谷口幸美(奈良先端大・バイオ)	1aJ05 窒素欠乏環境における Cyanidioschyzon merolae のデンプン蓄積 と脂質合成の関係 三角修己 <sup>1.3</sup> , 中島庸平², 泉彩 香², 齋藤貴史¹, 江頭業由子¹ (¹山口大・院・医・応用分子 生命, ²山口大・理・生物化学, ³JST CREST)	10:30-10:55 1aSK03 長鎖塩基不飽和化を介したスフィンゴ脂質合成制御とストレス耐性 石川寿樹、川合真紀(埼玉大・院・理工)	10:30
に存在する Chl fの同定 小松悠久 <sup>1</sup> ,藤沼大幹 <sup>1</sup> ,渡辺 正 <sup>2</sup> ,亀山眞由美 <sup>3</sup> ,小野裕嗣 <sup>3</sup> , 大久保智司 <sup>4</sup> ,宮下英明 <sup>4</sup> ,小林 正美 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 筑波大学物質工学 域、 <sup>2</sup> 東京理科大学・総合教育	伊藤利章 <sup>3</sup> , 荒川圭太 <sup>3</sup> , 藤木友 紀 <sup>1</sup> , 西田生郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉大·院·		1aJ06 Botryococcus braunii B品 種におけるスクアレンエ ポキシダーゼ様遺伝子群 の単離と発現解析 内田英伸 <sup>12</sup> 、福永有佑 <sup>12</sup> 、 (本本 惟光 <sup>12</sup> 、 松永茂樹 <sup>12</sup> 、 岡田茂 <sup>12</sup> (「東大・院・農、「JST CREST)		10:45
 休憩	休憩	10:55-11:20	 休憩	10:55-11:05	11:00
1aF07 The study of a plasma membrane protein involved in cell polarity regulation in <i>Physcomitrella patens</i> Junling Ren¹, Yuya Tsuchiya¹, Mitsuyasu Hasebe²³, Tomomichi Fujita⁴ (¹Grad Sch. of Lif Sci., Hokkaido Univ, ²Div. of Evol. Biol., NIBB, ³Sch. of Life Sci., SOKENDAI, ⁴Fac. of Sci. Hokkaido Univ)	1aG07 巡回セールスマン問題を応用したヒロハノマンテマ雄性決定領域の欠失マッピング 風間裕介,石井公太郎,池田時浩,川元寛章²,河野重行²,阿部知子¹(「理研・仁科センター・生物照射,²東京大・院・新領域・先端生命)	1aSH04 「C3植物のC4化」 Rubiscoだけでも役に立つ? 深山造(神戸大・院・農) 11:20-11:45 1aSH05 C3/C4光合成相互転換植物 Eleocharis viviparaを用いたC4光合成成立遺伝子の探索	1aJ07 プラスチックバッグを用 いた Nostoc sp. PCC 7422 ΔHupL 株による水 素生産 北島正治¹, 増川一², 櫻井英 博², 井上和仁¹² (¹神奈川大・ 理・生物, ²神奈川大・水素生 産研)	休憩 11:05-11:30 1aSK04 液胞膜マイクロドメイン とその機能 吉田勝久, 大西美輪, 三村徹 郎 (神戸大院・理・生物)	11:15
1aF08 微細藻の鞭毛運動の4次 元解析 石川依久子. 宮脇敦史(理研・ 光量子工学研究領域・生命光 学技術研究チーム)	1aG08 Y染色体遺伝子アレイを 用いたヒロハノマンテマ 性分化ステージの発現プロファイリング 五 <u>井公太郎</u> <sup>1</sup> , 風間裕介 <sup>1</sup> , 川元 寛章 <sup>2</sup> , 河野重行 <sup>2</sup> , 阿部知子 <sup>1</sup> (「理研・仁科・生物照射、 <sup>2</sup> 東 京大・院・新領域・先端生命)	原田大士郎, 東本曾昭, 富田哲也 <sup>4</sup> , 大和勝幸 <sup>2</sup> , 泉井桂 <sup>3</sup> , 秋田求 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 近大・院・生物理工, <sup>2</sup> 近大・生物理工、 <sup>3</sup> 近大・生物理工・先端研, <sup>4</sup> 奈良先端大・バイオ・植物グローバル)	1aJ08 シアノバクテリアにおけ るイネ澱粉代謝酵素遺伝 子の発現と機能解析 菅原優美, 萩原信幸, 三浦淳, 鈴木龍一郎, <u>鈴木英治</u> (秋田 県立大学 生物資源科学部)	11:30-11:55 1aSK05 温度刺激に対する細胞膜マイクロドメインの組成および機能の応答 上村松生 <sup>1,2</sup> 、高橋大輔 <sup>2</sup> 、南杏鶴 <sup>3</sup> 、河村幸男 <sup>1,2</sup> (1岩手大・農・寒冷バイオ、 <sup>2</sup> 岩手大・院・連合農学、 <sup>3</sup> 名大・生物機能開発利用研究センター)	11:30

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	
	シンポジウム	分類・系統・進化	発生・生長・形態形成	シンポジウム	細胞壁	
	環境刺激に応答した 植物の情報伝達と 成長制御	座長∶高山 浩司 片山 なつ 石田 健一郎 野崎 久義	座長∶石田 喬志 栗原 大輔 豊倉 浩一	古い酒を新しい革袋に 〜preexisting gene regulatory networkの 転用による陸上植物の ボディブラン革新	<sub>座長</sub> :米田 新中里 朱根岩井 宏暁	
11:45			の機能解析による維管束 初期形成機構の解明 片山博文 <sup>1</sup> 、假屋唯香 <sup>2</sup> 、浅川倫 宏 <sup>2</sup> 、菅敏幸 <sup>2</sup> 、福田裕穂 <sup>1</sup> 、伊藤 (大橋) 恭子 <sup>1</sup> (「東大・院・理		1aE09 巨大細胞性黄緑藻フシナシミドロの細胞壁の厚さの測定 <u>隆一朗</u> <sup>1</sup> , 山﨑健史 <sup>2</sup> , 奥田一雄 <sup>1</sup> (「高知大・院・黒潮圏, <sup>2</sup> 高知大・理・生物科学)	
12:00	12:00-12:10	1aB10 クロララクニオン藻	1aC10 維管束初期形成における	11:53-12:16		
	総合討論	Partenskyella glossopodia にみるヌクレオモルフゲ ノムの進化		1aSD07 シャジクモゲノムにみる 陸上植物の制御因子ホモ		
		金木重勝, 石田健一郎 (筑波大学·院·生命環境)		四グ 西山智明 <sup>1</sup> ,豊田敦 <sup>2</sup> ,鈴木穣 <sup>3</sup> ,藤山秋佐夫 <sup>2</sup> ,坂山英俊 <sup>4</sup> (「金 沢大・学際セ、 <sup>2</sup> 遺伝研・比較 ゲノム、 <sup>3</sup> 東京大・新領域、 <sup>4</sup> 神 戸大・院理)		
12:15		1aB11	1aC11	12:16-12:30		
12:30		遺伝子重複が駆動する光 合成集光アンテナの進化 と藻類の多様化 丸山真一朗¹, 將口栄一², 佐藤 矩行², 皆川純¹(¹基生研・環 境光, ²OIST・マリンゲノミッ クス)	活性獲得を司る分子機構 伊藤 (大橋) 恭子, 三枝毬亜, 福田裕穂 (東京大学大学院理	総合討論		

F会場	G 会場	H 会場	J 会場	K会場	時間
形態・構造/ 細胞骨格・運動 <sup>座長:</sup> 奥田 一雄 河野 重行 藤田 知道 小田 祥久	成長生理/生殖 座長:佐野 俊夫 岩元 明敏 風間 裕介	シンポジウム C4光合成研究の新展開	代謝・物質生産・メタボ ローム・バイオエネルギー 座長: 墨谷 暢子 三角 修己 鈴木 英治	シンポジウム 植物スフィンゴ脂質 研究の新展開 〜代謝経路と生体膜 マイクロドメイン〜	
1aF09 シロイヌナズナ葉肉細胞 の核は弱光定位運動を 示す 小畑響子 <sup>1</sup> , 田中怜 <sup>1</sup> , <u>高木慎</u> 査 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 大阪大学・理・生物科学) <sup>2</sup> 大阪大学・院理・生物科学)	1aG09 雌蕊も雄蕊もないヒロハ ノマンテマの無性花変異 体に黒穂菌を感染させる と起きる変化 川元寛章 <sup>1</sup> 、石井公太郎 <sup>2</sup> 、風間 裕介 <sup>2</sup> 、阿部知子 <sup>2</sup> 、河野五行 <sup>2</sup> (「東京大・院・新領域・先端 生命。 <sup>2</sup> 理研・生物照射)	11:45-12:10 1aSH06 C4モデル植物 Setaria viridisの研究ツールの整 備 <u>榊原均</u> , 木羽隆敏(理化学研究所 環境資源科学研究セン ター 生産機能研究グループ)	1aJ09 シアノバクテリア Synechocystis sp. PCC6803 におけるスイッ チング系による cyAbrB2 転写因子の発現制御 佐藤雄介, 齋藤裕次郎, 日原 由香子 <sup>1,2</sup> (「埼玉大院・理 エ、 <sup>2</sup> JST さきがけ)		11:45
1aF10 二次細胞壁のパターン構築を制御する新規微小管 付随タンパク質の同定 杉山友希!,福田裕穂!,小田祥 久 <sup>23</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・院理・生物科学, <sup>2</sup> 国立遺伝研・新分野, <sup>3</sup> JST・さきがけ)	1aG-AL1 <u>若手奨励賞</u> 座長:東山哲也 シロイヌナズナを用いた 花粉管ガイダンスの分子 機構の解明 武内秀憲 <sup>1</sup> (「名大・院・理, <sup>2</sup> JST・ERATO東山ライブホロ ニクスプロジェクト)		1aJ10 <i>Anabaena</i> sp. PCC 7120 におけるホスホケトラー ゼの同定 <u>森山崇<sup>1,2</sup></u> , 佐藤直樹 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東京 大・院・総合文化, <sup>2</sup> JST・ CREST)	11:55-12:20 1aSK06 スフィンゴ脂質が形成する細胞膜マイクロドメインはイネ免疫機構を制御する 長野稔', 石川寿樹', 藤原正幸', 深尾陽一朗', 河野洋治', 川合真紀², 島本功'(「奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科, 2埼玉大学大学院理工学研究科)	12:00
		12:10-12:20 総合討論 榊原均(理化学研究所 環境 資源科学研究センター 生産 機能研究グループ)	1aJ11 オキナワモズク由来有用 成分の生合成遺伝子の探 索 外山桂 <sup>1</sup> , 中橋和也 <sup>1</sup> , 須藤裕 介 <sup>2</sup> , 松尾和彦 <sup>2</sup> , 久城哲夫 <sup>1</sup> (「明治大・院・農学, <sup>2</sup> 沖縄県 水産海洋技術センター)	12:20-12:30 総合討論	12:15
					12:30

時間	A会場	B会場	C 会場	D会場	E会場
	シンポジウム Responses of the photosynthetic systems to spatiotemporal variations in light environments: scaling and eco-devo approaches	分類・系統・進化 <sup>座長:瀬戸口 浩彰</sup> 倉田 薫子 牧 雅之	発生・生長・形態形成 座長: 阿部 光知 堀口 吾朗 打田 直行 近藤 侑貴	シンポジウム The cutting edge of photoresponse mechanisms: photoreceptor and signaling mechanism	生体膜/環境応答 座長:岩崎 郁子 飯田 秀利 湯淺 高志 鈴木 健策
14:30	14:30-14:50  1pSA01 The leaf photosynthetic system: its heterogeneous nature Ichiro Terashima (Biol., Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo)  14:50-15:10  1pSA02 Effects of fluctuating light	1pB-AL1 [若手奨励賞] 座長:遊川知久 従属栄養植物が宿主や送 粉者、種子散布者と織り 成す多様な相互作用 末次健司(京大・院・人環)	1pC01 ゼニゴケの接合子における MpLFYの機能解析 丹羽優喜 <sup>1</sup> 、酒井友希 <sup>1</sup> 、肥後 あすか <sup>1</sup> 、遠藤求 <sup>1</sup> 、山口礼子 <sup>1</sup> 、 石崎公庸 <sup>2</sup> 、大和勝幸 <sup>3</sup> 、西浜 竜一 <sup>1</sup> 、河内孝之 <sup>1</sup> 、荒木崇 <sup>1</sup> (「京都大・院・生命、 <sup>2</sup> 神戸大・院・理、 <sup>3</sup> 近畿大・生物理工)	14:30-14:35 Introduction  14:35-15:00 1pSD01 Plant UVB-environmental sensing; UVB-induction and -response of CPD photolyase Nan Li, Sayaka Takahashi, Mika	1pE01 シロイヌナズナにおける ホスファチジン酸ホスホ ヒドロラーゼ過剰発現体 における窒素欠乏耐性機 構の解析 吉竹悠宇志!, 佐藤諒一!, 村川 雅人!, 円由香², 駿河航!, 中村 友輝³, 下嶋美恵², 太田啓之².4.5 (「東京工業大学大学院 生命 理工学研究科 生体システム 専攻, ²東京工業大学 バイオ
14:45	on regulation of the photosynthetic electron transport system  Masaru Kono, Ko Noguchi, Ichiro Terashima (Plant Ecology, Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo)		1pC02 花成ホルモン「フロリゲン」の制御における新奇 花成制御因子FEの役割 <u>進田未央</u> ,米田好文,阿部光 知(東京大学大学院理学系研 完科生物科学専攻遺伝学研究 室)	Teranishi, <u>Jun Hidema</u> (Graduate School of Life Sciences, Tohoku University)	研究基盤総合支援センター、 <sup>3</sup> 台湾アカデミアシニカ植物 及微生物学研究所、「JST・ CREST、「東京工業大学 ELSI)  1pE02 シロイヌナズナの成長に 伴うCa <sup>2+</sup> 透過性機械受容 チャネル候補遺伝子 MCA1と MCA2の時空間 的発現変化 <a href="mailto:self-black">金田美樹</a> , 森研堂、中野正貴、岩元明敏、飯田秀利(東京学芸大・教育・生命科学)
15:00		1pB-AL2   若手奨励賞   座長: 関本弘之   雌雄二極化のモデル系統 群・群体性ボルボックス   目緑藻における性決定遺伝子領域の比較ゲノム学的研究   浜地貴志(ドナルド・ダンフォース植物科学センター)	1pC03 シロイヌナズナ心皮にお ける後生的融合過程の解析 が 辻野理恵子,市川ひとみ,岩 野恵,高山誠司,相田光宏(奈 良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科)	15:00-15:25  1pSD02  Negative feedback regulation of cryptochrome signaling Yoshito Oka (Fujian Agriculture and Forestry University)	1pE03 過酸化水素輸送性アクア ポリンの同定と機能/発 現解析 且原真木¹. 篠野静香¹. 堀江智 明², Jiye Rhee³. 柴坂三根夫¹ ( <sup>1</sup> 岡山大学資源植物科学研究 所、 <sup>2</sup> 信州大学繊維学部応用生 物科学系、 <sup>3</sup> Faculty of Sciences, University of South Bohemia in Ceske Budejovice, Czech Republic)
15:15	15:10-15:30  1pSA03 Regulation of CO <sub>2</sub> assimilation under a fluctuating light environment  Wataru Yamori (Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University)		1pC04 19Sプロテアソームサブ ユニットRPT5の根端成 長における機能解析 坂本卓也、松永幸大(東京理 科大学理工学部松永研究室)		1pE04 イネ細胞膜型アクアポリンOsPIPの細胞内輸送 土岐みさ、高橋永暉、松本直、 岩崎郁子 (秋田県立大・生物 資源・応用生物)

F会場	G会場	H 会場	J 会場	K会場	時間
代謝・物質生産・メタボ ローム・バイオエネル ギー / 細胞内小器官 <sup>座長:</sup> 岩井 雅子 佐藤 典裕 井元 祐太 松永 幸大	生殖 座長:森 稔幸 上田 健治 植田 美那子 土金 勇樹	シンポジウム 生理活性物質の輸送制御 を介した植物の生理	シンポジウム バイオリソースとゲノム 情報から考える藻類研究 の未来形	シンポジウム 細胞の機能を 3Dイメージングで観る	
	1pG01 雌性配偶体のライブイ メージングと構成細胞の 機能獲得における細胞間 相互作用の解析 <u>須崎大地</u> <sup>1</sup> 、武内秀憲 <sup>1,3</sup> 、筒井 大貴 <sup>1</sup> 、東山哲也 <sup>1,2,3</sup> (「名大・院・ 理、「JST・ERATO、「 <sup>3</sup> 名大・ WPI・ITISM)	14:30-14:35 はじめに 瀬尾光範 (理研・CSRS) 14:35-15:00 1pSH01 アブシジン酸の組織間輸 送とトランスポーターの 解析 黒森崇、杉本絵理子、篠崎一雄(理研・CSRS)	14:30-14:40 はじめに	14:30-14:40 はじめに <u>鮫島正純</u> (認定NPO法人綜 合画像研究支援)	14:30
1pF02 藻類におけるリン欠乏応 答性プロモーターを用い た脂質蓄積強化 岩井雅子 <sup>1-2</sup> 、下嶋美恵 <sup>1</sup> 、太田 啓之 <sup>1,2,3</sup> (「東京工業大学、バイ オ研究基盤支援総合セン ター、 <sup>2</sup> CREST、JST、 <sup>3</sup> 東京工業 大学、地球生命研究所)	目指した新たな研究展開 森 <u>森</u> 幸 <sup>1</sup> , 井川智子 <sup>2</sup> , 野崎久 義 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・理・生物科		14:40-14:55 1pSJ01 藻類リソース整備の現状 と課題 河地正伸(国立環境研究所)	14:40-15:10 1pSK01 藻類バイオと電顕3D 太田修平 <sup>1,2</sup> , 河野重行 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・院・新領域, <sup>2</sup> JST-CREST)	14:45
1pF03 藻類におけるリン脂質合 成系の研究 佐藤直樹 <sup>1-2</sup> 、毛利奈津美 <sup>1-2</sup> 、森 山崇 <sup>1-2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・院・総合文 化、 <sup>2</sup> JST, CREST)		15:00-15:25  1pSH02 サイトカイニンの器官間輸送メカニズムとその生理的役割 本羽隆敏¹, Donghwi Ko², Joohyun Kang², Jiyoung Park², 小嶋美紀子¹, 大薄麻未¹, Jihye Do⁴, Kyung Yun Kim², Mi Kwon⁴, Anne Endler³, Won Young Song², Enrico Martinoia³, Youngsook Lee², 榊原均¹			15:00
1pF04 紅藻 Cyanidioscyzon merolae の脂質代謝に関 する研究 毛利奈津美 <sup>1-2</sup> 、森山崇 <sup>1-2</sup> 、関根 康介 <sup>1-2</sup> 、佐藤直樹 <sup>1-2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・ 院・総合文化、 <sup>2</sup> JST、CREST)	1pG04 イネ受精卵における核合 一の動態と受精誘導性遺 伝子の発現 大西由之佐,安彦真文,岡本 龍史(首都大・院・理工)	(「理化学研究所 環境資源科学研究センター, <sup>2</sup> POSTECH, <sup>3</sup> University of Zurich, <sup>4</sup> Korea University)		察宮崎直幸,村田和義(生理学	15:15

時間	A会場	B会場	C 会場	D会場	E会場
	シンポジウム	分類・系統・進化	発生・生長・形態形成	シンポジウム	生体膜/環境応答
	Responses of the photosynthetic systems to spatio-temporal variations in light environments: scaling and eco-devo approaches	座長:瀬戸口 浩彰 倉田 薫子 牧 雅之	座長:阿部 光知 堀口 吾朗 打田 直行 近藤 侑貴	The cutting edge of photoresponse mechanisms: photoreceptor and signaling mechanism	座長: 岩崎 郁子 飯田 秀利 湯淺 高志 鈴木 健策
15:30	15:30-15:50  1pSA04 Photosynthetic response and leaf carbon gain under dynamic light "sunfleck" in natural habitat  Hajime Tomimatsu, Yanghong Tan (Center for Environmental Biology and Ecosystem Studies, National Institute for Environmental Studies)	1pB05 隔離分布種モクレイシ (ニシキギ科) における 分子系統地理 山田孝幸 <sup>1</sup> , 國府方吾郎 <sup>2</sup> , 牧雅 之 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 科博・分子生物多様 性, <sup>2</sup> 科博・植物, <sup>3</sup> 東北大・植 物園)	1pC05 リボソームタンパク質 RPL4の質と量が葉の背 腹性に及ぼす効果の解析 増田英典 <sup>1</sup> 、塚合裕一 <sup>2</sup> 、堀口吾 朗 <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> 立教大・理・生命理, <sup>2</sup> 東 大・院・理, <sup>3</sup> 立教大・生命理 学センター)	15:25-15:50  1pSD03  Transduction mechanism of blue-light signal in phototropin  Koji Okajima (Graduate School of Science, Osaka Prefecture University)	1pE05 植物細胞リン酸輸送機構 とその進化について 藤原ひとみ <sup>1</sup> 、大西美輪 <sup>1</sup> 、坂山 英俊 <sup>1</sup> 、石崎公庸 <sup>1</sup> 、豊香浩一 <sup>1</sup> 、 関本弘之 <sup>2</sup> 、西山智明 <sup>3</sup> 、七條千 津子 <sup>1</sup> 、小菅桂子 <sup>1</sup> 、深城英弘 <sup>1</sup> 、 三村徹郎 <sup>1</sup> (「神戸大・院・理・ 生物、 <sup>2</sup> 日本女子大・院・理・ 物生、 <sup>3</sup> 金沢大・学際科学実験 センター)
15:45	15:50-16:00 Break	1pB06 Oxalis属Acetosellae節3 種2変種の分類学的研究 若井美里, 倉田薫子(横浜国立大学大学院教育学研究科)	1pC06 リボソームタンパク質変 異体で過剰発現する SZK1の解析 井上幹人 <sup>1</sup> ,中田未友記 <sup>2</sup> ,塚谷裕一 <sup>3</sup> ,堀口吾朗 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 立教大・理・生命、 <sup>2</sup> 生命理学センター、 <sup>3</sup> 東大・院・理)	15:50-16:15  1pSD04 Phosphoproteomics as a tool to unravel plant signal transduction pathways Hirofumi Nakagami (Plant Proteomics Research Unit, RIKEN CSRS)	1pE06 オオシャジクモにおける 圧受容機構 新 <u>免輝男<sup>1</sup></u> , 緒方惟昭 <sup>2</sup> , 柳原延章 <sup>2</sup> (「兵庫県立大学大学院生 命理学研究科、 <sup>2</sup> 産業医科大学 医学部薬理)
16:00	16:00-16:25	休憩	休憩		休憩
16:15	1pSA05 Nitrogen distribution within a leaf canopy revisited <u>Kouki Hikosaka</u> <sup>1,2</sup> (¹Gra. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., ²CREST, JST)	1pB07 Two Novel Dinoflagellates from the Seabed off Mageshima Island, Kagoshima Pref., Subtropical Japan Sohail Keegan Pinto¹, Norico Yamada¹, Ayumi Tanaka², Ryuta Terada², Takeo Horiguchi⁴ (¹Grad. Sch. Sci., Hokkaido Univ, ²Inst. Low Temp., Hokkaido U., ³Fac. Fish., Kagoshima Univ., ⁴Fac. Sci., Hokkaido Univ.)	epidermal cell types is severely restrained by excess pyrophosphate <u>Shizuka Gunji</u> <sup>1</sup> , Hirokazu Tsukaya <sup>2</sup> , Ali Ferjani <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Depart. Biol., Tokyo Gakugei Univ.,	16:15-16:30 Break	1pE07 サツマイモ塊根の低温ストレス傷害に関与する低 温誘導性遺伝子 松田理登 <sup>1</sup> , 盛夏希 <sup>1</sup> , 今村鮎 美 <sup>1</sup> , 坂本貴良 <sup>1</sup> , 田代佑治 <sup>1</sup> , 山中佳樹 <sup>1</sup> , 松尾光弘 <sup>1</sup> , 西立 野興文 <sup>2</sup> , <u>湯淺高志<sup>1</sup></u> ( <sup>1</sup> 宮崎大・農・植物生産, <sup>2</sup> JA宮崎・経済 連)
16:30	16:25-16:50  1pSA06  Spatial and temporal scaling of forest canopy photosynthesis by ecophysiological remote sensing  Hibiki Noda <sup>1</sup> , Hiroyuki Muraoka <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Center for Global Environmental Research, NIES Environmental Studies (NIES), <sup>2</sup> River basin research center, Gifu Univ,)	1pB08 比較トランスクリプトームからみる寄生植物の収 斂進化 <u>市橋泰範</u> <sup>1</sup> 、吉田聡子 <sup>1</sup> 、Neelima Sinha <sup>2</sup> ・白須賢 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> (独) 理化学研究所 環境資源科学研究センター、 <sup>2</sup> University of California, Davis)	ナルの解析 <u>江崎和音</u> <sup>1</sup> , 別役重之 <sup>1,2</sup> , 亀井	16:30-16:55  1pSD05  Regulation mechanism of CHUP1 signaling complex for chloroplast photorelocation movement  Sam-Geun Kong (F. Sci., Kyushu Univ.)	1pE08 レンギョウ枝髄の氷核活性物質の単離同定 石川雅也 <sup>1</sup> 、村川裕基 <sup>1,4</sup> 、朽津和幸 <sup>4</sup> 、灘浩樹 <sup>2</sup> 、越後拓也 <sup>3</sup> (「生物研・植物機能、 <sup>2</sup> 産総研・環境管理、 <sup>3</sup> 滋賀大・教育、「東京理科大)

F会場	G会場	H 会場	J 会場	K会場	時間
代謝・物質生産・メタボ ローム・バイオエネル ギー/細胞内小器官 座長: 岩井 雅子 佐藤 典裕 井元 祐太 松永 幸大	生殖 座長:森 稔幸 上田 健治 植田 美那子 土金 勇樹	シンポジウム 生理活性物質の輸送制御 を介した植物の生理	シンポジウム バイオリソースとゲノム 情報から考える藻類研究 の未来形	シンポジウム 細胞の機能を 3Dイメージングで観る	
1pF05 緑藻において蓄積誘導される中性脂質の解析 平 <u>井一帆</u> , 林泰平!, 長谷川柚 里, 佐藤淳史!, 都筑幹夫 <sup>12</sup> , 佐藤典裕 <sup>12</sup> (「東京薬大・生命 科学, <sup>2</sup> JST, CREST)	1pG05 2光子顕微鏡を用いた花 粉管ガイダンスの in vivo ライブイメージング 水多陽子 <sup>1,2</sup> 、栗原大輔 <sup>1,2</sup> 、東山 哲也 <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> 名大・院・理, <sup>2</sup> JST, ERATO, <sup>3</sup> WPI-ITIbM)	15:25-15:50 1pSH03 ジャスモン酸/ジベレリン情報伝達における多機 能性トランスポーター GTR1/NPF2.10の役割 斉藤洸¹, 関本(佐々木) 結子², 及川貴也³, 浜本晋⁴, 石丸泰 寛³, 佐藤(金森)美有¹, 増田真二²⁵, 神谷勇治⁶, 瀬尾光範⁶, 魚住信之⁴, 上田実³, 太田啓	15:35-16:00 1pSJ04 シアノバクテリア研究の 未来 <u>宮下英明</u> (京都大・院・地球 環境)		15:30
1pF06 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803株における脂肪酸耐性株の構築 小島幸治 <sup>1,4</sup> 、松本宇生 <sup>1,4</sup> 、氣多 澄江 <sup>1,4</sup> 、高谷信之 <sup>2,4</sup> 、上坂一 馬 <sup>2,4</sup> 、池田和貴 <sup>3,4</sup> 、小俣達男 <sup>2,4</sup> 、 愛知真木子 <sup>1,4</sup> ( <sup>1</sup> 中部大・応用 生物、 <sup>2</sup> 名大・院・生命農学、 <sup>3</sup> 理研・IMS、 <sup>4</sup> JST-CREST)	<b>産物解析</b> 責山注昭 <sup>1,2</sup> , 齋藤星耕 <sup>1</sup> , 新里 尚也 <sup>1</sup> , 黒岩常祥 <sup>3,4</sup> , 中村宗一 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 琉球大·熱生研, <sup>2</sup> 琉球大·理・	之 <sup>25</sup> (¹東工大院・生命理工,         ²東工大・ELSI, ³東北大院・理,         ⁴東北大院・工, ⁵東工大・バイオセンター, <sup>6</sup> 理研・CSRS)         15:50-16:00         休憩		15:40-16:10 1pSK03 植物細胞壁高分解糸状菌 の生存戦略 小笠原渉(長岡技術科学大学)	15:45
休憩	休憩	16:00-16:25	16:00-16:25		16:00
(¹立教大·理, ²JST·CREST,	1pG07 ゼニゴケの栄養繁殖器官 で発現するR2R3型MYB 遺伝子の単離と機能解析 塚本成幸 <sup>1</sup> , 菅谷友美 <sup>2</sup> , 大和勝幸 <sup>3</sup> , 山口勝司 <sup>4</sup> , 重信秀治 <sup>4</sup> , 西 浜竜一 <sup>5</sup> , 七條千津子 <sup>1</sup> , 久保浩 義 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>5</sup> , 深城英弘 <sup>1</sup> , 三 村徹郎 <sup>1</sup> , 石崎公庸 <sup>1</sup> (「神戸大・院・理、「信州大・院・理工学系、 <sup>3</sup> 近畿大・生物理工、"基生研、「京大・院・生命科学)	1pSH04 受容体センサーを用いた 植物ホルモン輸送体の同定 選尾光範(理研・CSRS)	1pSJ05 藻類メタボロミクス: 植物との違い <u>有田正規<sup>12</sup>、</u> 津川裕司 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国 立遺伝学研究所、 <sup>2</sup> 理研 CSRS)	16:10-16:40 1pSK04 X線マイクロCTを用いた植物の根および種子の3D イメージング <u>唐原一郎</u> ', 山内大輔 <sup>2</sup> , 峰雪芳宣 <sup>2</sup> (「富山大・院・理工、 <sup>2</sup> 兵県大・院・生命理学)	16:15
1pF08 藻類におけるバイオエネ ルギー生産に関わる機能 を向上させる培地の探索 <u>黒岩晴子</u> <sup>1,2</sup> 、大沼みお <sup>1,2</sup> 、三角 修己 <sup>2,3</sup> 、井元祐太 <sup>4</sup> 、黒岩常祥 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 立教大・理, <sup>2</sup> JST・CREST, <sup>3</sup> 山口大・理, <sup>4</sup> 九大・院・理)	極性とパターン形成の制 御機構	16:25-16:50 1pSH05 パラコート耐性研究から 見出された植物ポリアミントランスポーター 藤田美紀、篠崎一雄(理研・CSRS)	16:25-16:50 1pSJ06 代謝系解析に基づくラン 藻・微細藻からのバイオ 燃料生産への挑戦 連沼誠久(神戸大学自然科 学系先端融合研究環)		16:30

時間	A会場	B会場	C 会場	D会場	E会場
	シンポジウム	分類・系統・進化	発生・生長・形態形成	シンポジウム	生体膜/環境応答
	Responses of the photosynthetic systems to spatiotemporal variations in light environments: scaling and eco-devo approaches	<sub>座長</sub> :瀬戸口 浩彰 倉田 薫子 牧 雅之	座長:阿部 光知 堀口 吾朗 打田 直行 近藤 侑貴	The cutting edge of photoresponse mechanisms: photoreceptor and signaling mechanism	座長:岩崎 郁子 飯田 秀利 湯淺 高志 鈴木 健策
16:45	16:50-17:25  1pSA07  Leaf-age dependent changes in within-canopy variation in leaf functional traits: a meta-analysis Ülo Niinemets (Estonian University of Life Sciences)	1pB09 ラン科シュンラン属の生活形・栄養摂取様式の進化-12: 生活史ステージによる菌根菌シフトの種間比較水下見彦 <sup>1</sup> , 辻田有紀 <sup>2</sup> , 遊川知人 <sup>1</sup> (「国立科学博物館筑波実験植物園、 <sup>2</sup> 佐賀大学農学部応用生物科学科)	1pC09 葉の厚さを制御する遺伝 子の網羅的探索 星 <u>野里奈</u> <sup>1</sup> 、成田典之 <sup>2</sup> 、塚谷裕 一 <sup>1</sup> (「東京大学大学院 理学系 研究科 生物科学専攻 発生進 化研究室、 <sup>2</sup> 総合研究大学院大 学 基礎生物学研究所)		1pE09 シロイヌナズナ種子において、高温はPIL5タンパク質の蓄積誘導を介して、 光発芽を抑制する 渡邊飛島',藤茂雄 <sup>1,4</sup> , Lim Soohwan <sup>2</sup> , Park Jeongmoo <sup>2</sup> , 山口信次郎 <sup>3</sup> , 南原英司 <sup>4</sup> , 神谷勇治 <sup>5</sup> , Choi Giltsu <sup>2</sup> , 川上直人 <sup>1</sup> (「明大・農、 <sup>2</sup> KAIST、 <sup>3</sup> 東北大院・生命科学、 <sup>4</sup> トロント大・細胞システム生物学、 <sup>5</sup> 理研・環境資源科学研究センター)
17:00		1pB10 ラン科シュンラン属の生活形・栄養摂取様式の進化-13:独立栄養植物と菌従属栄養植物の雑種の世界初開花 <u>さ田有紀'</u> ,三吉一光',堤千絵 <sup>3</sup> ,遊川知久 <sup>3</sup> ('佐賀大・農, <sup>2</sup> 千葉大・院・園芸, <sup>3</sup> 国立科博植物園)	1pC10 ERECTA ファミリー受容体とペプチドリガンドによるオーキシン応答パターンの制御 <u>為重才覚</u> <sup>1</sup> , 岡本智史 <sup>2</sup> , Jin Suk Lee <sup>3</sup> , 相田光宏 <sup>2</sup> , 田坂昌生 <sup>2</sup> , Keiko Torii <sup>1,3,4</sup> , 打田直行 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名大・ITbM, <sup>2</sup> NAIST, <sup>3</sup> Univ. Washington, <sup>4</sup> HHMI)	16:55-17:20  1pSD06 Blue light signaling for stomatal opening  Atsushi Takemiya (F. Sci., Kyushu Univ.)	1pE10 シソ科植物の高温適応性 とアスコルビン酸酸化率 との関係 <u>礒田真奈帆</u> , 森茉理絵, 佐野 俊夫 (法政大・院・生命機能)
17:15			1pC11 シロイヌナズナ篩部要素 分化誘導法の確立 近藤侑貴、齊藤知恵子、福田 裕穂(東大・院・理)	17:20-17:45  1pSD07 Light-dependent regulation of gene expression by phytochrome  Tomonao Matsushita <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Kyushu Univ., <sup>2</sup> JST PRESTO)	1pE11 プラスチド局在性 cemA2 プロトン放出機能と役割 田中康史, 貝塚亮, 石間森人, 太河浩(弘前大・農学生命科学)
17:30	17:25-18:00  1pSA08 3D modelling of leaf, plant and canopy photosynthesis in a heterogeneous light environment  Jochem Evers (Wageningen University and Research Centre)	エンドウの耐塩性低下に 関する比較研究 <u>大槻達郎<sup>1</sup></u> , 森泉 <sup>2</sup> , 且原真木 <sup>2</sup> ,	1pC12 BES1による維管束幹細 胞の発生運命制御機構の 解析 齊藤真人, 近藤侑貴, 福田裕 穂(東京大学大学院理学系研 究科生物科学専攻生体制御研 究室)		1pE12 沈水植物オオカナダモ (Egeria densa) のセシウム吸収一野外調査とセシウムの個体内分布のイメージング一原田英美子 <sup>1</sup> 、木幡光 <sup>1</sup> 、浅山拓馬 <sup>1</sup> 、永川栄泰 <sup>2</sup> 、櫻井昇 <sup>2</sup> 、保倉明子 <sup>3</sup> 、寺田靖子 <sup>4</sup> 、長谷川博 <sup>1</sup> (「滋賀県大・環境科学、 <sup>2</sup> 都産技研、 <sup>3</sup> 東京電大・工、 <sup>4</sup> JASRI/SPring-8)
17:45		1pB13 国内ミヤコグサの開花期 多様性への、開花関連遺 伝子E1、FTの発現解析 によるアプローチ 若林智美 <sup>1</sup> 、山篠貴史 <sup>2</sup> 、川口正 代司 <sup>3</sup> 、瀬戸口浩彰 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大 学大学院人間・環境学研究 科、 <sup>2</sup> 名古屋大学大学院生命農 学研究科、 <sup>3</sup> 基礎生物学研究所 共生システム研究部門)	1pC13 木部分化誘導系における 前形成層細胞確立過程の 解析 山 <u>崎杏子</u> . 近藤侑貴, 福田裕 穂(東大・院・理)	17:45-18:00 General discussion	1pE13 イネ幼苗の低気温障害と 硝酸蓄積:地温順化との 関係 鈴木健策(東北農業研究セン ター)

F会場	G会場	H会場	J 会場	K会場	時間
代謝・物質生産・メタボ ローム・バイオエネル ギー/細胞内小器官 座長:岩井 雅子 佐藤 典裕 井元 祐太 松永 幸大	生殖 <sup>座長:</sup> 森 稔幸 上田 健治 植田 美那子 土金 勇樹	シンポジウム 生理活性物質の輸送制御 を介した植物の生理	シンポジウム バイオリソースとゲノム 情報から考える藻類研究 の未来形	シンポジウム 細胞の機能を 3Dイメージングで観る	
1pF09 バイオ燃料産生における オルガネラの役割 <u>黒岩常祥<sup>1-2</sup></u> 、大沼みお <sup>1-2</sup> 、三角 修己 <sup>3</sup> 、井元祐太 <sup>4</sup> 、黒岩晴子 <sup>1-2</sup> ( <sup>1</sup> 立教大・理、 <sup>2</sup> JST・CREST、 <sup>3</sup> 山口大・理、 <sup>4</sup> 九大・理)	1pG09 海生種子植物アマモの種 子で発現する遺伝子の解析 <u>鈴木康太</u> , 土橋昇平, 板東由 希子, 塩田肇(横浜市大・院・ 生命ナノシステム)	16:50-17:15 1pSH06 精製再構成手法によるストレス耐性物質トランスポーターの探索 宮地孝明(岡山大学自然生命科学研究支援センターゲノム・ブロテオーム解析部門)	16:50-17:15 1pSJ07 藻類バイオ: 微細藻類の 先端育種とその可能性に ついて <u>河野重行<sup>1,2</sup></u> ( <sup>1</sup> 東京大・院・新領域・先端生命, <sup>2</sup> JST・ CREST)	16:40-17:10 1pSK05 植物細胞分裂のダイナミ クスを2光子顕微鏡を用 いて立体的に観察する 村田隆 <sup>12</sup> (「基生研・生物進 化、 <sup>2</sup> 絵研大・生命科学・基礎 生物)	16:45
1pF10 ポストゲノミクスを基盤 としたペルオキシソーム 分裂装置の構造と機能解析 <u>井元祐太'1²</u> , 黒岩晴子 <sup>2,3</sup> , 大沼 みお <sup>2,3</sup> , 藤木幸夫 <sup>1</sup> , 黒岩常祥 <sup>2,3</sup> ( <sup>1</sup> 九大・院・理, <sup>2</sup> 立教大・理, <sup>3</sup> JST・CREST)	1pG10 Arabidopsis florigen FT binds to diurnally oscillating phospholipids that accelerate flowering 中村友輝 <sup>1,2,3,4</sup> , Fernando Andrés <sup>2</sup> , 金原和江 <sup>1</sup> , 劉昱志 <sup>1</sup> , Peter Dörmann <sup>3</sup> , George Coupland <sup>2</sup> (「台湾アカデミア シニカ植物及微生物学研究 所, <sup>2</sup> Max-Planck-Institute for Plant Breeding Research, <sup>3</sup> Institute of Molecular Physiology and Biotechnology of Plants, University of Bonn, <sup>4</sup> 科学技術 振興機構・さきがけ)				17:00
1pF11 原始紅藻シゾンのオーロ ラキナーゼによるミトコ ンドリア分裂制御機構の 解析 松永朋子', 加藤翔一', 坂本 卓也', 井元祐太', 大沼みお', 野村有子', 中神弘史', 黒岩 晴子', 河野重行', 黒岩常祥', 松永幸大'('東理大・理工・ 応用生物科学, '立教大・理。 *東京大・新領域・先端生命 科学, '理研 CSRS)	1pG11 ヒメミカヅキモの性フェロモンと結合するファシクリンIタンパク質の機能解析 市原健介', 滝口若菜², 原真由美², 土金勇樹², 阿部淳², 関本弘之² (¹東大・院・新領域, ²日本女子大・理)	17:15-17:30 終わりに <u>黒森崇</u> (理研・CSRS)	17:15-17:25 総合討論	17:10-17:30 総合討論	17:15
1pF12 植物特異的核タンパク質 CRWNによる核構造制御 機構の解析 坂本勇貴', 杉山智哉', 高木慎 吾 <sup>2</sup> , 松永幸大'('東理大・院・理工, <sup>2</sup> 大阪大・院・理)	CpMinus1の機能解析         小宮あゆみ¹, 阿部淳², 川井絢				17:30
1pF13 シロイヌナズナ染色体配 置と動態のイメージング およびシミュレーション 解析 平川健 <sup>1</sup> , 安藤格士 <sup>2</sup> , 杉田有 治 <sup>2</sup> , 松永幸大 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東理大・院・ 理工・応用生物科学, <sup>2</sup> 理研 QBiC)	おけるホモタリズムの 進化 土金勇樹', 西山智明 <sup>2</sup> , 関本弘 之'('日本女子大・理, <sup>2</sup> 金沢大・				17:45

時間	A会場	B会場	C 会場	D会場	E会場
	シンポジウム 発生ロジックをもたらす シグナル分子群	分類・系統・進化/ 光合成 <sup>座長:</sup> 木下 晃彦 梶田 忠 黒田 洋詩 日原 由香子	発生・生長・形態形成 座長: 西村 泰介 小島 晶子 木村 成介 佐藤 康	シンポジウム 植物バイオマスの理解と 活用による二酸化炭素の 資源化を目指して	環境応答 <sup>座長:遠藤</sup> 求 西浜 竜一 桧垣 匠 祢宜 淳太郎
9:00	9:00-9:05 はじめに 塚谷裕一(東京大学・院・理) 9:05-9:35 2aSA01 受容体発現ライブラリー を応用したペプチドシグナルRGFの受容体の同定 篠原秀文、松林嘉克(名古屋 大・院・生命理学)	2aB01 Introduced plant species in Robinson Crusoe Archipelago, Chile Patricio López-Sepúlveda¹, Josef Greimler², Daniel Crawford³, Patricio Peñailillo⁴, Marcelo Baeza¹, Eduardo Ruiz¹, Luis Letelier⁵, Patricio Novoa⁶, Gatica Alejandro⁻, Tod Stuessys⁰ (¹Universidad de Concepción, ²University of Vienna, ³University of Kansas, ⁴Universidad de Talca, ⁵Universidad Nacional Autónoma de México, ⁶Jardín Botánico de Viña del Mar, ⁻Universidad de La Serena, ³The Ohio State University)	2aC01 PINタンパク質の細胞内 局在を制御するPID- MAB4複合体の解析 古谷将彦、田坂昌生(奈良先 端科学技術大学院大学バイ オサイエンス研究科)	9:00-9:05 はじめに 関原明 <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> 理研・CSRS, <sup>2</sup> JST・CREST, <sup>3</sup> Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ.) 9:05-9:30 2aSD01 イネ野生種を用いた遺伝 学的研究 <u>芦苅基行<sup>1,2</sup>(「名古屋大学・生物機能開発利用研究セン</u> ター, <sup>2</sup> JST・CREST)	2aE01 シアノバクテリア Synechocystis sp. PCC6803の SitB2, SitC2 は様々な環境ストレス耐性に関与する 田原寛子¹, 松橋歩¹, 内山純爾², 小川覚³, 松本幸次⁴, 太 田尚孝¹² (¹東理大・理, ²東理大・総研・RNA, ³三重大・ 医, ⁴埼玉大院・理工・生命科学)
9:15		2aB02 周北極-高山植物エゾツガ ザクラ Phyllodoce caerulea の系統地理 池田啓 <sup>1</sup> 、阪口翔太 <sup>2</sup> 、Valentin Yakubov <sup>3</sup> 、Vyacheslav Barkalov <sup>3</sup> 、 瀬戸口浩彰 <sup>4</sup> (「岡山大・植物 研、 <sup>2</sup> 東京大・院・総合文化、 <sup>3</sup> ロシア科学アカデミー、 <sup>4</sup> 京 都大・院・人環)	程に異常を示す新規エピ 変異体の探索 西村泰介 <sup>1,2</sup> , 山本章子 <sup>2</sup> , 武田		2aE02 海洋性珪藻 Phaeodacty- lum tricomutum における PtSLC4-4 の機能解析 岩山和史, 中島健介, 松田祐介(関学大・院・理工)
9:30	9:35-10:05 2aSA02 ステロール生合成進化が もたらした多細胞植物ボ ディプラン成立 太田大策, 中本雅俊 (大阪府 立大学大学院生命環境科学研 究科)	2aB03 Phylogeography of wild radish ( <i>Raphanus sativus</i> L.) based on cpDNA variation and SSR analyses 韓慶香, 瀬戸口浩彰(京大·院· 人環)	2aC03 シロイヌナズナの根端分 裂組織における選択的ス プライシングアイソホー ムと lincRNAの発現解析 山田昌史', Song Li <sup>1</sup> , Uwe Uhler <sup>2</sup> , Philip Benfey <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Dept. Biol. Duke Univ., <sup>2</sup> Dept. Biol. Humboldt Univ. Berlin)	9:30-9:55 2aSD02 澱粉構造制御による新規 需要米の創出 藤田直子(秋田県大・生資)	2aE03 海洋系珪藻 RubisCO 活性 化酵素 -2つの CbbX 石田沙有里¹, 千代亜希¹, 長里 千香子², 菊谷早絵², 松田祐 介¹ (¹関学大・院・理工, ²北大・ 北方セ)
9:45		2aB04 カンアオイ属の分子系統: 亜属間の系統関係と Sect. Heterotropaの地理 構造 <u>高橋大樹</u> <sup>1</sup> 、瀬戸口浩彰 <sup>2</sup> (「京 大・総人、 <sup>2</sup> 京大・人環)	2aC04 シロイヌナズナの葉の軸 形成におけるETTIN制御 ネットワークの解明 中川彩美 <sup>1</sup> 、高橋広夫 <sup>2</sup> 、伊藤卓 馬 <sup>1</sup> 、小島晶子 <sup>1</sup> 、町田泰則 <sup>3</sup> 、町 田千代子 <sup>1</sup> (「中部大・応用生 物、 <sup>2</sup> 千葉大・院・園芸、 <sup>3</sup> 名大・院・理)		2aE04 基部陸上植物ゼニゴケにおける GI-FKF 複合体を介した光周性生長相制御機構 <u>久保田茜</u> <sup>1</sup> 、喜多祥吾 <sup>1</sup> 、永山啓太郎 <sup>1</sup> 、山岡尚平 <sup>1</sup> 、西浜竜一 <sup>1</sup> 、石崎公庸 <sup>2</sup> 、河内孝之 <sup>1</sup> (「京都大・院・生命、 <sup>2</sup> 神戸大・院・理)

F会場	G 会場	H会場	J 会場	K会場	時間
細胞内小器官 座長:倉田 哲也 豊岡 公徳 森安 裕二	遺伝子発現制御・情報伝達 <sup>座長:</sup> 菊池 彰 丹羽 康夫 小西 美稲子	シンポジウム 細胞遺伝学の伝統と 新たなる地平	植物微生物相互作用 座長:椎名 隆 別役 重之 吉田 聡子	シンポジウム 細胞・組織における 凹凸が生まれる機構と その意義	
2aF01 シロイヌナズナ根端組織 におけるERボディ様構 造体の超微形態解析 橋本恵 <sup>1</sup> 、成川苗子 <sup>1</sup> 、佐藤繭 子 <sup>1</sup> 、若崎眞由美 <sup>1</sup> 、個本龍史 <sup>2</sup> 、 豊岡公徳 <sup>1</sup> (「理研 CSRS、 <sup>2</sup> 首 都大・理工)	2aG01 ゼニゴケの形態形成に おけるmicroRNAの機能 解析 <u>都筑正行'</u> ,藤本剛史',西浜竜 一², 石崎公庸',河内孝之',濱 田隆宏',渡邊雄一郎'('東京 大学大学院総合文化研究科広 域科学専攻, <sup>2</sup> 京都大学大学院 生命科学研究科統合生命科学 専攻, <sup>3</sup> 神戸大学大学院理学研 究科生物学専攻)	9:00-9:20 2aSH01 日本メンデル協会の歴史 長田敏行 (法政大・生命・応 用植物)	2aJ01 感染シグナル誘導性ROS 生成を制御する化合物の 探索と作用機構の解析 助川夏雄!、北畑信隆!、吉川岳 史!、木村貴史!、八木智華子!、 来須孝光 <sup>1,2</sup> 、浅見忠男³、朽津 和幸!(「東京理科大学・理工・ 応用生物科学、 <sup>2</sup> 東京工科大・ 応用生物、 <sup>3</sup> 東京大・院・農学 生命科学)	9:00-9:05 はじめに <u>賃重才覚</u> (名古屋大学 WPI-ITIM) 9:05-9:30 2aSK01 花粉管伸長における形状 の動的解析を実現するマイクロ流路内ライブイメージング 新田英之(JST/名古屋大学)	9:00
ス耐性機構の解析 杉山智之 <sup>1</sup> , 山本雅也 <sup>2</sup> , 遠藤斗	域科学専攻 渡邊雄一郎研究	9:20-9:50 2aSH02 タバコ培養細胞BY-2の細胞学: 細胞の増殖・分化 と死 酒井敦(奈良女子大・理・生物)	2aJ02 変異型 cryptogein を用いたタバコ培養細胞 BY-2の 感染防御応答誘導機構の解析 竹内希枝¹, 花俣繁¹², 大島知樹¹, 河村康希¹, 齊藤克典¹, 来 須孝光¹³⁴, 北畑信隆¹, 朽津和幸⁴⁴(¹東京理科大院・理工・応用生物科学, ²東京大院・新領域・先端生命, ³東京工科大・応用生物, 4東京理科大・総合研究機構)		9:15
<b>果</b> <u>鹿山友里紗¹</u> , 浅見智理², 金子 康子³, 井上悠子¹, 森安裕二¹	るニンジン <i>LEC1</i> 遺伝子 の発現と DNA メチル化の 変化		原均4, 朽津和幸1(1東京理科士, 院, 理工, 広田生物科学	9:30-9:55 2aSK02 自由生活型アメーバの単離細胞膜が示す Rolling構造と細胞膜3次元曲率に関する研究 西上幸範¹, 谷口篤史², 野中茂紀², 園部誠司³, 市川正敏¹(守京本), 守大学院理学研究科, ²基礎生物学研究所, ³兵庫県立大学大学院生命理学研究科)	9:30
曉詩 <sup>1</sup> , 坂本智昭 <sup>2</sup> , 倉田哲也 <sup>2</sup> , 中野明彦 <sup>1,4</sup> , 福田裕穂 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東 京大学大学院 理学系研究科 生物科学専攻 生体制御研究	2aG04 ブラシノステロイドシグナル伝達で働く BES1/ BZR1転写因子のホモログ遺伝子・BEH4の発現及び機能解析 徳重謙也,朝長勇介,大谷結,福島若奈,Booneak Yowwapa³,重田友明²,中村考志⁴,松尾友明²,岡本繁久¹(『鹿児島大学・農・生物至源,²、『King Mongkut's University of Technology Thonburi, <sup>4</sup> 京都府立大学・生命環境・食保健)	9:50-10:20 2aSH03 放射線と染色体異常 数藤由美子(放医研・緊急被ばく)	2aJ04 細胞内膜交通系を介したシロイヌナズナの感染防御応答の制御機構の解析 大滝壁',河村康希',北畑信隆',来須孝光',海老根一生³,上田貴志³,朽津和幸¹, (1東京理科大院・理工・応用生物科学,²東京工科大・応用生物科学,²東京工科大・応用生物科学,4東京理科大・総合研究機構)		9:45

多様な佐渡島のミウ群落における集 野杯 - 型・崎尾均・阿部晴 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	生にのいてAS1・AS2は サイトカイニン合成を制 御する	D会場 シンポジウム 植物パイオマスの理解と 活用による二酸化炭素の 資源化を目指して  9:55-10:20 2aSD03 ラン藻の転写と代謝を理解して物質生産に役立てる 小山内崇(理研・CSRS)	E会場 環境応答 座長: 遠藤 求 西浜 竜一 桧垣 匠 祢宜 淳太郎 2aE05 苔類ゼニゴケにおいて CYCLING DOF FACTOR は光周性成長相転換を抑 制する 永山啓太郎', 久保田茜', 喜多 祥吾', 山岡尚平', 西浜竜一', 石崎公庸 <sup>2</sup> , 河内孝之', (「京都
光合成	座長: 西村 泰介     小島 晶子     木村 成介     佐藤 康  2aC05 シロイヌナズナの葉の発 生において AS1・AS2は サイトカイニン合成を制 御する     小島晶子¹, 石橋奈々子², 小嶋美紀子³, 高橋広夫⁴, 香田 佳那¹, 榊原均³, 町田条則², 町田千代子¹ (¹中部大・応用 生物, ²名大・院・生命, ³理研・	植物バイオマスの理解と 活用による二酸化炭素の 資源化を目指して 9:55-10:20 2aSD03 ラン藻の転写と代謝を理 解して物質生産に役立て る	座長: 遠藤 求 西浜 竜一 桧垣 匠 祢宜 淳太郎  2aE05 苔類ゼニゴケにおいて CYCLING DOF FACTOR は光周性成長相転換を抑制する 永山啓太郎', 久保田茜', 喜多 祥吾', 山岡尚平', 西浜竜一',
多様な佐渡島のミウ群落における集 野杯 - 型・崎尾均・阿部晴 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	シロイヌナズナの葉の発生においてAS1・AS2はサイトカイニン合成を制御する 小島晶子 <sup>1</sup> , 石橋奈々子 <sup>2</sup> , 小嶋美紀子 <sup>3</sup> , 高橋広夫 <sup>4</sup> , 香田佳那 <sup>1</sup> , 榊原均 <sup>3</sup> , 町田泰則 <sup>2</sup> , 町田千代子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 中部大・応用生物, <sup>2</sup> 名大・院・生命, <sup>3</sup> 理研・	2aSD03 ラン藻の転写と代謝を理 解して物質生産に役立て る	苔類ゼニゴケにおいて CYCLING DOF FACTOR は光周性成長相転換を抑 制する 永山啓太郎 <sup>1</sup> , 久保田茜 <sup>1</sup> , 喜多 祥吾 <sup>1</sup> , 山岡尚平 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>1</sup> ,
			大·院·生命, <sup>2</sup> 神戸大·院·理)
展田忠 昆虫のDNA多型情 用した照葉樹林の 理学的研究 企(京都大・院・人環)	AST-ASZが関わる桌の軸 形成におけるDNAポリメ ラーゼαの役割の解明	10:20-10:45 2aSD04 RNA ウイルスベクターを 利用した植物の機能解析 と機能改変 吉川信幸(岩手大学農学部)	2aE06 シロイヌナズナの維管束 における概日時計の機能 解析 <u>藍藤求¹</u> ,清水華子¹, Steve A. Kay²,荒木崇¹(¹京都大学 大 学院生命科学研究科 分子代 謝制御学,²University of South California)
<b>美 4 3 7</b> 数 型 资 作 趋 力	代子 <sup>3</sup> , 鈴木崇紀 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 名大·院· 生命, <sup>2</sup> 弘大·農·生物, <sup>3</sup> 中部 大·応用生物, <sup>4</sup> 石原産業(株)·		2aE07 組織特異的に概日時計機 能を阻害した系統における表現型解析 清水華子, 片山可奈, 古藤知子, 荒木崇, 遠藤求 (京都大学生命科学研究科 分子代謝 制御学)
f	休憩	10:45-11:10	休憩
芯中心D1タンパク xin298のアミノ酸	X線マイクロCTを使った シロイヌナズナ乾燥種子 の幼根一胚軸を構成する 皮層の3D細胞幾何解析 福田安希', 栗林剛正', 唐原一郎', 山内大輔', 玉置大介', 上 杉健太朗 <sup>3</sup> , 竹内晃久 <sup>3</sup> , 鈴木芳 生 <sup>3</sup> , 峰雪芳宣 <sup>1</sup> (「兵庫県大・院・ 生命理学, <sup>2</sup> 富山大・院・理工, <sup>3</sup> 高輝度光科学研究センター)	東南アジア諸国との連携 によるキャッサババイオ マスの量的・質的向上を 目指して <u>内海好規</u> <sup>1</sup> 、標井哲也 <sup>1</sup> 、内海稚 佳子 <sup>1,2</sup> 、武井良郎 <sup>1,3</sup> 、石谷学 <sup>4</sup> 、 Ham Huy Le <sup>5</sup> 、Dong Van Nguyen <sup>5</sup> 、Jarunya Narangajavana <sup>6</sup> 、Kanokporn Triwitayakorn <sup>6</sup> 、関原明 <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> RIKEN CSRS, <sup>2</sup> JST・ CREST, <sup>3</sup> Kihara Inst. Biol. Res.,	2aE08 気孔複合体における膜交 通制御因子PATROL1の 動態解析 桧垣匠 <sup>1</sup> , 橋本(杉本)美海 <sup>2</sup> , 秋田佳恵 <sup>1</sup> , 射場厚 <sup>2</sup> , 馳澤盛一郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大・院・新領域, <sup>2</sup> 九州大・院・理)
	は 本中心 D1タンパク sn298のアミノ酸 よる酸素発生活性 響 を <sup>12</sup> , 孫小羽 <sup>12</sup> , 兒玉な 小澤真一郎 <sup>12</sup> , 高橋裕 岡山大・院・自然科学, SST)	奈々子 <sup>1</sup> 、笹部美知子 <sup>2</sup> 、町田千代子 <sup>3</sup> 、鈴木崇紀 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 名大・院・生命、 <sup>2</sup> 弘大・農・生物、 <sup>3</sup> 中部大・応用生物、 <sup>4</sup> 石原産業(株)・中央研)  休憩  2aC08  本中心D1タンパク か1298のアミノ酸 よる酸素発生活性 響 と <sup>2</sup> 、孫小羽 <sup>12</sup> 、兒玉なめ水澤真一郎 <sup>12</sup> 、高橋裕 は <sup>2</sup> 、孫小羽 <sup>12</sup> 、鳥橋裕 は1岡山大・院・自然科学、 だいます。 10円大・村・玉置大介、上 大き 10円大・院・自然科学、 にいます。 10円大・院・理工、 10円	奈々子 <sup>1</sup> 、 ( * 部美知子 <sup>2</sup> 、 町田千代子 <sup>3</sup> 、 鈴木崇紀 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 名大・院・生命、 <sup>2</sup> 弘大・農・生物、 <sup>3</sup> 中部大・応用生物、 <sup>4</sup> 石原産業(株)・中央研)  休憩  10:45-11:10  2aC08  次中心 D1タンパク か1298のアミノ酸 よる酸素発生活性 響 よる酸素発生活性 響 と <sup>2</sup> 、 孫小羽 <sup>1,2</sup> 、 見玉な小澤真一郎 <sup>1,2</sup> 、 高橋裕 <sup>1</sup> 間山大・院・自然科学、 2面田安金 <sup>1</sup> 、 栗林剛正 <sup>2</sup> 、 唐原一郎 <sup>2</sup> 、 山内大輔 <sup>1</sup> 、 玉置大介 <sup>1</sup> 、 土 杉健太朗 <sup>3</sup> 、 竹内晃久 <sup>3</sup> 、 鈴木芳生 <sup>3</sup> 、 峰雪芳宣 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 兵庫県大・院・全命理学、 <sup>2</sup> 富山大・院・理工、 <sup>3</sup> 高輝度光科学研究センター)  10:45-11:10  2aSD05 東南アジア諸国との連携によるキャッサババイオマスの量的・質的向上を目指して 内海好規 <sup>1</sup> 、 櫻井哲也 <sup>1</sup> 、 内海稚佳子 <sup>1,2</sup> 、 武井良郎 <sup>1,3</sup> 、 石谷学 <sup>4</sup> 、 Ham Huy Le <sup>5</sup> 、 Dong Van Nguyen <sup>5</sup> 、 Jarunya Nguyen <sup>5</sup> 、 Jarunya Narangajavana <sup>6</sup> 、 Kanokporn Tiriwitayakorn <sup>6</sup> 、 関原明 <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> RIKEN CSRS, <sup>2</sup> JST・CREST, <sup>3</sup> Kihara Inst. Biol. Res., Yokohama City Univ., <sup>4</sup> CIAT, <sup>5</sup> Institute of Agri. Genet.,

F会場	G会場	H 会場	J 会場	K会場	時間
細胞内小器官 座長:倉田 哲也 豊岡 公徳 森安 裕二	遺伝子発現制御・情報伝達 <sup>座長:</sup> 菊池 彰 丹羽 康夫 小西 美稲子	シンポジウム 細胞遺伝学の伝統と 新たなる地平	植物微生物相互作用 <sup>座長:</sup> 椎名 隆 別役 重之 吉田 聡子	シンポジウム 細胞・組織における 凹凸が生まれる機構と その意義	
2aF05 Insights into the localization and function of GNOM ARF-GEF at the Golgi apparatus in arabidopsis <u>楢本悟史</u> ¹, Marisa Otegut², Riet Rycke³, 台信友子¹, 福田裕穂¹, 中野明彦¹⁴, Jiri Friml³⁵ (¹東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻生体制御研究室、²Department of Botany and Genetics, University of Wisconsin, ³Department of Plant Systems Biology, VIB Department of Plant Biotechnology and Genetics, Ghent University, ⁴理研ライブセル分子イメージングチーム、⁵Institute of Science and Technology (IST), Austria)	明¹(¹理研·CSRS,²北大·院·		2aJ05 葉緑体の光合成電子伝達 による防御遺伝子発現の 光依存的活性化 佐野智,青山真夕,下谷紘司, 中井香奈,山崎加奈子,佐藤 雅彦,椎名隆(京都府大・院・ 生命環境科学)	9:55-10:20  2aSK03  Motion of patterns on a curved surface  爱伸一郎(Dept. Math.  Hokkaido Univ.)	10:00
2aF-AL1 [奨 励 賞] 座長:中野明彦 植物におけるポストゴル ジオルガネラの動態と生 理機能の研究 植村知博(東京大学大学院理 学系研究科生物科学専攻)	2aG06 道管細胞分化におけるタンパク質S-ニトロシル化 修飾の役割の解明 川邊陽文 <sup>1</sup> 、大谷美沙都 <sup>1</sup> 、山口 雅利 <sup>3</sup> 、久保稔 <sup>1</sup> 、倉田哲也 <sup>1</sup> 、坂 本智昭 <sup>1</sup> 、米田新 <sup>1</sup> 、加藤晃 <sup>1</sup> 、出 村拓 <sup>12</sup> (「奈良先端大・バイオ、 <sup>2</sup> 理研・環境資源、 <sup>3</sup> 埼玉大・環 境科学)	10:20-10:40 2aSH04 クロマチン・イメージング による細胞遺伝学の新展 開 松永幸大, 平川健, 坂本卓也 (東京理科大学理工学部応用 生物科学科)	2aJ06 シロイヌナズナ過敏感反応に関わるサリチル酸生 合成経路の時空間的解析 別役重之 <sup>1,2</sup> , 加藤新平 <sup>3</sup> , 福田 裕穂 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> JST さきがけ, <sup>2</sup> 東大・院・理, <sup>3</sup> 信州大・農)	10:20-10:45 2aSK04 イネの発生における凹凸 形成の生物学的意義 伊藤純一(東京大学大学院農 学生命科学 育種学研究室)	10:15
	2aG07 硝酸シグナル応答を制御 する NIN/NLP ファミリー タンパク質の転写促進活 性と進化的考察 小西美稲子, 鈴木渉, 柳澤修 一(東京大・生セ)		2aJ07 芸類ゼニゴケを用いた MAMP応答機構の解明 四井いずみ <sup>1</sup> 、松井英譲 <sup>1</sup> 、野村 有子 <sup>1</sup> 、西浜竜一 <sup>2</sup> 、河内孝之 <sup>2</sup> 、 中神弘史 <sup>1</sup> (「理化学研究所環 境資源科学研究センター 植 物プロテオミクス研究ユニット、「京都大学大学院生命科 学研究科)		10:30
休憩	休憩	10:40-11:10	休憩	10:45-11:10	10:45
2aF-AL2 [奨 励 賞] 座長:太田啓之 シロイヌナズナを用いた 葉緑体発達制御機構の解 明 小林康一 (東大・院・総合文 化)	2aG08 オルガネラRNA 編集にお けるDYW ドメインの役割 <u>一瀬瑞穂</u> , 杉田護(名大・遺 伝子)	2aSH05 DNA メチル化とトランス ポゾン動態 <u>角谷徹仁</u> (国立遺伝学研究所)	2aJ08 菌寄生性菌根共生システムの解明を目指したラン科植物シランのトランスクリプトーム解析 長田翔太郎 <sup>1</sup> 、大和政秀 <sup>2</sup> 、山口勝司 <sup>3</sup> 、浅尾久代 <sup>3</sup> 、松本美 <sup>2</sup> 、和子 <sup>3</sup> 、各亀高広 <sup>4</sup> 、重信秀治 <sup>3</sup> 、上中弘典 <sup>1</sup> (「鳥取大・農、 <sup>2</sup> 千葉大・教育、 <sup>3</sup> 基生研、 <sup>4</sup> 北大・総合博物館)	2aSK05 葉の成長過程における 凹凸の形成とその制御 小山知嗣(公益財団法人サントリー生命科学財団・生物有 機科学研究所)	11:00

時間	A会場	B会場	<b>C</b> 会場	D会場	E会場
	シンポジウム	分類・系統・進化/	発生・生長・形態形成	シンポジウム	環境応答
	発生ロジックをもたらす シグナル分子群	光合成 <sup>座長:</sup> 木下 晃彦 梶田 忠 黒田 洋詩 日原 由 <del>香</del> 子	座長:西村泰介 小島 晶子 木村 成介 佐藤 康	植物バイオマスの理解と 活用による二酸化炭素の 資源化を目指して	<sup>座長:</sup> 遠藤 求 西浜 竜一 桧垣 匠 祢宜 淳太郎
11:15		2aB09 Mn クラスターとルーメンをつなぐ水素結合ネットワークに関与するアミノ酸の置換 <u>孫小羽</u> <sup>1,2</sup> , 黒田洋詩 <sup>1,2</sup> , 兒玉なっ美 <sup>1,2</sup> , 高橋裕一郎 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 岡山大・院・自然科学, <sup>2</sup> JST-CREST)	2aC09 種子の糊粉層形成に異常 を持つシロイヌナズナの 突然変異体 trg2の解析 赤堀一貴, 吉野幸則, 五味渕 苑子, 杉山礼央, 鴨志田葵, 川 上直人(明大・農)	11:10-11:35 2aSD06 農業生産におけるアミノ 酸発酵副生液の利用 三輪哲也(味の素株式会社イノベーション研究所)	2aE09 気孔開度を調節する葉肉 アポプラストシグナルの 分子サイズの推定 <u>藤田貴志<sup>1</sup></u> , 木下後則 <sup>2,3</sup> , 野口 航 <sup>1</sup> , 寺島一郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・ 理, <sup>2</sup> 名大・院・理, <sup>3</sup> 名大・ WPI-ITIbM)
11:30	11:35-12:05  2aSA06 ERECTA 受容体ファミリーがコーディネートする発生・成長シグナリング 木村友香 <sup>1</sup> 、爲重才覚 <sup>1</sup> 、池松朱夏 <sup>1</sup> 、松原健太 <sup>1</sup> 、平川有字樹 <sup>1</sup> 、田坂昌生 <sup>2</sup> 、鳥居啓子 <sup>1,3,4</sup> 、打田直行 <sup>1</sup> (「名古屋大・WPI-ITbM、 <sup>2</sup> NAIST・バイオ、 <sup>3</sup> Univ. Washington, <sup>4</sup> HHMI)		2aC10 UDP-GIcNAc 再生に関わるシロイヌナズナ N-アセチルグルコサミンキナーゼの特性および機能解析村重紘志 <sup>1</sup> 、風呂圭祐 <sup>1</sup> 、野崎守 <sup>2</sup> 、佐藤康 <sup>3</sup> (「愛媛大学・理・生物、「愛媛大学・プロテオサイエンスセンター、「『愛媛大学・院・理工学)	11:35-11:40 総合討論 <u>芦苅基行<sup>1,2</sup></u> (「名古屋大学・生 物機能開発利用研究セン ター, <sup>2</sup> JST・CREST)	2aE10 シロイヌナズナの気孔開 度変異体 scs2、scs3の表 現型解析 菊地淳子、井上晋一郎、曽田 翠、髙橋宏二、木下俊則(名大・ 院理・生命理学)
11:45		で細胞内に蓄積された遊	理論的なアプローチ <u>中益朗子</u> <sup>1,2,4</sup> , 末松信彦 <sup>3,4</sup> , 木 村成介 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都産業大学 総合 生命科学部 生命資源環境科 学科, <sup>2</sup> JSPS, <sup>3</sup> 明治大学 先端数		2aE11 新規CO <sub>2</sub> 非感受性変異体 cdi4 の解析 圖部誠 <sup>1</sup> , 称宜淳太郎 <sup>1</sup> , 中野利 彬 <sup>1</sup> , 田畑完 <sup>2</sup> , 山口勝司 <sup>3</sup> , 重信 秀治 <sup>3</sup> , 山田昌史 <sup>4</sup> , 長谷部光 泰 <sup>3.5</sup> , 澤進一郎 <sup>2</sup> , 射場厚 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 九州大院・理, <sup>2</sup> 熊本大院・ 自然科学, <sup>3</sup> 基生研, <sup>4</sup> Duke大, <sup>5</sup> 総研大・生命科学)
12:00		の光合成活性と生産量の 促進 Yin Wang <sup>1-2</sup> , 野口航 <sup>2</sup> , 小野奈津 子 <sup>4</sup> , 井上晋一郎 <sup>4</sup> , 寺島一郎 <sup>3</sup> , 木下俊則 <sup>2-4</sup> (「名古屋大学高等	嵐香理 <sup>2</sup> ,中山北斗 <sup>1,3</sup> ,久保中央 <sup>4</sup> ,矢野健太郎 <sup>2</sup> ,木村成介 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都産業大学総合生命, <sup>2</sup> 明 治大学農学部生命科学科, <sup>3</sup> 日本学術振興会, <sup>4</sup> 京都府立 大学生命環境学部農学生命		2aE12 気孔閉鎖を司る陰イオン チャネル SLAC1の CO <sub>2</sub> シ グナル受容部位は ABA シ グナル受容部位とは異な る 山本禎子 <sup>1</sup> 、
12:15		2aB13 シアノバクテリア Synechocystis sp. PCC 6803における転写因子 SII1961とチオレドキシン との相互作用解析 <u>鯨井純一</u> <sup>1</sup> , 門脇太朗 <sup>1</sup> , 久堀 徹 <sup>2</sup> , 日原由香子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉大・院・ 理工, <sup>2</sup> 東工大・資源研)	の解明 <u>中山北斗</u> <sup>1,2</sup> , 市橋泰範 <sup>3</sup> , 坂本		2aE13 青色光応答性の気孔開口 を欠くシロイヌナズナ変 異体の機能解析 堤俊文 <sup>1</sup> , 武宮淳史 <sup>2</sup> , 島崎研一郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 九州大学・システム生命, <sup>2</sup> 九州大学・理学研究院)

F会場	G 会場	H会場	J 会場	K会場	時間
細胞内小器官 座長:倉田 哲也 豊岡 公徳 森安 裕二	遺伝子発現制御·情報伝達  座長: 菊池 彰  丹羽 康夫  小西 美稲子	シンポジウム 細胞遺伝学の伝統と 新たなる地平	植物微生物相互作用  座長: 椎名 隆  別役 重之  吉田 聡子	シンポジウム 細胞・組織における 凹凸が生まれる機構と その意義	
	2aG09 NGSを利用して得られた チャ葉ESTデータとカス タムアレイによる発現 解析 <u>丹羽康夫</u> <sup>1</sup> , 西村秀希 <sup>2</sup> , 平山隆 志 <sup>2</sup> , 長崎英樹 <sup>3</sup> , 中村保一 <sup>3</sup> , 康 美帝 <sup>1</sup> , 渡辺祥子 <sup>1</sup> , 小川剛史 <sup>1</sup> , 小林栄人 <sup>4</sup> , 中村順行 <sup>1</sup> , 小林裕 和 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 静岡県大・薬食生命科 学, <sup>2</sup> 岡山大・資源生物科学研, <sup>3</sup> 遺伝研・生命科学, <sup>4</sup> 静岡農技 研・茶研センター)	11:10-11:30 2aSH06 国際細胞学雑誌キトロギアの歴史 <u>河野重行<sup>1,2</sup></u> ( <sup>1</sup> 東京大・院・新領域・先端生命、 <sup>2</sup> キトロギア編集長)	2aJ09 イネOsCERK1は防御応 答と共生応答を制御する 中川知己 <sup>1</sup> , 宮田佳奈 <sup>1</sup> , 香西雄 介 <sup>2</sup> , 古崎俊紀 <sup>3</sup> , 石井和夫 <sup>3</sup> , 小八重善弘 <sup>4</sup> , 秋山康紀 <sup>5</sup> , 賀来華 江 <sup>1</sup> , 西澤洋子 <sup>2</sup> , 渋谷直人 <sup>1</sup> (「明治大・農, <sup>2</sup> 生物研, <sup>3</sup> 農工 大, <sup>4</sup> 東大・院農, <sup>5</sup> 大阪府大・ 院生命)	11:10-11:35 2aSK06 脊椎動物四肢発生過程に おける組織変形動態の解析 森下喜弘(理化学研究所発生・再生科学総合研究セン ター)	11:15
は緑化初期の細胞内小 官分化に広く影響する 藤 <u>井祥</u> <sup>1</sup> , 小林康一 <sup>1</sup> , 中村方	ケに探る		2aJ10 CERK1と相互作用する E3ユビキチンリガーゼの 機能解析 出崎能丈、十文字純一, 竹田 潤, 鈴木丸陽, 中島正登, 高橋 昌平, 須藤健吉, 八嶋航平, 賀 来華江, 澁谷直人 (明治大・ 農・生命科学)	11:35-11:45 総合討論	11:30
わる脂質代謝酵素の解析 <u>占山健太</u> <sup>1,2,3</sup> , 出村政彬 <sup>1</sup> , 岡 洋三 <sup>5</sup> , 藤岡-川本真理 <sup>3,4</sup> , 神 雅子 <sup>1</sup> , 山下寛子 <sup>1</sup> , 斉藤和季 和田元 <sup>2,3</sup> , 有村慎一 <sup>1</sup> , 堤伸岩	出 <u>船木洋一¹</u> , 橋本研志¹, 飯塚文子¹, 木村幸恵¹³, 賀屋秀隆¹², 北畑信隆¹, 朽津和幸¹ (¹東京理科大・院・理工・応用生物科学,²農業生物資源研,		2aJ11 イネ受容体型キナーゼ OsCERK1による共生応 答と防御応答の選択 宮田佳奈 <sup>1</sup> 、香西雄介 <sup>2</sup> 、小澤憲 二郎 <sup>2</sup> 、小八重善裕 <sup>3</sup> 、賀来華 江 <sup>1</sup> 、西澤洋子 <sup>2</sup> 、渋谷直人 <sup>1</sup> 、中 川知己 <sup>1</sup> (「明治大学・農、 <sup>2</sup> 生 物研、 <sup>3</sup> 東大・院農)		11:45
2aF12 アミロプラスト分化に関した転写調節メカニズの解析 恩田和幸, 江波和彦, 華岡光正(千葉大院・園芸)	۷		2aJ12 寄生植物ストライガの全 ゲノム解読 吉田聡子 <sup>1</sup> , Thomas Spallek <sup>1</sup> , Songkui Cui <sup>1</sup> , 市橋泰範 <sup>1</sup> , Seungill Kim <sup>2</sup> , Yong Min Kim <sup>2</sup> , 真鍋理一郎 <sup>3</sup> , Michael Timko <sup>4</sup> , Doil Choi <sup>2</sup> , 白須賢 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 理研・ CSRS, <sup>2</sup> Seoul National Univ., <sup>3</sup> 理 研・CLST, <sup>4</sup> Univ. Virginia)		12:00
					12:15

時間	A会場	B会場	C 会場	D会場
	代謝・物質生産・メタボローム・ バイオエネルギー <sup>座長 :</sup> 岩科 司 宮城 敦子	光合成 <sup>座長:</sup> 吉田 啓亮 松田 祐介	発生・生長・形態形成 <sup>座長:</sup> 小藤 累美子 石川 直子	細胞増殖・細胞分化 <sup>座長:</sup> 横山 隆亮 池内 桃子
9:00	3aA01 非光合成型色素体を持つ貝類寄生虫 Perkinsus marinus はアブシジン酸生合成経路を喪失している 坂本寛和¹, 鈴木重雄¹, 永宗喜三郎², 北潔¹, 松崎素道¹ (¹東京大・院医・生物医化学, ²国立感染研・寄生動物)		3aC01 ヒメツリガネゴケの葉の並層分 裂はLAS、SCR、SHR遺伝子ネットワークにより制御されている 小藤累美子!,市川千紘!,枡田優里!,城座佳希²,壁谷幸子³,村田隆³,西山智明⁴,長谷部光泰³('金沢大・理工・自然システム, '金沢大・院・自然科学, '基生研・生物進化, '金沢大・学際)	
9:15	3aA02 VND7機能誘導システム導入タ バコBY-2細胞を用いた道管要素 分化過程のメタボローム解析 <u>森崎敬子</u> <sup>1</sup> , 中野仁美 <sup>1</sup> , 澤田有司 <sup>2</sup> , 平 井優美 <sup>2</sup> , 米田新 <sup>1</sup> , 久保稔 <sup>1</sup> , 加藤晃 <sup>1</sup> , 大谷美沙都 <sup>1,2</sup> , 出村拓 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 奈良先端 大・院・バイオ, <sup>2</sup> 理研 CSRS)	3aB02 CAM植物に特徴的な夜間の高い 非光化学消光 森谷瑞季 <sup>1</sup> , 安藤友樹 <sup>1</sup> , <u>是枝晋<sup>2</sup></u> ( <sup>1</sup> 埼玉 大・理・分子生物, <sup>2</sup> 埼玉大・分析セン ター)	ける傷害シグナルと光シグナル	3aD02 植物細胞核内における複製起点 の核内配置の解析 横山諒平, 林世莉, 林耕磨, 松永幸大 (東京理科大学大学院 理工学研究科 応用生物科学科専攻 松永研究室)
9:30	3aA03 高CO <sub>2</sub> と光質が結球性レタスの 一次代謝に及ぼす影響 <u>宮城教子</u> <sup>1</sup> , 内宮博文 <sup>2</sup> , 川合真紀 <sup>1,2</sup> (「埼玉大・院・理工、「埼玉大・IEST)	3aB03 海洋性珪藻におけるアクアポリンの探索および機能解析 松井啓見,中島健介,松田祐介(関学大・院・生命科学)		3aD03 AtAUR3によるEB1cの機能制御メカニズムの解明 <u>高木麻衣</u> <sup>1</sup> 、坂本卓也 <sup>1</sup> 、松永朋子 <sup>1</sup> 、橋 本隆 <sup>2</sup> 、松永幸大 <sup>1</sup> (「東理大・院・理工・応用生物科学、 <sup>2</sup> 奈良先端・バイオサイエンス)
9:45	3aA04 日本のリンドウ園芸品種に含まれるポリフェノール類の解析 佐々木伸大 <sup>1</sup> , 山田恵理 <sup>1</sup> , 西崎雄三 <sup>2</sup> , 中塚貴司 <sup>3</sup> , 立澤文見 <sup>4</sup> , 樋口敦美 <sup>1</sup> , 藤田晃平 <sup>1</sup> , 高橋秀行 <sup>1</sup> , 西原昌宏 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 岩手生工研, <sup>2</sup> 農工大・工・生命, <sup>3</sup> 静岡大院・農, <sup>4</sup> 岩手大・農)	3aB04 葉緑体リンゴ酸脱水素酵素のレ ドックス制御のチオレドキシン 特異性: Trx-mより Trx-fが重要 である 吉田啓亮 <sup>1,2</sup> , 原怜 <sup>1</sup> , 久堀徹 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東工大・ 資源研, <sup>2</sup> JST・CREST)	<u>依藤絵里</u> , 塚谷裕一 (東大・院・理)	
10:00		3aB05 パイナップルによるChl aのラ クトン化 <u>反町優太<sup>1</sup></u> , 仲里正孝 <sup>2</sup> , 小林正美 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 筑 波大学・物質工学域, <sup>2</sup> クロロフィル 研究所)	3aC05 一葉植物の形態形成を司る分子 機構 石川直子 <sup>1,3</sup> ,高橋宏和 <sup>2</sup> ,中園幹生 <sup>2</sup> ,塚谷裕一 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・総合文化, <sup>2</sup> 名古屋大・院・農, <sup>3</sup> 東大・院・理)	NACK オーソログの機能解析 西浜竜一, 石田咲子, 河内孝之(京大・

E会場	F会場	G会場	L会場	時間
環境応答 <sup>座長:</sup> 平野 朋子 梅澤 泰史	細胞内小器官 <sup>座長:佐々木 成江</sup> 西村 芳樹	生態・生理生態・種生態・ 群落保全 <sup>座長:</sup> 井藤賀 操 小林 剛	理事会主催シンポジウム 本音で語ろう若手の キャリアパス -研究者貧乏よ・さらば-	
3aE01 FAB1・SNX1エンドソームは、 PIN2の極性輸送を行う。 <u>平野朋子</u> , 佐藤雅彦(京都府立大学 大学院生命環境学研究科)	3aF01 酵母ミトコンドリアDNA断片 の長さによる核様体形態の変化 <u>岡本哲</u> , 井内智美, 宮川勇(山口大・院・理工)	3aG01 標高に沿ったシダ植物の系統構 造と生活史 田中崇行 <sup>1</sup> 、佐藤利幸 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 信大・院・総 合工、 <sup>2</sup> 信大・理)	9:00-9:20 3aSL01 私たちが『知の継承者・創造者』 として活き活きと生きていくには… 風間晴子(女子学院・国際基督教大学)	9:0
3aE02 オートファジー阻害はヒメツリガネゴケ乾燥耐性の能力を向上させる <u>迎恭輔<sup>1,2</sup></u> , 井上悠子 <sup>1</sup> , 森安裕二 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉大学, <sup>2</sup> JSPS DC)	3aF02 酵母ミトコンドリア DNA の分解 と NUC2ヌクレアーゼとの関連 宮川勇 <sup>1</sup> , 出来弘多 <sup>1</sup> , 門脇明香 <sup>2</sup> , 石田 敬大 <sup>2</sup> , 田浦花 <sup>2</sup> , 井内智美 <sup>1</sup> (「山口大・ 院・理工, 「山口大・理・生物)	3aG02 モクレン属の開花生態に関する 新知見 渡邉途子 <sup>1</sup> , 八田洋章 <sup>1,2</sup> (「樹形研究会、 <sup>2</sup> 筑波・科博)	9:20-9:25 3aSL02 アカデミックの研究者、お金の ことを考える。 小山内崇(理研・CSRS)	9:1
3aE03 好酸性緑藻 <i>Chlamydomonas</i> <i>eustigma</i> のゲノム・トランスクリ プトーム解析 <u>廣岡俊亮</u> <sup>1,2</sup> , 広瀬侑 <sup>3</sup> , 兼崎友 <sup>2,4</sup> , 吉川 博文 <sup>2,5</sup> , 宮城島進也 <sup>1,2</sup> (「遺伝研、 <sup>2</sup> JST, CREST, <sup>3</sup> 豊橋技科大・EIIRIS, <sup>4</sup> 東京 農大・ゲノム解析セ、 <sup>5</sup> 東京農大・バイオ)	西村芳樹 <sup>1</sup> , 鹿内利治 <sup>1</sup> , 東江昭夫 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京大・院・理, <sup>2</sup> 千葉大・真菌医学研究センター)		9:25-9:45 3aSL03 私が企業研究を選んだ10の理由 <u>青木里奈</u> ((株)カネカ GP事業開発 部 将来技術グループ)	9:3
	3aF04 緑藻クラミドモナスにおける葉 緑体核様体の構造様式 小林優介', 小田原真樹 <sup>1,2</sup> , 田草川真 理 <sup>1,3</sup> , 原田尚実 <sup>1</sup> , 深尾陽一朗 <sup>4</sup> , 鹿内利 治 <sup>1</sup> , 西村芳樹 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学大学院 理 学研究科 生物科学専攻植物学系 植 物分子遺伝学研究室, <sup>2</sup> 立教大学 理学 部 生命理学科 分子生物学研究室, <sup>3</sup> 山口大学大学院 医学系研究科 細胞 構造学研究室, <sup>4</sup> 奈良先端科学大学院 大学 バイオサイエンス研究科 植物 機能解析学研究室)	生態学的意義の解明 西田圭佑, 半場祐子(京工繊大・院)	9:45-10:05 3aSL04 幼児向け教材編集 科学を知らない子どもと科学する仕事 佐藤桃子 ((株)ベネッセコーポレーション)	9:4
絡制御 北川宗典 <sup>1</sup> , 友井拓実 <sup>2</sup> , 佐藤繭子 <sup>1</sup> , 豊	I.	3aG05 マイクロサテライトマーカーを 用いた絶滅危惧植物チチブイワ ザクラ栽培集団における遺伝的 多様性の評価 山本将也',瀬戸口浩彰',倉田薫子' ('横浜国立大学大学院教育学研究科, '京都大学大学院人間・環境学研究科)	10:05-10:25 3aSL05 アカデミック・リソースを活かして一緒に世界を変える大きな仕事をしませんか? <u>入幸弘</u> ((株)リバネス)	10:6

# 9/14 口頭発表 | Oral

時間	A会場	B会場	C 会場	D会場	
	代謝・物質生産・メタボローム・ バイオエネルギー	光合成 <sub>座長:</sub> 吉田 啓亮	発生・生長・形態形成 <sub>座長:</sub> 小藤 累美子	細胞増殖・細胞分化 <sup>座長:</sup> 横山 隆亮	
	<sub>座長</sub> :岩科 司 宮城 敦子	松田 祐介	石川 直子	池内桃子	
10:15	キタノコギリソウの花と葉に含 まれるフラボノイド 上原歩 <sup>1,2</sup> , 水野貴行 <sup>2,3</sup> , 岩科司 <sup>2</sup> (¹慶應	3aB06 葉の光吸収は直達日射スペクト ルと精密に対応している <u>久米篤</u> <sup>1</sup> , 秋津朋子 <sup>2</sup> , 奈佐原顕郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 九 州大学・北海道演習林、 <sup>2</sup> 筑波大・生命 環境)		3aD06 オオミズゴケの透明細胞分化に 関わる分子メカニズムの解明 <u>寺田志織</u> ¹, Bo Xu¹, 佐野亮輔¹, 坂本智昭¹, 倉田哲也¹, 浦崎直也², 野村俊尚³, 大谷美沙都¹, 米田新¹, 加藤晃¹, 久保稔¹, 出村拓¹³(¹奈良先端大・バイオ, ²沖縄県農業研究センター, ³理研・CSRS)	
10:30	3aA07 日本産ヨモギ属数種の細胞外フラボノイド 岩科司 <sup>1</sup> ,下田和秀 <sup>2</sup> ,上原歩 <sup>3</sup> (「国立 科博・植物、 <sup>2</sup> 茨大・連携院、 <sup>3</sup> 慶應大・ 化学)		3aC07 シダ植物の葉形態異常変異体の 解析 <u>林岳夫</u> , 榊原恵子, 塚谷裕一(東京大 学大学院理学系研究科生物科学専攻)	胞サイズ決定メカニズムの解析 <u>鳴川秀樹</u> <sup>1</sup> ,篠原直貴 <sup>1</sup> ,小牧伸一郎 <sup>2</sup> ,	
10:45	3aA08 日本に分布する高山植物のフェ ノール成分解析 村井良徳, 岩科司(国立科博・植物)				
11:00					

E会場	F会場	<b>G</b> 会場	L会場	時間
環境応答 <sub>座長:</sub> 平野 朋子 梅澤 泰史	細胞内小器官 座長:佐々木 成江 西村 芳樹	生態・生理生態・種生態・ 群落保全 <sup>座長:</sup> 井藤賀 操 小林 剛	理事会主催シンポジウム 本音で語ろう若手の キャリアパス -研究者貧乏よ・さらば-	
3aE06 ヒメツリガネゴケにおける ABA シグナル伝達経路のリン酸化プロテオーム解析 本多度 E <sup>1</sup> 、杉山直幸 <sup>2</sup> 、桑村麻由里 <sup>3</sup> 、寺尾亮佑 <sup>1</sup> 、石塚梢 <sup>1</sup> 、坂田洋一 <sup>3</sup> 、竹澤大輔 <sup>4</sup> 、篠崎一雄 <sup>5</sup> 、梅澤泰史 <sup>1.6</sup> ( <sup>1</sup> 農工大・院・BASE、 <sup>2</sup> 京都大・薬、 <sup>3</sup> 東農大・バイオ、 <sup>4</sup> 埼玉大・院理工、 <sup>5</sup> 理研 CSRS、 <sup>6</sup> JST さきがけ)	3aF06 クラミドモナスの分裂サイクル におけるミトコンドリア核、葉 緑体核のDNAの合成時期 中村宗一 <sup>1</sup> 、大野良和 <sup>1</sup> 、青山洋昭 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 琉球大・理・海自、 <sup>2</sup> 琉球大・熱生研)	3aG06 性表現の異なるユキモチソウの フェノロジーに対する人工被陰 の経年影響 浦川裕香 <sup>1</sup> , 小林剛 <sup>1</sup> , 久保拓弥 <sup>2</sup> , 深井 誠一 <sup>1</sup> (「香川大学農学部, <sup>2</sup> 北海道大 学大学院地球環境科学研究院)		10:15
3aE07 シロイヌナズナにおける染色体 制御因子 Cnd II の新奇機能解析 <u>杉山智哉</u> , 坂本卓也, 松永幸大(東理 大・院・理工・応用生物科学)	3aF07 真正粘菌におけるバクテリア分 裂因子によるミトコンドリアとミトコンドリア核様体の分裂制御 山田佳歩 <sup>1</sup> , 佐々木妙子 <sup>1</sup> , 由比良子 <sup>1</sup> , 森山陽介 <sup>3</sup> , 東山哲也 <sup>1,2,4</sup> , 佐々木成江 <sup>1</sup> (「名大・院・理、 <sup>2</sup> JST・ERATO、 <sup>3</sup> 藤田 保健衛生大・医、 <sup>4</sup> 名大・WPI-ITIBM)	3aG07 藻食の単細胞生物における光合 成酸化ストレスへの対応機構の 解析 全塚明洋 <sup>1,2</sup> , 廣岡俊亮 <sup>2,3</sup> , 兼崎友 <sup>3,4</sup> , 吉 川博文 <sup>3,5</sup> , 藤原崇之 <sup>2</sup> , 宮城島進也 <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> 総研大, <sup>2</sup> 遺伝研・新分野, <sup>3</sup> JST, CREST, <sup>4</sup> 東京農大・生物資源ゲノム 解析センター, <sup>5</sup> 東京農大・応生科・ バイオ)	10:25-10:45 3aSL06 企業研究に活かす弁理士の資格 と知識 <u>嵐田亮</u> (株式会社ユーグレナ)	10:30
3aE08 DNA損傷ストレスにおけるオーキシンの機能解析 長谷川淳子 <sup>1</sup> , 桧垣匠 <sup>2</sup> , 朽名夏麿 <sup>2,3</sup> , 坂本卓也,綿引雅昭 <sup>4</sup> , 馳澤盛一郎 <sup>2</sup> , 松永幸大 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東理大・院・理工・応用生物科学, <sup>2</sup> 東大・院・新領域, <sup>3</sup> LPixel, <sup>4</sup> 北大・院・理学)	3aF08 単細胞藻類の細胞周期進行にお ける葉緑体分裂チェックポイント 墨谷暢子 <sup>1,2</sup> ,藤原崇之 <sup>1</sup> ,恵良厚子 <sup>1,2</sup> , 宮城鳥進也 <sup>1,2,3</sup> (「遺伝研・新分野、 <sup>2</sup> JST、CREST、 <sup>3</sup> 総研大・生命科学・遺 伝学)		10:45-11:05 3aSL07 35歳でアカデミアから企業に移ってみました <u>軸丸裕介(アジレント・テクノロジー</u> 株式会社 ライフサイエンス・化学分析本部)	10:45
			11:05-11:10 3aSL08 これからの私たちの試行錯誤 篠村知子(帝京大学理工学部バイオ サイエンス学科)	11:00

# ●座長表(口頭発表)

開催日	会場	演題番号	分 野	座長氏名
	В	1aB01 ∼ 1aB11	分類・系統・進化	高山 浩司 片山 なつ 石田 健一郎 野崎 久義
	С	1aC01 ∼ 1aC11	発生・生長・形態形成	石田 喬志 栗原 大輔 豊倉 浩一
9月12日	E	1aE01 ∼ 1aE09	細胞壁	<ul><li>米田 新</li><li>中里 朱根</li><li>岩井 宏暁</li></ul>
午前	F	1aF02 ∼ 1aF10	形態・構造/細胞骨格・運動	奥田 一雄 河野 重行 藤田 知道 小田 祥久
	G	1aG01 ∼ 1aG09	成長生理/生殖	佐野 俊夫 岩元 明敏 風間 裕介
	J	1aJ01 ∼ 1aJ11	代謝・物質生産・メタボローム・ バイオエネルギー	墨谷 暢子 三角 修己 鈴木 英治
	В	1pB05 ∼ 1pB13	分類、系統、進化	瀬戸口 浩彰 倉田 薫子 牧 雅之
	С	1pC01 ~ 1pC13	発生・生長・形態形成	阿部 光知 堀口 吾朗 打田 直行 近藤 侑貴
9月12日 午後	E	1pE01 ∼ 1pE13	生体膜/環境応答	岩崎 郁子 飯田 秀利 湯淺 高志 鈴木 健策
	F	1pF02 ∼ 1pF13	代謝・物質生産・メタボローム・ バイオエネルギー/細胞内小器官	岩井 雅子 佐藤 典裕 井元 祐太 松永 幸大
	G	1pG01 ∼ 1pG13	生殖	森 稔幸 上田 健治 植田 美那子 土金 勇樹

開催日	会場	演題番号	分 野	座長氏名
	В	$2aB01 \sim 2aB05$ $2aB08 \sim 2aB13$	分類、系統、進化/光合成	木下 晃彦 梶田 忠 黒田 洋詩 日原 由香子
	С	2aC01 ∼ 2aC13	発生・生長・形態形成	西村 泰介 小島 晶子 木村 成介 佐藤 康
9月13日 午前	E	2aE01 ∼ 2aE13	環境応答	遠藤 求 西浜 竜一 桧垣 匠 袮宜 淳太郎
	F	$2aF01 \sim 2aF05$ $2aF10 \sim 2aF12$	細胞内小器官	倉田 哲也 豊岡 公徳 森安 裕二
	G	2aG01 ∼ 2aG11	遺伝子発現制御・情報伝達	菊池 彰 丹羽 康夫 小西 美稲子
	Ј	2aJ01 ∼ 2aJ12	植物微生物相互作用	椎名 隆         別役 重之         吉田 聡子
	A	3aA01 ∼ 3aA08	代謝・物質生産・メタボローム・ バイオエネルギー	岩科 司 宮城 敦子
	В	3aB02 ∼ 3aB06	光合成	吉田 啓亮 松田 祐介
	С	3aC01 ∼ 3aC07	発生・生長・形態形成	小藤 累美子 石川 直子
9月14日 午前	D	3aD01 ∼ 3aD07	細胞増殖・細胞分化	横山 隆亮 池内 桃子
	Е	3aE01 ∼ 3aE08	環境応答	平野 朋子 梅澤 泰史
	F	3aF01 ∼ 3aF08	細胞内小器官	佐々木 成江 西村 芳樹
	G	3aG01 ∼ 3aG07	生態・生理生態・種生態・群落保全	井藤賀 操

奇数番号:9月13日(土) 13:30~15:00 発表 偶数番号:9月14日(日) 11:30~13:00 発表

# 分類・系統・進化

## P-001

## 渡良瀬遊水地に生育するノダイオウの実体

渡邊幹男<sup>1</sup>, 竹本理紗<sup>1</sup>, 大和田真澄<sup>2</sup>, 芹沢俊介<sup>3</sup> (「愛教大・生物、<sup>2</sup>栃木県植物研究会、<sup>3</sup>愛知みどりの会)

#### P-002

# イチヤクソウ *Pyrola japonica* Klenze ex Alefeld の従属栄養的な進化

直藤光太郎1, 兼子伸吾2, 黒沢高秀2

(¹福島大学 共生システム理工学研究科,²福島大学 共生システム理工学類)

#### P-003

スゲ属ゴウソの分類学的研究 阿蘇に新たなゴウソ現る 安藤夏太郎<sup>1</sup>, 佐藤千芳<sup>2</sup>, 三井裕樹<sup>3</sup>, 宮本太<sup>3</sup> (<sup>1</sup>生物画家, <sup>2</sup>熊本植物研, <sup>3</sup>東農大・農)

#### P-004

# 新規オイル生産藻類 Botryococcus braunii-モドキ(MDK)についての細胞学的な観察

<u>長尾修平</u><sup>1</sup>, 岡添結子<sup>2</sup>, 黒田珠美<sup>1</sup>, 榎本ゆう子<sup>1,3</sup>, 渋市佑馬<sup>1</sup>, 淺野貴志<sup>1</sup>, 川瀬健志<sup>2</sup>, 榎本平<sup>1,2,3</sup> (<sup>1</sup>神戸大・院・人間発達環境, <sup>2</sup>神戸大・発達科学, <sup>3</sup>G&GT社)

## P-005

# 新規オイル生産性藻類 Botryococcus braunii-モドキ(MDK)の 18SrRNA 及び炭素固定酵素 rbcS の遺伝子解析

<u>黒田珠美</u><sup>1</sup>, 榎本ゆう子<sup>1,2</sup>, 渋市祐馬<sup>1</sup>, 浅野貴志<sup>1</sup>, 長尾修平<sup>1</sup>, 川瀬健志<sup>3</sup>, 榎本平<sup>1,2,3</sup>

 $(^{1}$ 神戸大・院・人間発達環境学, $^{2}$ G&GT 社, $^{3}$ 神戸大・発達科学)

# P-006

# 汎熱帯マングローブ植物ミミモチシダ属の系統地理学的 研究

山川傑<sup>1</sup>, 高山浩司<sup>2</sup>, Saleh Nazre<sup>3</sup>, 新村芳美<sup>1</sup>,

Kim Shan Alison Wee<sup>4</sup>,朝川毅守¹,Yllano Orlex Baylen<sup>5</sup>,

Salmo III Severino Garengo<sup>6</sup>, Ardli Erwin Riyanto<sup>7</sup>,

Tung Nguyen Xuan<sup>8</sup>, Malekal Norhaslinda Binti<sup>9</sup>,

Onrizal Onrizal<sup>10</sup>, Meenakshisundaram Sankararamasubramanian Halasya<sup>11</sup>, Sungkaew Sarawood<sup>12</sup>, Adjie Bayu<sup>13</sup>,

Soe Khin Khin<sup>14</sup>,Webb Edward L<sup>4</sup>,馬場繁幸<sup>15</sup>,綿野泰行<sup>1</sup>,梶田忠<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>千葉大学, <sup>2</sup>東京大学, <sup>3</sup>Universiti Putra Malaysia, <sup>4</sup>National University of Singapore, <sup>5</sup>Adventist University of the Philippines, <sup>6</sup>Universiti Malaysia Sabah, <sup>7</sup>Jenderal Soedirman University, <sup>8</sup>Hanoi National University of Education, <sup>9</sup>Ateneo de Manila University, <sup>10</sup>Universitas Sumatera Utara, <sup>11</sup>M.S. Swaminathan Research Foundation, <sup>12</sup>Kasetsart University, <sup>13</sup>Bali Botanic Garden, Indonesia, <sup>14</sup>University of Yangon, <sup>15</sup>琉球大学)

### P-007

# オシロイバナ属オシロイバナ節における花色の進化と送粉 者との関係

<u>新村芳美</u><sup>1</sup>, Jose Said Gutierrez Ortega<sup>1</sup>, Hilda Flores<sup>2</sup>, 梶田忠<sup>1</sup>

(1千葉大学・院・理, 2National Autonomous University of Mexico)

#### P-008

# オトシブミの揺籃形成による葉の内生菌類相の変化

大橋謙太郎1, 横山潤2

(1山形大・院・理工,2山形大・理・生物)

## P-009

ミャンマーに分布する Ficus religiosa と Ficus rumphii(クワ科)の集団間の遺伝的構造

<u>ルンサイ</u>1, 横山潤2

(1山形大学大学院理工学研究科,2山形大学理学部生物学科)

### P-010

# 植物の花や実に棲息する酵母の多様性

<u>久富泰資</u>, 花岡拓哉, 吉川成美, 杉原千紗 (福山大·生命工学)

### P-011

# シャジクモ藻類ヒメミカヅキモにおける陸上植物特異的な 転写因子の探索と発現解析

(1日本女子大・理, 2東大院・新領域, 3遺伝研, 4金沢大・学際)

## P-012

## テンナンショウの潜在分布域推定

早川宗志, 西田智子, 徳岡良則

((独)農環研)

## P-013

# 新奇緑色渦鞭毛藻内部共生体の微細構造観察:とくに内部 共生体核に注目して

<u>皿井千裕</u><sup>1</sup>, 高橋和也<sup>1</sup>, 岩滝光儀<sup>2</sup>, 谷藤吾朗<sup>3</sup>, 稲垣祐司<sup>3</sup>, 石田健一郎<sup>3</sup>

( $^{1}$ 山形大・院・理工,  $^{2}$ 東京大・アジア生物資源環境,  $^{3}$ 筑波大・生命環境系)

## P-014

# 再発見された絶滅種チュウゼンジフラスコモの形態,遺伝 的多様性および分類

<u>坂山英俊</u><sup>1</sup>,甲斐厚<sup>1,2</sup>,西山未理<sup>2</sup>,渡邉信<sup>2</sup>,加藤将<sup>1</sup>,伊藤元己<sup>3</sup>,野崎久義<sup>4</sup>,川井浩史<sup>5</sup>

(「神戸大・院・理, 2筑波大・院・生命環境, 3東京大・院・総合文化, 4東京大・院・理, 5神戸大・内海域セ)

# アンコールワット遺跡の岩上および樹皮上より得られたス ミレモ科藻類

<u>半田信司</u><sup>1</sup>, 文光喜<sup>2</sup>, 柏谷博之<sup>3</sup>, 坪田博美<sup>4</sup> (<sup>1</sup>広島県環境保健協会, <sup>2</sup>韓国国立生物資源館, <sup>3</sup>国立科博·植物, <sup>4</sup>広島大·理)

#### P-016

# 日本産ハシゴシダ類の倍数性と分子系統

<u>海老原淳</u><sup>1</sup>, 中藤成実<sup>2</sup>, 宇野邦彦<sup>1</sup> (「国立科学博物館 植物研究部、<sup>2</sup>所属なし)

#### P-017

# ホザキシオガマ (ハマウツボ科) の隔離分布~本州中部白山における新産地報告~

<u>藤井紀行</u><sup>1</sup>,寺本美穂子<sup>2</sup>,Richard Ree<sup>3</sup>,白井伸和<sup>4</sup>, 須山知香<sup>5</sup>,植田邦彦<sup>6</sup>,高橋英樹<sup>7</sup>

(<sup>1</sup>熊本大・院・自然科学, <sup>2</sup>神奈川県厚木市, <sup>3</sup>シカゴ自然史博物館, <sup>4</sup>石川県金沢市, <sup>5</sup>岐阜大・教育・理科生物, <sup>6</sup>金沢大・理工・自然システム, <sup>7</sup>北海道大・総合博物館)

#### P-018

# 汎熱帯海流散布植物ハマアズキの分子系統地理

<u>山本崇</u><sup>1</sup>, 高山浩司<sup>2</sup>, 永嶋礼子<sup>1</sup>, 立石庸一<sup>3</sup>, 梶田忠<sup>1</sup> (「千葉大・院・理学, <sup>2</sup>東大・博物館, <sup>3</sup>琉球大・教育)

#### P-019

# 紅色植物門の系統分類とカロテノイド生合成経路の多様性 高市真一 $^1$ , 横山亜紀子 $^2$ , 内田博子 $^3$ , 村上明男 $^3$ , 持丸真里 $^4$

(<sup>1</sup>日本医大・生物, <sup>2</sup>筑波大・生命環境系, <sup>3</sup>神戸大・内海域センター, <sup>4</sup>駒澤大・自然)

## P-020

# 群体性藻類 Stephanosphaera (緑藻綱,オオヒゲマワリ目) の単細胞性姉妹群の再検討

<u>宗像英仁</u><sup>1,2</sup>, 仲田崇志<sup>2,3</sup>, 野崎久義<sup>4</sup>, 冨田勝<sup>1,2,3</sup> (¹慶大・環境情報, ²慶大・先端生命研, ³慶大・政策メディア・先端生命, ⁴東大・院・理)

## P-021

# シダ植物広義ウラボシ類配偶体の AM 菌感染

<u>鈴木絢子</u><sup>1</sup>,石山恵理<sup>2</sup>,水澤莉奈<sup>2</sup>,平山裕美子<sup>2</sup>,辻田有紀<sup>3</sup>,海老原淳<sup>4</sup>,今市涼子<sup>2</sup>

(1日女大·院·理, 2日女大·理学, 3佐賀大·農, 4国立科博·植物)

# P-022

# 絶滅危惧種オニヒョウタンボク(Lonicera vidalii)の生育 地調査と分類学的研究

松岡広基, 永島聖也, 大津浩三, 赤間一仁, <u>林蘇娟</u> (島根大·生物資源)

## P-023

## シハイスミレの系統地理学的研究

吉田政敬1, 横山潤2

(1山形大・院・理工,2山形大・理・生物)

#### P-024

# ゼンマイとヤシャゼンマイの遺伝的分化とヤシャゼンマイ の起源推定

<u>堤千絵</u><sup>1</sup>, 角川洋子<sup>2</sup>, 平山裕美子<sup>1</sup>, 加藤雅啓<sup>1</sup> (<sup>1</sup>科博·植物, <sup>2</sup>首都大·生命·牧野標本館)

#### P-025

# 渓流沿い植物ヤシャゼンマイと近縁種ゼンマイの野外集団 における葉形と葉柄形質の解析

飯塚佳凛<sup>1</sup>, <u>角川洋子</u><sup>1</sup>, 堤千絵<sup>2</sup> (<sup>1</sup>首都大·生命·牧野標本館, <sup>2</sup>科博·植物)

#### P-026

# 愛知県における 2 倍体ニガナ類の分布, 形態および遺伝的 特性

<u>森本苑良</u><sup>1</sup>, 渡邊幹男<sup>1</sup>, 伊藤元己<sup>2</sup>, 芹沢俊介<sup>3</sup> (「愛知教育大学, <sup>2</sup>東京大学大学院, <sup>3</sup>愛知みどりの会)

#### P-027

## 日本産キンミズヒキ類の核 DNA 含量と分類

<u>芹沢俊介</u><sup>1</sup>, 角田赳宏<sup>2</sup>, 堀瑶平<sup>2</sup>, 加藤淳太郎<sup>2</sup> (「愛知みどりの会、<sup>2</sup>愛知教育大・生物)

## P-028

調整スペース

# 形態・構造

## P-029

# 長期間の過重力環境がシロイヌナズナのシュートおよび根 の発達に与える影響

<u>唐原一郎</u><sup>1</sup>, 小原和樹<sup>2</sup>, 片山瑞紀<sup>2</sup>, 松倉一郎<sup>3</sup>, 久米篤<sup>4</sup>, 蒲池浩之<sup>1</sup>, 神阪盛一郎<sup>1</sup>

(1富山大・院・理工, 2富山大・理, 3(株) 松倉, 4九大・院・農)

## P-030

# **シダ植物小葉類の根頂端分裂組織の構造と EdU 解析** <u>藤浪理恵子</u>,中嶋淳子,河上愛里,今市涼子 (日女大 理 物生)

## P-031

# リン酸欠乏時に発現上昇する根毛タンパク質 RHPP の機能 解析

田中奈月<sup>1</sup>, 奥田祥平<sup>1</sup>, Ali Ferjani<sup>2</sup>, 郡司玄<sup>2</sup>, 前島正義<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名大院·生命農, <sup>2</sup>東京学芸大·教育学部)

## P-032

# Paulinella chromatophora の珪酸被殻構築過程における微小管・アクチン繊維の観察

<u>野村真未</u>¹,石田健一郎²

(1筑波大・院・生命環境, 2筑波大・生命環境系)

## P-033

# 中実化を伴う竹稈発生様式の組織形態的特徴

<u> 荻田信二郎</u>, 緒方友哉, 野村泰治, 加藤康夫 (富山県立大学工学部生物工学研究センター)

緑藻 Chlamydomonas reinhardtii の眼点変異株の配偶子における受精管の空間配置

宮村新一1, 南雲保2

(1筑波大学 生命環境系,2日本歯科大 生物)

## P-035

雄原細胞が細胞内細胞化する機構—加圧凍結固定法による 網察—

平塚理恵1, 寺坂治2

(<sup>1</sup>慈恵医大·生物研, <sup>2\*</sup>)

#### P-036

**永久磁石の小型 MRI による植物根のイオン吸収の観測** 小泉美香<sup>1</sup>、狩野広美<sup>2</sup>

(1早大・理工研、2くぬぎ山蛍雪研)

### P-037

ヒメツリガネゴケの 4 つの ANGUSTIFOLIA 遺伝子は全て 茎葉体の茎の細胞の縦幅の伸長に関わる

<u>矢部智幸</u><sup>1</sup>, 武智克彰<sup>1</sup>, 滝尾進<sup>1,2</sup>, 塚谷裕一<sup>3</sup>, 佐藤良勝<sup>4</sup>, 高野博嘉<sup>1,5</sup>

(¹熊本大学大学院自然科学研究科,²熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター,³東京大学大学院理学系研究科,⁴名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所(WPI-ITbM)ライブイメージングセンター,⁵熊本大学パルスパワー科学研究所)

#### P-038

## モウセンゴケ科食虫植物の捕食過程の観察

坪内寿朗, 金子康子

(埼玉大学 大学院 教育学研究科 生物学研究室)

## P-039

SACLA における葉緑体の低温コヒーレント X 線回折イメージング

<u>乾弥生</u><sup>1</sup>, 松永幸大<sup>1</sup>, 高山裕貴<sup>2</sup>, 苙口友隆<sup>3</sup>, 関口優希<sup>3</sup>, 小林周<sup>3</sup>, 橋本早紀<sup>3</sup>, 米倉功治<sup>2</sup>, 山本雅貴<sup>2</sup>, 中迫雅由<sup>3</sup> (「東理大・理工・応用生物科学, <sup>2</sup>理研・播磨・放射光科学研究センター, <sup>3</sup>慶應大・理工・物理)

## P-040

# チゴユリにおける構造力学的解析

# Kumiko Uehara

(北海道大学環境科学院)

# P-041

乾燥ストレス下におけるハナスベリヒユの葉緑体ドーナツ 構造化現象

<u>近藤歩</u><sup>1</sup>,渡辺栞<sup>1</sup>,鈴村里子<sup>1</sup>,Simon Chuong<sup>2</sup>,船隈透<sup>1</sup> (¹名城大·農学, ²Dep. Biol., Waterloo Univ.)

# 生態・生理生態・種生態・群落保全

### P-042

## 大気中から捕捉された隠花植物とくにコケ植物

<u>坪田博美</u><sup>1</sup>, 島本俊樹<sup>2</sup>, 久保晴盛<sup>1</sup>, 半田信司<sup>3</sup>, 井上侑哉<sup>1</sup>, 中原-坪田美保<sup>4</sup>, 正田いずみ<sup>1</sup>, 内田慎治<sup>5</sup>, 向井誠二<sup>5</sup> (<sup>1</sup>広島大・院・理, <sup>2</sup>広島大・理, <sup>3</sup>広島県環境保健協会, <sup>4</sup>千葉中 央博・共同研究員, <sup>5</sup>広島大・技セ)

## P-043

# 徳之島産ホウザンツヅラフジの遺伝的特性

<u>宮本旬子</u><sup>1</sup>, 齋藤加那子<sup>2</sup>, 上大川千夏<sup>2</sup>, 行山武久<sup>3</sup> (<sup>1</sup>鹿児島大・院・理工, <sup>2</sup>鹿児島大・理, <sup>3</sup>徳之島虹の会)

#### P-044

熱帯雨林の樹木多様性の維持・進化における種子散布者の 寄与の理論的検証

<u>柿嶋聡</u><sup>1</sup>, 林幸輝<sup>2</sup>, 守田智<sup>2</sup>, 吉村仁<sup>1</sup> (<sup>1</sup>静岡大・創造院, <sup>2</sup>静岡大・工)

#### P-045

# 山形県における湿地性ラン科植物の訪花昆虫相

<u>薄井優悟</u><sup>1</sup>, 高橋満月<sup>2</sup>, 鈴木政紀<sup>1</sup>, 牧野崇司<sup>1</sup>, 武浪秀子<sup>1</sup>, 横山潤<sup>1</sup>

(1山形大・院・理工, 2山形大・理・生物)

#### P-046

ボルネオ島の熱帯多雨林を構成する多様な樹木の蒸散量 <u>齋藤隆実</u> $^1$ , 熊谷朝臣 $^1$ , 高橋厚裕 $^1$ , 浜田修子 $^1$ , 小林菜花子 $^1$ , 藤井新次郎 $^1$ , Kho Lip Khoon $^2$ 

(1名古屋大・地球水循環セ, 2Malaysian Palm Oil Board)

## P-047

# Impacts of ozone and/or water stresses on Siebold's beech seedlings

Hideyuki Shimizu<sup>1</sup>, Shoko Ito<sup>1</sup>, Keiji Aihara<sup>1,2</sup>, Ryuichi Suda<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>National Institute for Environmental Studies, <sup>2</sup>Kanagawa Prefecture Natural Environment Conservation Center, <sup>3</sup>Fukuoka Institute of Health and Environmental Sciences)

# P-048

# コナラ林冠葉における光合成の温度応答の緯度間比較とそ の生化学的要因の解明

<u>山口大輔</u><sup>1</sup>, 中路達郎<sup>2</sup>, 日浦勉<sup>2</sup>, 三島大<sup>3</sup>, 中村こずえ<sup>3</sup>, 佐野淳之<sup>4</sup>. 彦坂幸毅<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>東北大・生命, <sup>2</sup>北大・北方生物圏FSC, <sup>3</sup>鳥取大・院, <sup>4</sup>鳥取大・ 農)

## P-049

# 北海道サロベツ湿原におけるテフラ撹乱 13 年後のミズゴ ケ回復状況

<u>釜野靖子</u><sup>1</sup>, Stefan Hotes<sup>2</sup>, 露崎史朗<sup>3</sup>

(<sup>1</sup>北大・院・環境科学, <sup>2</sup>Dept. Ecology, Univ. Philipps, <sup>3</sup>北大・地球環境)

# 多摩川におけるカワラノギクの植栽個体群によるメタ個体 群の回復

倉本宣, 岡田久子

(明大・農)

### P-051

## 伊豆半島の海岸における自然植生

<u>冨田美紀</u><sup>1</sup>, 坂井由紀子<sup>2</sup>, 増澤武弘<sup>2</sup>

(1静岡自然環境研究会,2静岡大学理学部)

#### P-052

# 中国雲南省南部に自生する希少なベゴニア類の生育環境 <u>志内利明</u><sup>1</sup>, 魯元学<sup>2</sup>, 李景秀<sup>2</sup>, 管開雲<sup>2</sup>, 高橋一臣<sup>1</sup>, 中田政司<sup>1</sup>

(1富山県中央植物園,2中国科学院昆明植物研究所)

### P-053

## 標本の種子は長生きか?

平澤優輝1. 港翼2. 長谷川匡弘3. 志賀隆1,2

(¹新潟大学教育学研究科,²新潟大学教育学部,³大阪市立自然史博 物館)

#### P-054

# 緑藻マリモの保全に向けた生育特性と系統地理学的解析 <u>榎本葵</u><sup>1</sup>, 若菜勇<sup>2</sup>, 綿野泰行<sup>3</sup>, 西沢徹<sup>4</sup>, 嶌田智<sup>1</sup>

(¹お茶大・院・ライフサイエンス,²釧路市教育委員会,³千葉大・理,⁴福井大・教育地域)

## P-055

# "宝蔵寺沼ムジナモ自生地" とムジナモの生育 金子康子

(埼玉大学教育学部生物学研究室)

# P-056

# 定点タイムラプス画像から草原葉群の季節および経年変化 はどのように捉えられるか?

関川清広1, 小宮澤奈未子2, 七夕高也3

(<sup>1</sup>玉川大・農・生物環境システム, <sup>2</sup>関東国際高校, <sup>3</sup>理研・横浜・環境資源科学)

## P-057

# 花形質の異なるエゾエンゴサク集団間に見られる訪花昆虫 相の差異

<u>鈴木政紀</u><sup>1</sup>, 牧野崇司<sup>2</sup>, 山岸洋貴<sup>3</sup>, 横山潤<sup>2</sup> (「山形大・院・理工, 」山形大・理・生物, 3弘前大・白神自然観察 園)

## P-058

# Solar UV-B damage, repair and protection in species with different functional groups in moorlands

Qing-Wei Wang, Chiho Kamiyama, Mika Teranishi, Jun Hidema, Kouki Hikosaka

(Graduate School of Life Sciences, Tohoku University)

#### P-059

ナガバジャノヒゲの多胚性の意義:種子の大きさと数が、 種子あたりの胚数と胚の生存に与える影響

岡千尋, 板垣智之, 酒井聡樹

(東北大・院・生命科学)

#### P-060

生育環境の季節変化に対するクマイザサの葉の生理的応答 小野清美

(北大・低温研)

### P-061

# 気象要因と葉量維持のフィードバックがもたらす常緑樹林 の LAI 年変動

隅田明洋1, 宮浦富保2

(1北海道大学低温科学研究所, 2龍谷大学理工学部)

# 環境応答

### P-062

# Synechocystis sp. PCC6803 の酸性適応に関与する遺伝子の同定

<u>内山純爾</u><sup>1</sup>, 兼崎友<sup>2</sup>, 田崎理澄<sup>3</sup>, 船水健斗<sup>3</sup>, 大隅貴史<sup>3</sup>, 浅倉良介<sup>3</sup>, 吉川博文<sup>4</sup>, 太田尚孝<sup>1,3</sup>

(「東理大・総研・RNA, <sup>2</sup>東農大・生物資源, <sup>3</sup>東理大・理, <sup>4</sup>東農大・応生・バイオ)

## P-063

# シロイヌナズナの高 CO<sub>2</sub> 応答性のジェノタイプ間差と発現の相関性を示す遺伝子の探索

<u>永野聡一郎</u><sup>1</sup>, 花田耕介<sup>2,3</sup>, 樋口美栄子<sup>3</sup>, 尾崎洋史<sup>1</sup>, 小口理一<sup>1</sup>, 千葉元子<sup>1</sup>, 藤井伸治<sup>1</sup>, 彦坂幸毅<sup>1</sup>, 高橋秀幸<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大・院・生命科学, <sup>2</sup>九州工大・若手研究者フロンティア, <sup>3</sup>理研・環境資源科学)

## P-064

# CN バランスの変化に応じた葉の内部構造と維管束構造変化のメカニズム解析

<u>杉浦大輔</u>,別役恵理子,渡辺千尋,寺島一郎 (東大·院·理)

## P-065

沈水植物オオカナダモ(Egeria densa)の Mn 集積機構の解明 <u>浅山拓馬</u>, 白木望美, 井上翔太, 奥田絵里奈, 原田英美子, 長谷川博

(滋賀県大・環境科学)

# P-066

## 木本植物におけるストロンチウム(Sr) 蓄積機構

原田英美子¹, 稲田和幸¹, 森卓弥¹, 木村ひろみ¹, 庄美冴子¹, 竹中千里², 富岡利恵², 保倉明子³, 寺田靖子⁴, <u>水野隆文</u>⁵ (¹滋賀県大・環境科学, ²名古屋大・院・生命農学, ³東京電機大・工, ⁴JASRI/SPring-8, ⁵三重大・院・生資)

## 酸化還元応答型新規蛍光タンパク質 Oba-Q

杉浦一德<sup>1,2</sup>, 永井健治<sup>3</sup>, 中野雅裕<sup>3</sup>, 一瀬宏<sup>4</sup>, <u>久堀徹</u><sup>1,2</sup> (¹東京工業大学資源化学研究所, <sup>2</sup>CREST, JST, <sup>3</sup>大阪大学産業科学研究所, <sup>4</sup>東京工業大学大学院生命理工学研究科)

#### P-068

# シロイヌナズナ芽生えの脱黄化応答メタボロミクス 小塚俊明<sup>1</sup>, 高橋勝利<sup>2</sup>, 澤田有司<sup>3</sup>, 平井優美<sup>3</sup>, 長谷あきら<sup>1</sup>

(¹京都大学大学院理学研究科生物科学専攻植物学系植物生理学分科,²産業技術総合研究所計測フロンティア部門,³理化学研究所環境資源科学センター代謝システム研究チーム)

#### P-069

# ゼニゴケにおける葉緑体の低温応答運動のフォトトロピン 依存性

<u>藤井雄太</u><sup>1</sup>, 小笠原有香<sup>2</sup>, 小松愛乃<sup>3</sup>, 和田正三<sup>4</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 児玉豊<sup>2</sup>

(1字都宮大院・農, 2字都宮大・バイオセンター, 3京都大院・生命, 4九州大院・理学)

#### P-070

# カヤツリグサ科マツバイの高増殖無菌培養条件の検討及び Cs 吸収・蓄積機構の解析

後藤慎平<sup>1</sup>, 寺岡翔也<sup>1</sup>, 竹原明成<sup>2</sup>, 榊原正幸<sup>2</sup>, 佐野栄<sup>3</sup>, 佐藤康<sup>2</sup>

(1愛媛大·理·生物,2愛媛大·院·理工,3愛媛大·教育·理科教育)

# P-071

# アブシジン酸依存的な原形質連絡制御におけるシグナル分子の解析

<u>友井拓実</u><sup>1</sup>, 北川宗典<sup>2</sup>, 坂田洋一<sup>3</sup>, 藤田知道<sup>4</sup> (<sup>1</sup>北大・院・生命, <sup>2</sup>理研・横浜, <sup>3</sup>東農大・バイオサイエンス, <sup>4</sup>北 大・院・理)

# P-072

# 黄化 Alaska エンドウ上胚軸頂端鉤状部の成長・発達に対する重力の影響

 $\underline{\text{山崎隆弘}}^{1}$ ,上田英二 $^{1}$ ,上田純一 $^{1}$ ,宮本健助 $^{2}$  ( $^{1}$ 大阪府立大・院・理学系, $^{2}$ 大阪府立大・高等教育推進機構)

# P-073

# 緑藻クラミドモナスにおける性分化及び脱性分化の調節 因子

<u>中西純代</u>, 小林千紘, 大坪繭子, 田村典明 (福岡女子大·人間環境·環境理)

## P-074

# ヒメツリガネゴケの ABA 応答制御における SnRK2 遺伝子ファミリーの役割

<u>大竹亮子</u><sup>1</sup>,米原稔治<sup>1</sup>,Andrew C. Cuming<sup>2</sup>,竹澤大輔<sup>3</sup>, 太治輝昭<sup>1</sup>,林隆久<sup>1</sup>,坂田洋一<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>東京農業大バイオ, <sup>2</sup>Univ. of Leeds, <sup>3</sup>埼玉大・理工学)

#### P-075

## ナノ粒子が根の細胞伸長に及ぼす影響

中島淑乃<sup>1</sup>,村田森応<sup>1</sup>,井渕加奈<sup>1</sup>,宮崎準平<sup>1</sup>,栗山雄太<sup>1</sup>,竹田恵美<sup>2</sup>,野村俊之<sup>1</sup>,<u>徳本勇人</u><sup>1</sup> ( $^{1}$ 大阪府大院 · 工, $^{2}$ 大阪府大院 · 理)

### P-076

# 花粉管を用いた植物の生殖細胞へナノ粒子が及ぼす影響の 解析

 $\underline{\text{平田唉}^1}$ , 中島淑乃², 中川拓実², 竹田恵美³, 野村俊之², 徳本勇人²

(1大阪府立大学·工, 2大阪府立大学院·工, 3大阪府立大学院·理)

### P-077

## ナノ粒子がタバコカルスの増殖に及ぼす影響

<u>中島淑乃</u><sup>1</sup>,竹田恵美<sup>2</sup>,野村俊之<sup>1</sup>,徳本勇人<sup>1</sup> ( $^{1}$ 大阪府大院 · 工, $^{2}$ 大阪府大院 · 理)

## P-078

# 冠水耐性イネ由来 Sub1A 遺伝子導入ダイズの作製と冠水耐性の評価

西澤けいと, 小松節子

(農研機構 作物研究所)

#### P-079

# シアノバクテリアとクラミドモナスにおけるヒ素・リン酸 の取り込みと代謝

(¹東京薬科大学大学院生命科学研究科環境応答植物学研究室, ²JST, CREST)

## P-080

ゼニゴケにおける葉緑体の低温応答運動の新しい誘導条件 田村沙織<sup>1</sup>. 児玉豊<sup>2</sup>

(1字都宮大院・農, 2字都宮大・バイオセンター)

# P-081

# ゼニゴケ葉状体の暗誘導老化に関する突然変異体の単離と 解析

<u>佐藤友哉</u><sup>1</sup>, 児玉豊<sup>2</sup>, 石崎公庸<sup>3</sup>, 河内孝之<sup>4</sup>, 井上悠子<sup>1</sup>, 森安裕二<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>埼玉大・院・理工, <sup>2</sup>宇大・バイオサイエンス, <sup>3</sup>神戸大・院・理学, <sup>4</sup>京都大・院・生命科学)

## P-082

# ヒメツリガネゴケにおける低温応答機構のトランスクリプ トーム解析

<u>篠澤章久</u><sup>1</sup>, 小松憲治<sup>2</sup>, 八田真理<sup>3</sup>, 石毛太一郎<sup>3</sup>, 太治輝昭<sup>1</sup>, 林隆久<sup>1</sup>. 坂田洋一<sup>1</sup>

(¹東京農大・バイオ, ²東京農大・短・生物生産, ³東京農大・生物 資源ゲノム解析センター)

# Mg-chelatase I subunit 1 and Mg-Protoporphyrin IX methyltransferase affect the stomatal aperture

富山将和<sup>1</sup>, 井上晋一郎<sup>1</sup>, 都築朋<sup>1</sup>, 曽田翠<sup>1</sup>, 森本小百合<sup>1</sup>, 沖垣友季子<sup>1</sup>, 大石貴矢<sup>1</sup>, 望月伸悦<sup>3</sup>, 高橋宏二<sup>1</sup>, 木下俊則<sup>1,2</sup>

(1名大·院理·生命理学, 2名大·WPI-ITbM, 3京大·院理·生物)

### P-084

# オジギソウ circadian clock gene のクローニングと発現解析 中野秀亮、高原正裕、神澤信行

(上智大学理工学研究科理工学専攻)

### P-085

シロイヌナズナのアブシジン酸応答に関わる機能未知タンパク質 SNS1 の解析

鈴木梨沙, 石塚梢, 梅澤泰史

(農工大・院・BASE)

#### P-086

# フルクタン合成酵素遺伝子 (1-SST) を高発現させた春播 きコムギの特性

<u>吉田みどり</u><sup>1</sup>, 目黒文乃<sup>1</sup>, 安倍史高<sup>2</sup> (¹農研機構・北海道農業研究センター, ²農研機構・作物研)

# P-087

# 海洋性シアノバクテリアの時計タンパク質発現解析

<u>森田朗嗣</u><sup>1</sup>,山口陽光<sup>1</sup>,北山陽子<sup>2</sup>,小山時隆<sup>3</sup>,近藤孝男<sup>2</sup>, 本名伸介<sup>1</sup>

(1横市大・院・生命ナノ,2名大・院・理,3京大・院・理)

## P-088

# 硫酸性温泉紅藻 Galdieria sulphuraria における金イオンの ミネラリゼーション

<u>蓑田歩</u><sup>1</sup>, 鈴木園枝<sup>1</sup>, 澤田仁美<sup>1</sup>, 都筑幹夫<sup>2</sup> (<sup>1</sup>筑波大生命環境, <sup>2</sup>東薬大生命)

## P-089

# 硫酸性温泉紅藻 Galdieria sulphuraria の鉄欠乏応答への生理・生化学的解析

鈴木園枝, 蓑田歩

(筑波大学 生命環境)

## P-090

# 硫酸性温泉紅藻 Galdieria sulphuraria の硫酸耐性機構についての生理学的解析

伊藤恵美, 蓑田歩

(筑波大学 生命環境)

## P-091

# 硫酸性温泉紅藻 Galdieria sulphuraria の高CO<sub>2</sub> 条件への適応についての生理学的解析

付星字1, 蓑田歩1

(1筑波大学 生物学類, 2筑波大学 生命環境系)

#### P-092

# 苔類ゼニゴケにおける細胞膜 H\*-ATPase の機能解析

<u> 楊為雄</u><sup>1</sup>, 奥村将樹<sup>1</sup>, 井上晋一郎<sup>1</sup>, 高橋宏二<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 木下俊則<sup>1,4</sup>

 $(^{1}$ 名古屋大・院理・生命理学, $^{2}$ 神戸大・院・理, $^{3}$ 京都大・院・生命科学, $^{4}$ 名古屋大・WPI-IT b M)

#### P-093

# 教育プログラム「アジアの種子 2013」宇宙実験: 微小重力 環境下でのアズキ芽ばえの成長と形態

<u>曽我康一</u><sup>1</sup>, 大阪市立大学生物部<sup>2</sup>, 栗田あかね<sup>3</sup>, 矢野幸子<sup>4</sup>, 市川智洋<sup>5</sup>, 鎌田源司<sup>6</sup>, 高沖宗夫<sup>4</sup>

(¹大阪市大·院理, ²大阪市大, ³大阪市大·理, ⁴JAXA, ⁵JSF, ⁴AES)

### P-094

# 急激な温度降下で生じるセントポーリア葉の傷害誘導メカ ニズム

大西美輪<sup>1</sup>, 角浜憲明<sup>1</sup>, 高橋勝利<sup>2</sup>, 七條千津子<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>1</sup>, 深城英弘<sup>1</sup>. 鈴木祥弘<sup>3</sup>. 三村徹郎<sup>1</sup>

(1神戸大・院・理,2産総研・計測フロンティア,3神奈川大・理)

#### P-095

# 理研 BRC が保有するシロイヌナズナ近縁種の環境ストレス 応答の解析

井内聖, 川村節子, 小林正智

(理研・BRC・実験植物)

### P-096

## イネスフィンゴ脂質不飽和化酵素の機能解析

金松,石川寿樹,中曽根光,山口雅利,川合真紀(埼玉大学大学院理工学研究科遺伝子環境工学研究率)

# P-097

# 海洋性珪藻 *Phaodactylum tricornutum* における PtSLC4-1 の 機能解析

大橋弘章, 中島健介, 松田祐介 (関学大·院·理工)

## P-098

# ABA シグナル伝達系における C グループ MAP キナーゼの 機能解析

<u>廣谷美咲</u><sup>1</sup>, 高橋史憲<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 梅澤泰史<sup>1</sup> (1農工大・院・BASE, <sup>2</sup>理研 CSRS)

## P-099

# シロイヌナズナ培養細胞における微量要素過不足時のフラ ジェリン応答の変化

<u>吉野加奈子</u>, 鈴木雅, 佐野俊夫 (法政大·院·生命機能)

## P-100

# ミヤコグサの亜鉛過剰条件における菌根菌感染率の測定 池田絢香,福原舞,佐野俊夫

(法政大・院・生命機能)

ハツカダイコン 14 品種の光合成と成長への高 CO<sub>2</sub> の影響 上田実希, 彦坂幸毅

(東北大・院・生命)

### P-102

微小重力環境下におけるシロイヌナズナ胚軸の表層微小管 動態 – Resist Tubule 宇宙実験

<u>村上愛</u><sup>1</sup>, 加藤志朋<sup>1</sup>, 曽我康一<sup>1</sup>, 若林和幸<sup>1</sup>, 橋本隆<sup>2</sup>, 保尊隆享<sup>1</sup>

(1大阪市大・院・理,2奈良先端大・バイオ)

#### P-103

## Pb によるシロイヌナズナ芽生えの成長阻害

<u>長尾美和</u>,小糸和子,曽我康一,若林和幸,益田晴恵,下中智美,保尊隆享

(大阪市大・院・理)

### P-104

# 銅により調節される銅ゴケ原糸体細胞の分化制御メカニズム解明に向けた解析

<u>野村俊尚い</u>, 小嶋美紀子<sup>1</sup>, 馳澤盛一郎<sup>2</sup>, 榊原均<sup>1</sup> (「理化学研究所環境資源科学研究センター」。東大・院・新領域)

# 光合成

## P-105

# シロイヌナズナの葉緑体バイオジェネシスにおける酸性膜 脂質の役割

小林康一,藤井祥,堀遥香,和田元 (東大·院·総合文化)

## P-106

## 変動光が光化学系IとIIの光阻害に及ぼす影響

河野優, 野口航, 寺島一郎

(東大・院・理・植物生態)

## P-107

# 過重力下におけるヒメツリガネゴケの光合成能力と形態 変化

<u>竹村香里</u><sup>1</sup>,蒲池浩之<sup>2</sup>,久米篤<sup>3</sup>,藤田知道<sup>4</sup>,唐原一郎<sup>2</sup>, 半場祐子<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>京工繊大・院, <sup>2</sup>富大・院・理, <sup>3</sup>九大・院・農, <sup>4</sup>北大・院・理)

## P-108

# 単細胞緑藻 Pseudococcomyxa ellipsoidea の強光耐性株における強光ストレス応答の生理学的解析

<u>早川准平</u>,田中佑樹,原山重明 (中央大·理工·生命)

## P-109

# 照葉樹における冬季の吸収光エネルギーの分配と光合成 能力

田中千鶴<sup>1</sup>, <u>山崎淳也</u><sup>1</sup>, 中野隆志<sup>2</sup>, 丸田恵美子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東邦大·理·生物, <sup>2</sup>山梨県富士山研)

#### P-110

高 CO<sub>2</sub> 環境下で生育したシロイヌナズナの葉肉コンダクタンスの応答

<u>溝上祐介</u>,野口航,寺島一郎 (東大·院·理)

#### P-111

## 吸収スペクトルと酸化還元電位から見たスペシャルペア

<u>深山大輔</u><sup>1</sup>, 家村達也<sup>1</sup>, 宮下英明<sup>2</sup>, 岩本浩二<sup>3</sup>, 白岩善博<sup>3</sup>, 渡辺正<sup>4</sup>. 小林正美<sup>1</sup>

(¹筑波大·物質工学域,²京都大·院·人間·環境学,³筑波大·生物化学系,⁴東京理科大·総合教育機構)

### P-112

## 乾燥食品中のクロロフィル

<u>木村佳那子</u><sup>1</sup>,藤沼大幹<sup>1</sup>,坏慎也<sup>1</sup>,宫下英明<sup>2</sup>,小林正美<sup>1</sup> (¹筑波大·物質工学域,²京都大·院·人間·環境)

#### P-113

# シアノバクテリアの呼吸鎖におけるプラストキノンへの電子供給経路の解析

<u>鈴木健太</u>,小川敬子,園池公毅 (早稲田大·教育·総合科学)

#### P-114

## ソラマメの種子の光合成の特殊性

上野朋裕, 玉井絢子, 園池公毅 (早稲田大学教育·総合科学学術院)

## P-115

# 葉とカルスの光合成の比較~シロイヌナズナのクロロフィル蛍光解析から~

北原新也, 園池公毅

(早稲田大学 教育·総合科学学術院 園池研究室)

# 代謝・物質生産・メタボローム・バイオエネ ルギー

## P-116

# ミゾソバ(Polygonum thunbergii)の挿穂における不定根発根に注目した 大規模発現遺伝子解析

大橋利紗1,鈴木秀幸2,吉澤結子1,水野幸一1

(<sup>1</sup>秋田県立大学 生物資源科学部, <sup>2</sup>かずさDNA研究所 バイオ研究 開発部)

## P-117

# ミゾソバ (Polygonum thunbergii) 挿穂からのセスキテルペンシンターゼ酵素遺伝子の単離と機能解析

<u>大橋利紗</u><sup>1</sup>, 野下浩二<sup>1</sup>, 鈴木秀幸<sup>2</sup>, 吉澤結子<sup>1</sup>, 水野幸一<sup>1</sup> (<sup>1</sup>秋田県立大学 生物資源科学部, <sup>2</sup>かずさDNA研究所 バイオ研究 開発部)

# 緑藻 Botryococcus 由来炭化水素(Botryococcene)生産酵母 での細胞内脂質蓄積部位の形態

三井菜々香<sup>1</sup>,岡田茂<sup>3,4</sup>,野口哲子<sup>1,2,4</sup>,鍵和田聡<sup>1,2,4</sup> (<sup>1</sup>奈良女子大学・院・生物科学,<sup>2</sup>奈良女子大・理・生物科学,<sup>3</sup>東京大学・院・水圏生物科学,<sup>4</sup>JST・CREST)

#### P-119

# 同位体イメージングによる植物細胞壁への光合成産物堆積 過程の解析

<u>竹内美由紀</u>, 磯貝明 (東大・院・農)

### P-120

#### マツバボタン PAP ホモログの解析

田中明日香,原田理紗子,市木祥子,<u>岩瀬かおり</u>, 作田正明

(お茶の水大院 生命科学)

#### P-121

# ナデシコ目植物の DOPA dioxygenase の生化学的解析 石塚夏洋,佐藤真美,作田正明

(お茶の水大・院・生命科学)

### P-122

## ラン藻を用いた脂肪酸生産に対する明暗周期の影響

松浦美祥<sup>1</sup>, 鵜瀬和秀<sup>1</sup>, 加藤明宏<sup>1</sup>, 高谷信之<sup>1,4</sup>, 池田和貴<sup>2,4</sup>, 小島幸治<sup>3,4</sup>, 愛知真木子<sup>3,4</sup>, 前田真一<sup>1,4</sup>, 小俣達男<sup>1,4</sup> (<sup>1</sup>名大・院・生命農, <sup>2</sup>理研・IMS, <sup>3</sup>中部大・応用生物, <sup>4</sup>JST CREST)

## P-123

# Oleosin 発現クラミドモナスにおける Lipid Droplet の解析 $\overline{\Delta y}$ 憲広 1, 栗田朋和 $^{1,2}$ , 紙透祥吾 $^{1}$ , 藤木友紀 $^{1}$ , 西田生郎 $^{1}$

(¹埼玉大・院・理工, ²JST・CREST)

## P-124

# NAD キナーゼ 2 過剰発現シロイヌナズナにおける硫酸同化 経路の解析

<u>Yuki Sato</u><sup>1</sup>, Toshiki Ishikawa<sup>1</sup>, Masatoshi Yamaguti<sup>2</sup>, Maki Kawai-Yamada<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>埼玉大学大学院 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 遺伝子環境工学研究室、<sup>2</sup>埼玉大学 総合研究機構 環境科学研究センター)

# 細胞内小器官

# P-125

# 緑藻 Botryococcus braunii におけるリピッドボディの消長に伴う小胞体の構造・分布の解析

鈴木玲子1,3. 野口哲子2,3

(1奈良女子大学・理・生物科学, $^2$ 奈良女子大学・院・生物科学, $^3$ IST・CREST)

#### P-126

# 浸透圧刺激により生じるシロイヌナズナ根端アミロプラスト動態の変化

菊池光太郎1, 高橋秀幸2, 宮沢豊3

(1山形大·院·理工, 2東北大·院·生命科学, 3山形大·理·生物)

## P-127

# 光呼吸に関連する葉緑体グリコール酸/グリセリン酸トランスポーターのヒメツリガネゴケを用いた機能解析

<u>中原仁</u><sup>1</sup>, 武智克彰<sup>1</sup>, 佐藤博<sup>2</sup>, 滝尾進<sup>1,3</sup>, 高野博嘉<sup>1,4</sup> ( $^{1}$ 熊大・院・自然科学,  $^{2}$ 熊大・理学,  $^{3}$ 熊大・沿岸域,  $^{4}$ 熊大・IPPS)

#### P-128

# 大腸菌 OPA ファミリーと相同性を持つシロイヌナズナの G3Pp ファミリータンパク質の生理機能解析

河合博光, 大西純一

(埼玉大学 大学院理工学研究科)

#### P-129

# 基部陸上植物ゼニゴケにおける膜交通因子の網羅的解析 南野尚紀<sup>1</sup>、金澤建彦<sup>1</sup>、恵良厚子<sup>2</sup>、石崎公庸<sup>3</sup>、西浜竜一<sup>4</sup>、

河内孝之4. 中野明彦1,5. 上田貴志1,6

(「東大院・理, 2遺伝研, 3神戸大院・理学, 4京大院・生命科学, 5理 研RAP・ライブセル分子イメージング, 6JST さきがけ)

#### P-130

# ニンジン NMCP1 が介在する核タンパク質問相互作用 望月遼太,増田清

(北大・院・農)

## P-131

# 核膜支持構造タンパク質 NMCP1/NMCP2 の不連続分布 引田陸、増田清

(北大・院・農)

## P-132

# シロイヌナズナにおけるミトコンドリア Ca<sup>2+</sup>輸送に関わる 因子の探索

<u> 艾原佐紀</u>, 浅倉千洋, 水上陽介, 市川美恵, 椎名隆 (京府大・院・生命環境)

## P-133

## 液胞膜の融合を制御する SNARE 複合体の解析

<u>海老根一生</u><sup>1</sup>,齊藤知恵子<sup>1</sup>,植村知博<sup>1</sup>,中野明彦<sup>1,2</sup>, 上田貴志<sup>1,3</sup>

(1東大院・理, 2理研・光量子工学, 3JST・さきがけ)

## P-134

# ヒメツリガネゴケ葉緑体分裂に関連するペプチドグリカン 合成酵素(PBP)複合体の解析

松下祐美<sup>1</sup>, 武智克彰<sup>1</sup>, 瀧尾進<sup>1,2</sup>, 高野博嘉<sup>1,3</sup>

(<sup>1</sup>熊本大学大学院自然科学研究科, <sup>2</sup>熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター, <sup>3</sup>熊本大学パルスパワー科学研究所)

# 細胞骨格・運動

### P-135

タバコ BY-2 細胞のフラグモプラスト局在キネシンの解析 <u>安原裕紀</u>, 井上真以美, 矢田昌敏, 大西夏佳 (関西大・化学生命工・生命・生物工)

### P-136

# シロイヌナズナ低分子量 G タンパク質 Rab とミオシンとの 相互作用

<u>脇坂達哉</u><sup>1</sup>, 富永基樹<sup>2,3</sup>, 原口武士<sup>1</sup>, 中野明彦<sup>2,4</sup>, 伊藤光二<sup>1</sup>

(1千葉大・院・理・生物、2理研RAP・ライブセル分子イメージング、 $^3$ JST・さきがけ、 $^4$ 東京大・院・理・生物科学)

#### P-137

## 植物アクチンアイソフォームの精製・機能解析

貴嶋紗久<sup>1,2</sup>, 孔三根<sup>3</sup>, 和田正三<sup>3</sup>, 上田太郎<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>産総研・セルメカニクス, <sup>2</sup>筑波大学・院・生命環境科学, <sup>3</sup>九州 大学・院・理・生物科学)

#### P-138

# シロイヌナズナアクチンの諸性質:ミオシンとの相互作用 を中心に

<u>諏訪貴大</u><sup>1</sup>, 大矢里美<sup>1</sup>, 貴嶋紗久<sup>2</sup>, 富永基樹<sup>4,5</sup>, 大木高志<sup>3</sup>, 中野明彦<sup>5,6</sup>, 石渡信一<sup>3</sup>, 上田太郎<sup>2</sup>, 伊藤光二<sup>1</sup>

(1千葉大・院・理・生物, <sup>2</sup>産総研・セルメカニクス, <sup>3</sup>早稲田・院・先進理工・物理, <sup>4</sup>理研RAP・ライブセル分子イメージング, <sup>5</sup>IST・さきがけ, <sup>6</sup>東京大・院・理・生物科学)

## P-139

# シロイヌナズナミオシン 11K の尾部結合タンパク質の探索 <u>筒井千晶</u><sup>1</sup>, 富永基樹<sup>2,4</sup>, 原口武士<sup>1</sup>, 勝俣幸平<sup>1</sup>, 中野明彦<sup>2,3</sup>, 伊藤光二<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>千葉大・院・理・生物, <sup>2</sup>理研 RAP・ライブセル分子イメージング, <sup>3</sup>東京大・院・理・生物科学, <sup>4</sup>JST・さきがけ)

## P-140

# シロイヌナズナミオシン MYA1, MYA2 の尾部結合タンパク質の探索

<u>勝侯幸平</u><sup>1</sup>, 富永基樹<sup>2,3</sup>, 原口武士<sup>1</sup>, 筒井千晶<sup>1</sup>, 中野明彦<sup>2,4</sup>, 伊藤光二<sup>1</sup>

(1千葉大・院・理・生物、2理研 RAP・ライブセル分子イメージング、 $^3$ JST・さきがけ、 $^4$ 東京大・院・理・生物科学)

# P-141

# シロイヌナズナミオシン MYA2 モータードメインのアクチン結合部位の同定

<u>薩如拉</u><sup>1</sup>, 富永基樹<sup>2,3</sup>, 中野明彦<sup>2,4</sup>, 山本啓一<sup>1</sup>, 伊藤光二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大・理・生物, <sup>2</sup>理研RAP・ライブセル分子イメージング, <sup>3</sup>JST・さきがけ, <sup>4</sup>東京大・院・理・生物科学)

# 細胞壁

### P-142

# Ca 欠乏条件下のトマト果実成熟過程における細胞壁マト リックス多糖類の合成制御機構の解析

<u>宮地桃子</u>, 胡清, 瀧沢彩水, 兵頭洋美, 佐藤忍, 岩井宏暁 (筑波大·生命環境)

#### P-143

# イネの発達過程における細胞壁構造タンパク質 THRGP の 機能解析

渡辺朝美, 宮下彩, 住吉美奈子, 鎌田志保美, 中村敦子, 佐藤忍, 岩井宏暁 (筑波大·生命環境)

#### P-144

## 道管細胞分化の新規制御因子の遺伝学的探索

<u>平井理作</u><sup>1</sup>, 竹中悠人<sup>1</sup>, 川邊陽文<sup>1</sup>, 米田新<sup>1</sup>, 大谷美沙都<sup>1,2</sup>, 出村拓<sup>1,2</sup>

(1奈良先端大・院・バイオ、2理研・CSRS)

#### P-145

# アラビノガラクタン-プロテインのコアタンパク質に作用するプロテアーゼの精製

<u>吉見圭永</u><sup>1</sup>, 菅原優美<sup>2</sup>, 堀千明<sup>3</sup>, 五十嵐圭日子<sup>4</sup>, 堂前直<sup>1,3</sup>, 金子哲<sup>5</sup>. 小竹敬久<sup>1</sup>. 円谷陽一<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>埼玉大・院・理工, <sup>2</sup>埼玉大・理, <sup>3</sup>理研・CSRS, <sup>4</sup>東京大・農学生命科学, <sup>5</sup>食総研・食品バイオ)

# P-146

イネにおける OsARAD1 の RNAi 発現抑制体の表現型解析 清永郁香, 住吉美奈子, 稲村拓也, 鎌田志保美, 中村敦子, 佐藤忍, 岩井宏暁 (筑波大・生命環境)

# P-147

# ペクチン改変イネの環境ストレス応答解析

小原崇司<sup>1</sup>,佐藤淳也<sup>1</sup>,長谷川和也<sup>1</sup>,中村敦子<sup>1</sup>,南栄一<sup>2</sup>,佐藤忍<sup>1</sup>,岩井宏暁<sup>1</sup>

(¹筑波大·生命環境, ²生物研)

## P-148

# RNA-seq analysis of initial stage of xylem vessel cell differentiation

<u>Tian Tian Tan</u>, Hitoshi Endo, Ryosuke Sano, Misato Othani, Taku Demura

(Laboratory of Plant Metabolic Regulation, School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology)

## P-149

# 木質バイオマス改変技術の開発を目指した二次細胞壁形成 関連遺伝子の解析

大槻和弘<sup>1,2</sup>, 楢本悟史<sup>1</sup>, 遠藤暁詩<sup>1</sup>, 福田裕穂<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大・院・理・生物科学, <sup>2</sup>茨城県・県西農林・坂東農普セ)

# スクロース水溶液水浸処理により形成される気孔クラスター の解析

秋田佳恵, 桧垣匠, 馳澤盛一郎 (東京大・院・新領域)

# 成長生理

#### P-151

# 木本植物におけるイオン輸送機構の解析

真鍋瞬<sup>1</sup>, 栗田悠子<sup>1</sup>, 馬場啓一<sup>2</sup>, 大西美輪<sup>1</sup>, 小菅桂子<sup>1</sup>, 七條千津子<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>1</sup>, 深城英弘<sup>1</sup>, 三村徹郎<sup>1</sup> (<sup>1</sup>神戸大·理·生物, <sup>2</sup>京都大·生存研)

### P-152

# マングローブ数種とポプラ,シラカンバのアレロパシー検 定:サンドイッチ法とプロトプラスト法

<u>笹本浜子</u><sup>1,2</sup>,長谷川愛<sup>2</sup>,持田幸良<sup>2</sup>,横田信三<sup>3</sup>,皆川礼子<sup>4</sup>,藤井義晴<sup>5</sup>

(「神奈川大・総理研、<sup>2</sup>横浜国大・環情、<sup>3</sup>宇都宮大・農、<sup>4</sup>明治大・農、<sup>5</sup>農工大・院・農)

#### P-153

# H<sup>+</sup>-PPases play a negative role in the response of sugar starvation in *Arabidopsis*

<u>Seedahmed A. Mohammed</u><sup>1</sup>, Akie Kobayashi<sup>1</sup>,

Yoshinori Kanayama², Nobuharu Fujii¹, Hideyuki Takahashi¹ (¹Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ., ²Grad. Sch. Agri. Sci., Tohoku Univ.)

# P-154

# シロイヌナズナにおける根の水分屈性関連遺伝子の網羅的 発現解析

石塚楓<sup>1</sup>, 小林啓恵<sup>1</sup>, 藤井伸治<sup>1</sup>, 宮沢豊<sup>2</sup>, 高橋秀幸<sup>1</sup> (「東北大学・院・生命, <sup>2</sup>山形大・理)

## P-155

# イネとシロイヌナズナで異なる反応を示す合成ブラシノス テロイドの解析

<u>中村郁子</u><sup>1</sup>,藤岡昭三<sup>2</sup>,栃尾尚哉<sup>3</sup>,伊藤晋作<sup>4</sup>,木川隆則<sup>5</sup>,嶋田幸久<sup>1</sup>,松岡信<sup>6</sup>,吉田茂男<sup>7</sup>,木下俊則<sup>8</sup>,浅見忠男<sup>4,9</sup>,瀬戸秀春<sup>7</sup>,中野雄司<sup>2,9</sup>

(1横浜市大・木原生研, <sup>2</sup>理研・抗生物質, <sup>3</sup>広島大・院・理, <sup>4</sup>東大・院・応用生命工学, <sup>5</sup>理研・生命システム研究センター, <sup>6</sup>名大・生物機能開発利用研究センター, <sup>7</sup>理研, <sup>8</sup>名大・院・理, <sup>9</sup>JST-CREST)

# P-156

# イネ葉身の屈曲と展開に対する光の影響とブラシノステロ イド生合成

朝比奈雅志<sup>1</sup>, 田牧祐治<sup>1</sup>, 坂本知昭<sup>2</sup>, 柴田恭美<sup>1</sup>, 野村崇人<sup>3</sup>, 横田孝雄<sup>1</sup>

(1帝京大・理工・バイオ, <sup>2</sup>石川県立大・生物資源, <sup>3</sup>宇都宮大・バイオサイエンス教育研究センター)

#### P-157

# 緑藻アオサ類における異なる塩環境下での生育特性比較 解析

正清友香1, 市原健介2, 小倉淳3, 嶌田智1

(<sup>1</sup>お茶大・院・ライフ・生命科学, <sup>2</sup>東大・院・新領域・先端生命 科学、<sup>3</sup>長浜バイオ大・バイオ)

#### P-158

# シロイヌナズナの根の細胞サイズと MRI による水の状態の 解析

長井理香<sup>1</sup>,福岡美香<sup>2</sup>,高瀬智敬<sup>3</sup>,石田信昭<sup>4</sup>,奈良久美<sup>5</sup> (<sup>1</sup>奈良女子大·院·生物科学,<sup>2</sup>東京海洋大·院·海洋科学技術,<sup>3</sup>学習院大·理·生命科学,<sup>4</sup>石川県立大·生物資源環境·食品科学,<sup>5</sup>奈良女子大·自然科学)

#### P-159

## シロイヌナズナの水分屈性に機能する細胞群の解析

<u>小林啓恵</u><sup>1</sup>, 平塚奏太郎<sup>1</sup>, 庞磊<sup>1</sup>, 宮沢豊<sup>2</sup>, 藤井伸治<sup>1</sup>, 長谷あきら<sup>3</sup>, 細川陽一郎<sup>4</sup>, 高橋秀幸<sup>1</sup>

(1東北大・院・生命,  $^2$ 山形大・理,  $^3$ 京大・院・理,  $^4$ 奈良先端大・物質創成)

# 細胞増殖・細胞分化

#### P-160

## 陸上植物における CLE 遺伝子の機能解析

<u>平川有宇樹<sup>1,2</sup></u>, John Bowman<sup>2</sup>, 打田直行<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名大・ITbM, <sup>2</sup>モナシュ大・生物)

## P-16

## シロイヌナズナの葉形態変異体における陽葉形成

吉田祐樹, 塚谷裕一

(東大・院・理)

## P-162

# ポプラ放射柔細胞における xylem cysteine peptidase の遺伝 子発現解析

<u>半智史</u><sup>1</sup>, 高田直樹<sup>2</sup>, 吉田誠<sup>1</sup>, 船田良<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京農工大・農, <sup>2</sup>森林総研・森林バイオ)

# P-163

# シロイヌナズナの側根原基で発現するプロテインホスファ ターゼの機能解析

<u>大和田理恵</u><sup>1</sup>, 中野理恵<sup>2</sup>, 南明希<sup>2</sup>, 町田泰則<sup>2</sup>, 笹部美知子<sup>1</sup>

(1弘前大・農生, 2名大・院・理)

## P-164

# 細胞内 pH イメージングによる細胞内環境のエピジェネティクス制御解析

<u>栗田和貴</u>¹, 横山諒平², 平川健², 長谷川淳子², 坂本卓也¹, 松永朋子¹, 松永幸大¹

(1東理大·理工·応用生物科学, 2東理大·院·理工·応用生物科学)

# 発生・生長・形態形成

### P-165

# 葉断面から再生する Rorippa aquatica の栄養繁殖機構の 解析

天野瑠美<sup>1</sup>, 中山北斗<sup>1,2</sup>, Ali Ferjani<sup>3</sup>, 木村成介<sup>1</sup> (「京産大・総合生命、<sup>2</sup>日本学術振興会、<sup>3</sup>東京学芸大・教育・生命)

#### P-166

# シロイヌナズナの胚珠において Class III Homeodomain-Leucine Zipper 遺伝子は WUSCHEL の発現を抑制する

<u>山田敏弘</u><sup>1</sup>, 佐々木悠介<sup>1</sup>, Charles S. Gasser<sup>2</sup> (¹金沢大・理工・自然システム, ²MCB, Univ. California, Davis)

### P-167

# イネの脂質・ホルモン代謝の制御におけるオートファジーの 新たな役割

(¹東京工科大·応用生物, ²東京理科大·理工·応用生物科学, ³東京理科大·総合研究機構, ⁴理研·環境資源科学, ⁵東京大院·新領域·先端生命)

### P-168

# 原核型リボソーム阻害剤がシロイヌナズナの根の発生に与 える影響

中田未友希1、塚谷裕一2、堀口吾朗1,3

 $(^1$ 立教大学 理学部 生命理学センター,  $^2$ 東大・院・理,  $^3$ 立教大学・理・生命理)

## P-169

# Gene expression studies of gibberellin oxidases in rosulate Streptocarpus rexii (Gesneriaceae)

<u>Kanae Nishii</u><sup>1,2</sup>, Meng-Jung Ho<sup>3</sup>, Yen-Wei Chou<sup>3</sup>, Damiano Gabotti<sup>4</sup>, Chun-Neng Wang<sup>3</sup>, Alberto Spada<sup>4</sup>, Michael Möller<sup>1</sup>

 $(^{1}$ Royal Botanic Garden Edinburgh,  $^{2}$ Tokyo Gakugei University,  $^{3}$ National Taiwan University,  $^{4}$ University of Milan)

## P-170

# フロリゲン複合体形成を制御するタンパク質キナーゼの 同定

<u>川本望</u><sup>1</sup>, 笹部美知子<sup>2</sup>, 遠藤求<sup>1</sup>, 町田泰則<sup>3</sup>, 荒木崇<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大・院・生命, <sup>2</sup>弘前大・農学生命, <sup>3</sup>名大・院・理)

## P-171

# 細胞周期を制御したユリの1核性成熟花粉における in vitro での花粉管伸長中の核分裂

<u>本多健作</u><sup>1</sup>, 坂本健一郎<sup>2</sup>, 星野洋一郎<sup>3</sup>, 駒井史訓<sup>1</sup> (<sup>1</sup>佐賀大・院・農学研究科, <sup>2</sup>佐賀県農試研センター, <sup>3</sup>北海道大・北方生物圏センター)

## P-172

# 植物ホルモン・ジベレリンの花芽形成における役割

山口暢俊, Doris Wagner

(ペンシルバニア大学 生物学科)

#### P-173

# ゼニゴケのオーキシン応答転写因子 ARF1 は無性芽の発生 を制御する

<u>神埜勝</u><sup>1</sup>,加藤大貴<sup>1</sup>,武田真由子<sup>1</sup>,石崎公庸<sup>2</sup> (<sup>1</sup>京都大・院・生命,<sup>2</sup>神戸大・院・理)

#### P-174

# miR172 強制発現によるシロイヌナズナ Dicer-like 1 変異体の部分相補

Masayuki Tsuzuki<sup>1</sup>,竹田篤史<sup>2</sup>,<u>渡邊雄一郎</u><sup>1</sup> (¹東京大学大学院総合文化研究科,<sup>2</sup>立命館大学大学院生命科学研

#### P-175

究科)

# 多細胞ダイナミクスに関する数理モデルの構築と葉形態形 成への適用

<u>藤田浩徳</u><sup>1</sup>,福島健児<sup>2,3</sup>,川口正代司<sup>1,3</sup>,長谷部光泰<sup>2,3</sup> (<sup>1</sup>基礎生物学研究所・共生システム,<sup>2</sup>基礎生物学研究所・生物進化,<sup>3</sup>総研大・生命科学)

### P-176

# 車軸藻植物門クレブソルミディウムにおける原始的なオーキシン応答の解析

<u>大高きぬ香</u><sup>1</sup>, 堀孝一<sup>2,3</sup>, 太田啓之<sup>1,3,4</sup> (<sup>1</sup>東工大・生体システム, <sup>2</sup>JST, CREST, <sup>3</sup>東工大・バイオセン ター, <sup>4</sup>東工大・ELSI)

### P-177

## 苔類ゼニゴケにおける SBP 型転写因子の機能解析

大神貴史<sup>1</sup>, 山口礼子<sup>1</sup>, 丹羽優喜<sup>1</sup>, 遠藤求<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>1</sup>, 荒木崇<sup>1</sup>

(1京都大・院・生命科学,2神戸大・院・理)

## P-178

# 葉分裂組織を切除したシロイヌナズナの葉の形態形成

山下翔大1, 榊原恵子2, 塚谷裕一2

(¹東京大学理学部生物学科,²東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

## P-179

子葉における根の異所形成を抑制する AN3 と HAN の解析 大池諒<sup>1</sup>、秋間健太<sup>1</sup>、塚谷裕一<sup>2</sup>、<u>堀口吾朗</u><sup>1,3</sup>

(1立教大・理・生命,2東大・院・理,3立教大・理・生命センター)

## P-180

# シロイヌナズナにおける葉の維管束鞘細胞の形成・分化機 構の解析

<u>山本真佑子</u>, 豊倉浩一, 郷達明, 石崎公庸, 三村徹郎, 深城英弘

(神戸大・院・理)

## P-181

# 表皮分化のマスター遺伝子である ATML1 の転写後調節の 解析

飯田浩行, 吉田彩香, 高田忍

(阪大・理・生物)

シロイヌナズナの花弁原基形成に関わる転写因子の解析 野口真理子<sup>1</sup>、光田展隆<sup>2</sup>、武田征士<sup>1</sup>

(1京都府立大・院生命環境、2産総研)

### P-183

ダイコンの品種間に見られる葉形の変異に寄与する遺伝子 の同定

<u>久保俊彰</u><sup>1</sup>, 上ノ山華織 $^1$ , 川勝弥 $^{-1}$ , 五十嵐香理 $^2$ , 矢野健太郎 $^2$ , 木村成 $^1$ 

(1京産大・総合生命, 2明治大・農)

#### P-184

苔類ゼニゴケの造精器および精子の発生過程に関与する遺伝子発現プログラムを制御する機構の解析

<u>肥後あすか</u><sup>1</sup>, 丹羽優喜<sup>1</sup>, 遠藤求<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 大和勝幸<sup>3</sup>, 西浜竜一<sup>1</sup>, 河内孝之<sup>1</sup>, 荒木崇<sup>1</sup>

('京都大·院·生命科学, '2神戸大·院·理学, '3近畿大·生物理工·生物工)

#### P-185

## アサガオの午後開花変異の遺伝解析

遠藤沙織<sup>1</sup>, 立澤渚紗<sup>1</sup>, 甲斐文子<sup>1</sup>, 渡邊梢<sup>1</sup>, 小野公代<sup>1</sup>, 久保山勉<sup>2</sup>, 小野道之<sup>1</sup>

(1筑波大・遺実セ,2茨城大・農)

# 生殖

## P-186

コケ植物の造卵器成熟過程と開口部からの排出物への精子 誘引について

<u>赤司一</u>1, 嶋村正樹2

(1広島大・理・生物科学、2広島大・院・理・生物科学)

## P-187

# 新規雄性配偶子特異的膜タンパク質 LGM1 の発現解析

<u>井川智子</u><sup>1</sup>,上田健治<sup>2</sup>,高橋太郎<sup>1</sup>,豊岡博子<sup>3</sup>,山田力志<sup>4</sup>,澤田均<sup>4</sup>,野崎久義<sup>3</sup>,森稔幸<sup>3</sup>

(1千葉大・院・園芸,  $^2$ 秋田県大・生物資源,  $^3$ 東大・院・理・生物科学,  $^4$ 名古屋大・院・理)

## P-188

# アサガオの短日性花成誘導における TFL1 の遺伝子型の効果

新井祥子,望月嗣文,本田光明,小野公代,<u>小野道之</u> (筑波大・遺実セ)

## P-189

群体性ボルボックス目ゴニウムにおけるプラス/マイナス交 配型配偶子からの接合突起の単離

<u>豊岡博子</u><sup>1</sup>, 森稔幸<sup>1</sup>, 鈴木雅大<sup>1</sup>, 茂木祐子<sup>1</sup>, 浜地貴志<sup>2</sup>, 宮城島進也<sup>3</sup>, 野崎久義<sup>1</sup>

(¹東大・院・理, ²ドナルド・ダンフォース植物科学センター, ³国立遺伝研)

#### P-190

ヒメミカヅキモの - 型細胞特異的な受容体型タンパク質の 特性

藤原安理<sup>1</sup>, 市川真知子<sup>1</sup>, 関本弘之<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>日本女子大·院·理, <sup>2</sup>日本女子大·理)

#### P-191

シロイヌナズナ生体内における花粉管ガイダンスの時空間 的解析

武内秀憲1,3, 東山哲也1,2,3

(<sup>1</sup>名大·院·理, <sup>2</sup>名大·WPI-ITbM, <sup>3</sup>JST·ERATO)

#### P-192

比較定量プロテオミクス解析によるトレニア花粉管の誘引 物質受容体の探索

奥田哲弘1,2 桑田啓子1 東山哲也1,3,4

(<sup>1</sup>名大・WPI-ITbM, <sup>2</sup>学振・特別研究員, <sup>3</sup>JST・ERATO, <sup>4</sup>名大・院・理)

# 遺伝子発現制御・情報伝達

#### P-193

# 単細胞紅藻シゾンにおける葉緑体に依存した光応答転写 制御

安藤洸幸<sup>1</sup>, 小倉駿佑<sup>1</sup>, 大原ひかる<sup>1</sup>, 藤井岳<sup>2</sup>, 今村壮輔<sup>2</sup>, 田中寛<sup>2</sup>, 五十嵐雅之<sup>3</sup>, 内海龍太郎<sup>4</sup>, <u>華岡光正</u><sup>1</sup> (「千葉大・院・園芸、<sup>2</sup>東工大・資源研、<sup>3</sup>微化研、<sup>4</sup>近畿大・農)

## D\_10/

**ゼニゴケ無性芽の-80℃フリーザーでの長期保存法の開発** 田中大介¹, 大和勝幸², 石崎公庸³, 河内孝之<sup>4</sup>

(¹基礎生物学研究所,²近畿大学,生物理工学部,³神戸大学,院理学,⁴京都大学,院生命科学)

## P-195

重油生産藻類 B.braunii 由来の rbcS 遺伝子 promoter を用いた無機炭素濃縮機構遺伝子発現ベクターの開発

<u>渋市祐馬</u><sup>1</sup>, 榎本ゆう子<sup>1,2</sup>, 淺野貴志<sup>1</sup>, 黒田珠美<sup>1</sup>, 長尾修平<sup>1</sup>, 川瀬健志<sup>3</sup>, 榎本平<sup>1,2,3</sup>

 $(^{1}$ 神戸大・院・ 人間発達環境, $^{2}G\&GT$ 社, $^{3}$ 神戸大・発達科学)

## P-196

微細藻類の無機炭素濃縮機構(CCM)関連遺伝子群のクローニング

<u>淺野貴志</u><sup>1</sup>,榎本ゆう子<sup>1,2</sup>,渋市祐馬<sup>1</sup>,黒田珠美<sup>1</sup>, 長尾修平<sup>1</sup>,川瀬健志<sup>3</sup>,榎本平<sup>1,2,3</sup>

 $(^{1}$ 神戸大・院・人間発達環境, $^{2}G\&GT社$ , $^{3}$ 神戸大・発達科学)

## P-197

ヒメツリガネゴケのミトコンドリアの RNA スプライシン グに働く新規の PLS-type PPR タンパク質の同定

川口康弘,一瀬瑞穂,中島健策,杉田千恵子,<u>杉田護</u> (名古屋大学遺伝子実験施設)

## 植物 microRNA の特異性に関する研究

唐戸俊介<sup>1</sup>,都筑正行<sup>1</sup>,白谷公孝<sup>2</sup>,渡邊雄一郎<sup>1</sup>, 竹田篤史<sup>3</sup>

(¹東大・院・総合文化, ²立命大・生命科学, ³立命大・院・生命科学)

#### P-199

## 植物の花弁運動突然変異体の概日時計遺伝子の発現解析

<u>瀬川祐貴</u><sup>1</sup>, 小池杏奈<sup>1</sup>, 小内清<sup>2</sup>, 石浦正寛<sup>2</sup>, 沓名伸介<sup>1</sup> (「横市大・院・生命ナノ、<sup>2</sup>名大・遺伝子)

### P-200

# 植物のダイサーの二本鎖 RNA 切断活性の組織特異性及び 発生段階との関係

田原緑<sup>1</sup>, 大谷美沙都<sup>2,3</sup>, 森山裕充<sup>1</sup>, 福原敏行<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京農工大・院・農, <sup>2</sup>奈良先端大・バイオ, <sup>3</sup>理研・環境資源科学センター)

# ゲノム・プロテオ―ム

### P-201

### 外生菌根菌ホンシメジの新規全ゲノム解読

小林裕樹<sup>1</sup>,柴田朋子<sup>2</sup>,山田明義<sup>3</sup>,西山智明<sup>5</sup>,重信秀治<sup>4,6</sup>, 長谷部光泰<sup>2,6</sup>,川口正代司<sup>1,6</sup>

(<sup>1</sup>基生研・共生システム, <sup>2</sup>基生研・生物進化, <sup>3</sup>信州大・農, <sup>4</sup>基 生研・分析室, <sup>5</sup>金沢大・学際科学, <sup>6</sup>総研大)

## P-202

# ツツジ科の菌従属栄養性無葉緑植物ギンリョウソウのトランスクリプトーム解析

<u>井田喜子</u><sup>1</sup>, 山口勝司<sup>2</sup>, 真野昌二<sup>2</sup>, 藤田みや子<sup>2</sup>, 若月幸子<sup>2</sup>, 岩瀬剛二<sup>3</sup>, 西村幹夫<sup>2</sup>, 重信秀治<sup>2</sup>, 上中弘典<sup>1</sup> ( $^{1}$ 鳥取大・農,  $^{2}$ 基生研,  $^{3}$ 帝京科学大・生命環境)

# 植物微生物相互作用

## P-203

# 地衣類共生シアノバクテリアの共生および非共生状態にお ける光合成特性

<u>佐藤知樹</u><sup>1</sup>, 原光二郎<sup>2</sup>, 小峰正史<sup>2</sup>, 山本好和<sup>2</sup>, 伊藤繁<sup>3</sup>, 岩崎郁子<sup>1</sup>

(1秋田県立大・生物資源・応用生物,2秋田県立大・生物資源・生物生産,3名大・遺伝子実験)

## P-204

# 植物免疫反応を阻害する低分子化合物の同定とその標的因子の探索

石濱伸明<sup>1</sup>,能年義輝<sup>2</sup>,<u>崔勝媛</u><sup>1</sup>,Ivana Saska<sup>1</sup>,野村有子<sup>1</sup>,中神弘史<sup>1</sup>,村山和隆<sup>3,4</sup>,白水美香子<sup>4</sup>,斎藤臣雄<sup>1</sup>,

長田裕之1, 白須賢1

(1理研・CSRS, 2岡山大・院・環境生命科学, 3東北大・院・医工学, 4理研・CLST)

#### P-205

ベンサミアナタバコのアミノアシラーゼはジャガイモ疫病 菌に対する基礎的抵抗性を負に制御する

中野真人<sup>1</sup>, 西原昌宏<sup>2</sup>, 吉岡博文<sup>3</sup>, 木場章範<sup>1</sup> (「高知大・農学、<sup>2</sup>岩手生工研、<sup>3</sup>名古屋大)

#### P-206

シロイヌナズナキチン受容体キナーゼ CERK1 のリン酸化 部位の機能解析

<u>渋谷匡俊</u>, 島田日加瑠, 元山記子, 中島正登, 鈴木丸陽, 出崎能丈, 賀来華江, 澁谷直人 (明治大学·農·生命科学)

#### P-207

植物免疫応答指標としてのカロース蓄積定量ツールの開発 小針政輝, 八嶋航平, 出崎能丈, 澁谷直人 (明治大・農・生命科学)

#### P-208

半寄生植物ヒノキバヤドリギとその寄主植物のエンドファイト菌類相の関係

<u>池田(武浪)秀子</u><sup>1</sup>,横山潤<sup>2</sup> (<sup>1</sup>山形大・院・理工,<sup>2</sup>山形大・理・生物)

# 理科教育

#### P-209

身近な植物の種判別実習—葉緑体ゲノム塩基配列から 石崎陽子, 椎名隆

(京都府立大学 生命環境科学研究科 植物分子生物学研究室)

# その他

## P-210

イネの生長過程を定量化するための多角的撮影と画像解析 法の開発

<u>朽名夏麿</u><sup>1,2</sup>,川田亮太³,杉田(小西)左江子³, 馳澤盛一郎<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>東京大・院新領域, <sup>2</sup>LPixel, <sup>3</sup>香川大・農学部)

## P-211

平成 26 年度に理研 BRC が実施する植物培養細胞リソース に関連する事業について

<u>小林俊弘</u>,安部洋,井内聖,小林正智 (理研·BRC)

## P-212

基礎生物学研究所における最先端植物研究用設備・機器の 紹介

諸岡直樹, 星野敦

(基礎生物学研究所モデル植物研究支援室)

# 高校生研究ポスター発表

#### H-1

# マイクロサテライトマーカーを用いた松島湾アマモの 遺伝的分化の検証

渡邊浩文, 高田帆夏, 村上周明, 秦大貴, 新田真弓 (宮城県仙台第三高等学校) [指導教員:千葉美智雄]

### H-2

## 校内植物の形態的系統と分子系統との比較検討

西田智志

(茨城県立竹園高等学校)[指導教員:飯田仁, 重永由起子]

#### H-3

# シロツメクサの多葉形成に関する研究 〜維管束の観察と RAPD の分析〜

大森裕介, 岡本諒, 佐野広之, 畑花純 (岩手県立釜石高等学校) [指導教員:長谷川潤二]

#### H-4

## 斜面に咲くカタクリの花の向き

西尾早奈恵, 小木曽博幸, 田中麻衣, 長谷川莉央, 伊佐次司, 大竹優也, 石原朋弥, 嶋口瑞起, 藤井杏紀(岐阜県立加茂高等学校)[指導教員:木澤慶和]

### H-5

# ショウジョウバカマの有性生殖について

## 伊藤颯汰

(新潟明訓高等学校)[指導教員:真島啓太]

## H-6

# エチレンがカイワレダイコンの子葉の形態形成に与える影響

(茨城県立並木中等教育学校)[指導教員:粉川雄一郎]

## H-7

## 青森県南地方のエゾタンポポの分布調査及び根の発芽の研究

大塚祐輝, 鹿倉大寛, 佐藤史幸, 大久保朋子, 木村宏美(八戸工業大学第二高等学校)[指導教員:下佐順子]

# H-8

## エゾタンポポの牛熊について

小松愛, 馬場優理, 蛯名俊吉, 小栗泰雅, 高橋彩 (青森県立三沢高等学校) [指導教員:千葉努]

## H-9

# 津軽地域におけるエゾタンポポの分布と生態

山本圭汰,工藤龍也,古川雅登,廣田渓流,齋藤大貴 (青森県立弘前南高等学校)[指導教員:高木和彦]

#### H-10

## 葛川のオオフサモが形成する生態系

猪刈陽平, 西島航輝, 関山恵祐, 尾島隆太, 可知寛也, 志村映実, 田中哲生, 曾根大樹, 小室佳輝, 小池朱音, 茂木洋太, 大畑健

(向上高等学校)[指導教員:山口竜也]

#### H-11

## 牛久沼再生の糸口を探る:埋土種子を用いた調査・研究

豊島楽子

(茨城県立竜ヶ崎第一高等学校)[指導教員:出雲辰雄]

#### H-12

# 武尊山におけるリターシードトラップ調査 ~ブナ林における調査結果から~

金子陽祐, 今井明澄

(群馬県立尾瀬高等学校) [指導教員:荒井裕二]

#### H-13

# 武尊山三合平植生調査

石田千春, 星野有美

(群馬県立尾瀬高等学校)[指導教員:荒井裕二]

## H-14

# 尾瀬ヶ原植生調査

# ~ニホンジカによる撹乱地は今後どのように遷移するのか~

星野和也, 清水涼介

(群馬県立尾瀬高等学校)[指導教員:柴田栄]

## H-15

# フタバネゼニゴケの芳香成分について

落合希美

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員:中川知己, 矢部重樹]

## H-16

# キクモはなぜ陸上と水中の両方に適応できるのか

構山大河

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員:中川知己, 矢部重樹]

## H-17

# 植物の成長方向はどのような光で判断されるのか?: 4色の光と種子を用いた研究

三瓶頼子, 原葉津紀

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員:矢部重樹]

# ポスター発表 Poster

#### H-18

# 赤い色素の抑制と促進

山下侑利菜

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員:中川知己, 矢部重樹]

#### H-19

植物にはなぜ色が付いているのか?

~透明な細胞を持つ窓植物オブツーサの観察~

中尾谣奈

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員:中川知己, 矢部重樹]

### H-20

### アサガオが効率よく日光を受けるメカニズム

櫻井昌克, 山本佳織

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員:中川知己, 矢部重樹]

#### H-21

### アーバスキュラー菌根菌によるヤマユリへの影響

宮﨑智葉

(横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校)

[指導教員:小島理明]

#### H-22

# 光と種子発芽に関する研究 第3報 光の有無と温度の影響について

菊地梨花, 高橋つぐみ, 松本拓海

(岩手県立水沢高等学校) [指導教員:城守寛]

## H-23

## ダイコンとカブの光に対する反応

川村健勝

(青森県立名久井農業高等学校)[指導教員:木村亨]

# H-24

## 光による無臭セロリの研究

中山恭輔, 佐々木敦也

(青森県立名久井農業高等学校) [指導教員:木村亨]

## H-25

# 草花による水質浄化システム「バイオエンジン」の開発 嶋字雄士

(青森県立名久井農業高等学校)[指導教員:木村亨]

# H-26

## 光による切り花の伸長促進

小向美沙紀

(青森県立名久井農業高等学校)[指導教員:木村亨]

## H-27

## クスノキの葉による窒素酸化物吸収能力の検証

河原めぐみ

(市川学園市川高等学校)[指導教員:長山定正]

#### H-28

## 植物はなぜ酸性フォスファターゼを分泌するのか

岡太和泉

(山梨県立韮崎高等学校)[指導教員:芦沢暁]

#### H-29

## マングローブの土を見る!

~マングローブ林の成立によってできる土壌の研究~

阿部隼人. 野口さやか

(東京都立科学技術高等学校)[指導教員:矢島憲行]

### H-30

### 突然変異による新品種の作出

坂下友哉, 赤坂啓人, 大平洸

(岐阜県立岐阜農林高等学校)[指導教員:土田敏行]

#### H-31

# 無菌培養による金鯱(Echinocactus grusonii)の生育促進 および大量増殖

松山渚, 坂本詩歩梨, 清水慶太, 紀平留萌 (大阪府立園芸高等学校)[指導教員:谷本忠芳, 廣田美佐子]

#### H-32

# シモンイモにおける好適培地の検索

相場北斗,鈴木経礼,角田有輝,諏訪浩貴(群馬県立大泉高等学校)[指導教員:兵藤幸]

#### H-33

## 野菜ジュースでビタミンCを効率的に摂る方法

鈴木道

(東京都立戸山高等学校)[指導教員:小泉重雄]

## H-34

# 松葉の秘めた未知なる力を呼び起こせ! 第Ⅱ報 ~松葉を使った機能性製品への挑戦~

高須樹里, 柚木みなみ, 海野琴未, 増田彩香, 望月桃子 (静岡県立静岡農業高等学校) [指導教員: 櫻井正剛]

## H-35

# 食品廃棄物のリサイクルで植物果肉の褐変を抑える研究

田原早央莉, 松井千佳

(国立米子工業高等専門学校)[指導教員:谷藤尚貴]

# H-36

# 野菜からバイオエタノールをいかに多く取り出すか…

石川真祈, 鈴木のぞみ, 善養寺李奈, 大洞日音, 長谷川 華子, 平原佳織, 山内瑚舞子, 吉原志保

(光塩女子学院高等科)[指導教員:山本明,渡邉里佳]

## H-37

# 富士山と野川における帰化率の違い

並木勇樹,立花岳史,西本太地,尾渡知美,小林光, 古橋龍星,三枝俊介,平山栄晃,川原優人 (東京都立多摩科学技術高等学校)[指導教員:柴田秀久]

# 日本植物学会会員と高校生との交流会

9/14 14:00~15:00 中央校舎4階 演習室

植物学会員(植物科学アドバイザー)が自身の研究体験のプレゼンテーションや質疑を通じて、高校生に対して植物科学の魅力、研究の面白さ、次世代の研究者への期待などを語ります。

# ● 植物科学アドバイザーの紹介

- A 今市 涼子 (日本女子大学理学部物質生物科学科) 「熱帯植物にみる常識破りの形」
- B 岩元 明敏(東京学芸大学自然科学系生命科学分野) 「植物の形を"観る" ~植物形態学入門」
- **C 杉本 慶子**(理化学研究所環境資源科学研究センター) 「植物研究に没頭!研究者を目指そう」
- **種子田 春彦**(東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻) 「植物の水輸送システム ~大きな体の隅々にまで水を送る~」
- **E 堤 千絵**(国立科学博物館 筑波実験植物園) 「木登りした植物の暮らしと進化」
- F 中川 知己 (明治大学農学部) 「植物と微生物の関係から学ぶ隣人との付き合い方」
- **G** 成川 礼 (静岡大学大学院理学研究科生物科学専攻) 「光合成生物の巧みな光応答戦略 ~光を見て光を食べる~」
- H 松永 幸大 (東京理科大学理工学部応用生物科学科) 「植物細胞が分裂する様子を見てみよう」